令和７年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会

令和7年度　事業報告書　本編　目次

総括 ---------- 1
新規・重点・拡充事業 ---------- 2

福祉や地域のことに関心を持つ人が増えている
施策・取り組み１　広報媒体の拡充、情報発信の強化 …… 6
施策・取り組み２　福祉を身近に感じる機会の提供 …… 8
身近に困りごとを相談できる人が増えている
施策・取り組み３　様々な(多種多様な)相談を受けられる窓口の強化 …… 11
施策・取り組み４　潜在・複合的な課題へのアプローチ …… 12
福祉や地域活動に参加するきっかけや機会が増えている
施策・取り組み５　地域福祉活動への参加のきっかけづくり …… 14
施策・取り組み６　地域活動の創出支援 …… 15
身近な地域で交流の場や地域のことを一緒に考えていく場が広がっている
施策・取り組み７　多世代の交流の場づくり …… 17
施策・取り組み８　同じ課題や関心事を持つ人の居場所づくり …… 18
地域でのつながりを活かし、活動が充実している
施策・取り組み９　ニーズに応じた担い手の発掘・育成 …… 20
施策・取り組み10　ネットワークを活かした地域活動の推進 …… 22
生活課題がありながらも地域で安心して暮らせる人が増えている
施策・取り組み11　見守り・支えあい活動の支援 …… 25
施策・取り組み12　生活支援に係る事業の強化 …… 26

令和7年度　事業報告書　附属明細書　目次

１．組織運営

⑴　三役会の開催 …… 29
⑵　理事会の開催 …… 29
⑶　評議員会の開催 …… 30
⑷　監査の概要 …… 31
⑸　各委員会の活動報告 …… 31
⑹　各部会の活動報告 …… 31
⑺　後援名義の使用許可状況 …… 32
⑻　多摩社協活動協力員登録状況 …… 32

２．連絡調整

⑴　実習生の受入れ状況 …… 33
⑵　講師の派遣 …… 33

３．普及・啓発

⑴　会報「ふくしだより」の発行 …… 35
⑵　福祉バザー …… 35
⑶　福祉フェスタ …… 35
⑷　福祉大会 …… 36
⑸　メールマガジン配信状況 …… 36
⑹　福祉協力店状況 …… 36

４．組織強化活動

⑴　会員賛助金の状況 …… 37
⑵　チャリティーゴルフ大会 …… 37
⑶　寄付金の状況 …… 38

５．助成事業

⑴　収支の状況 …… 39
⑵　福祉団体補助 …… 39
⑶　老人クラブ連合会事業費補助金 …… 39
⑷　自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金 …… 40

６．地域福祉活動の推進事業

⑴　収支の状況 …… 42
⑵　相談事業「福祉なんでも相談」 …… 42
⑶　ふれあい・いきいきサロン推進事業 …… 43
⑷　小地域福祉活動推進事業 …… 50
⑸　地域福祉コーディネーターの価値向上及び資質向上に向けた取り組み …… 57

７．重層的支援体制整備事業

⑴　契約状況等 …… 58
⑵　収支の状況 …… 58
⑶　参加支援事業の取組み …… 58
⑷　広域ネットワーク構築・ニーズ把握・周知 …… 59
⑸　多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会 …… 59

８．たすけあい有償活動事業

⑴　概要 …… 60
⑵　収支の状況 …… 60
⑶　たすけあい有償活動活動実績 …… 61
⑷　たすけあい有償活動の実施状況 …… 61
⑸　たすけあい有償活動協力員研修会 …… 61

⑹ たすけあい有償活動協力員懇談会 …… 61
⑺ たすけあい有償活動事業説明・協力員説明会 …… 62
９．住民主体による訪問型サービス
⑴ 概要 …… 63
⑵ 収支の状況 …… 63
⑶ 住民主体による訪問型サービス活動実績 …… 64
⑷ 住民主体による訪問型サービスの実施状況 …… 64
10．ボランティア・市民活動推進事業
⑴ 収支の状況 …… 65
⑵ 多摩ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動支援ｾﾝﾀｰ運営委員会及び各種専門委員会の開催 …… 65
⑶ ボランティア育成事業 …… 65
⑷ 多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体連絡会 …… 68
⑸ 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進（多摩地域企業・大学等連絡会(通称：ゆるたまネット)） …… 69
⑹ フードドライブ事業 …… 71
⑺ フードパントリー事業 …… 73
⑻ 指定寄付金 …… 73
⑼ 子ども若者応援助成金交付事業 …… 74
⑽ ボランティア活動等振興助成金交付事業 …… 75
⑾ 相談事業 …… 76
⑿ 協力事業 …… 76
⒀ 地域出前事業 …… 77
⒁ 学習支援事業(NPO法人BORDER FREE　共催) …… 78
⒂ 販売事務業務委託（市受託事業） …… 78
⒃ 関係機関との連携 …… 79
⒄ 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況 …… 79
⒅ 多摩ボランティア・市民活動支援センター　利用状況 …… 79
⒆ ボランティア相談状況 …… 80
⒇ 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況 …… 80
11．介護予防ボランティアポイント事業（市受託事業）
⑴ 概要 …… 82
⑵ 契約状況等 …… 83
⑶ 収支の状況 …… 83
⑷ 事業実施状況 …… 83
12．福祉サービス利用援助事業
⑴ 概要 …… 85
⑵ 地域福祉権利擁護事業（東社協受託事業） …… 85
⑶ 東京都福祉サービス総合支援事業（市補助事業） …… 86
⑷ 実施事業 …… 86
13．成年後見制度利用者支援事業
⑴ 実施事業 …… 88
14．高齢者あんしんサポート事業 …… 91

15. 資金貸付事業
⑴ 生活福祉資金（東社協受託事業） 92
⑵ 小口資金 92
⑶ 緊急援護事業 93
⑷ ひとり親家庭高等職業促進資金貸付事業（東社協受託事業） 93
⑸ 出張相談（しごと・くらしサポートステーション） 93
⑹ その他（フードバンク事業） 93

16. 収益事業の実施 94
17. 障がい者地域活動支援ｾﾝﾀｰ事業（市受託事業）
⑴ 概要 95
⑵ 契約状況等 96
⑶ 収支の状況 96
⑷ 利用登録状況 97
⑸ 実施状況 97
18. 同行援護事業
⑴ 概要 108
⑵ 収支の状況 108
⑶ 同行援護活動実績 108
⑷ 同行援護従事者研修会 109
⑸ 虐待防止委員会 109
19. 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（市受託事業）
⑴ 概要 110
⑵ 契約状況等 110
⑶ 収支の状況 110
⑷ 多摩市登録手話通訳者の活動実績 111
⑸ 手話通訳者研修会 111
20. 意思疎通支援（要訳筆記者派遣）事業（市受託事業）
⑴ 概要 112
⑵ 契約状況等 112
⑶ 収支の状況 112
⑷ 要約筆記者の活動実績 113
⑸ 要約筆記者研修会 113
21. 共同募金
⑴ 赤い羽根共同募金 114
⑵ 歳末たすけあい運動募金 114
22. その他の事業
⑴ 車椅子貸出事業 115

令和７年度総括

令和７年度は、多摩市第５次地域福祉活動計画前期３年の最終年度であったため、その振り返りを行いつつ計画を更新し、「つながり　支えあい　安心するまちづくり」の理念に基づき、基本目標の具体像である「６年後の目指す姿」の実現に向け、市民や関係機関・団体、事業所、行政等と連携・協働し、地域福祉活動を推進してきました。

主な実績としては、新たな広報媒体の拡充として、これまで活用してきたLINEやX（旧Twitter）に加え、12月にはInstagramを立ち上げ、4か月で70人のフォロワーを獲得しました。また市内の子どもたちがボランティア活動に更に関心を持ち参加してもらえるよう、小中学生向け広報紙「たまぼらKODOMO新聞」を全児童・生徒へ配付するとともに、教育委員会だよりにも掲載していただく等、情報発信の強化を図りました。

また、多摩ボランティア・市民活動支援センターが開設から40周年を迎えたことから、能登半島地震復興支援も兼ねて 40 周年記念チャリティ映画会を開催し、265人の方に参加いただきました。

また、生きづらさを抱える方とその家族を対象とした居場所として、令和 6 年度から多摩市立中央図書館と二幸産業・NSP健幸福祉プラザで開始した「スペース栞」は、令和7年度は毎月開催し、全12回で延べ66人の参加となりました。継続的な参加者には運営ボランティアとしての協力も依頼し、活躍の場につなげることができました。

災害ボランティアの育成については、6月に「災害ボランティア講座入門編」を開催、7月には「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施、また10月には「災害ボランティア講座運営編」を開催したこと等により、新たに18名が災害ボランティアに登録し、合計62名の登録者数となりました。

ネットワークを活かした地域活動の推進では、市内でのフードドライブを10か所の受付窓口以外で「たまこどもフェス」や「せいせきフードドライブ」等のイベント時でもあわせて実施する等、支援の輪を広げてきました。また、ゆるたまネットの食料等無料配布事業においても、「概ね 30 歳代までの社会との接点の少ない方がいる世帯」を支援対象に含め、重層的支援体制整備事業（参加支援事業）の相談支援につなぐとともに、対象者の受入れメニューの開発を行いました。さらに、NPO法人との共催で実施している「子どもの学習支援」についても、令和 6 年度末から新たにしごと・くらしサポートステーションでも開始し、エリアの拡大を行いました。

近年ニーズが高まっている「高齢者あんしんサポート事業」においても、相談件数は49件でしたが、契約につながる件数が多くありました。

多摩市社協としては、今後も引き続き発信力を強化し、地域福祉への理解、啓発に努めるとともに、多くの市民や地域の多様な企業、団体等との連携を深め、地域課題の解決に努めてまいります。

新規・重点・拡充事業

令和７年度は、第５次多摩市地域福祉活動計画前期計画の最終年度となりました。本計画を踏まえ、令和７年度新規・重点・拡充事業として、以下の事項を具体的に推進しました。

■新規事業

・子ども向けボランティア通信の発行（施策・取り組み１）

令和６年度より新規に取り組んだ「たまぼらKODOMO新聞」が、令和７年３月号の『教育委員会だより』に掲載された。紙面内容は「ボランティア情報・活動拡充事業専門委員会」において検討し、小中学生向け広報紙として、第３号を６月１日、第４号を１０月１日に発行した。市内小中学校を通じて、全児童・生徒へ配布することができた。

紙面では、「夏のボランティア体験」「福祉体験学習」「ボランティアパーク」「子どもの居場所特集」「学習支援」などを取り上げ、子どもたちや居場所づくりに関わる方々の声も紹介した。これにより、ボランティア活動や地域福祉を身近に感じられる内容となるよう工夫した。

・当事者の活動への参加支援や場づくり（施策・取り組み７）

多摩市立図書館、二幸産業・NSP健幸プラザを会場に、「生きづらさを抱える方」を対象とした居場所「スペース栞」を毎月実施した（計12回開催：参加者数延べ66 人）。多摩市立中央図書館による本の選定やボランティア団体ハートフル多摩の協力で参加者の傾聴を行った。継続的な参加者については、運営ボランティアとしての協力を依頼し、活躍の場につなげた。

・子ども・若者応援事業の実施（施策・取り組み１０）

フードパントリー事業を通じて利用者のニーズを把握し、特にニーズの多かった「食料支援」「日用品支援」「学習支援」を実施することができた。日用品については、学用品と合わせたドライブを試行的に実施し、令和８年度からの本格実施につなげることができた。

学習支援については、多摩市およびしごと・くらしサポートステーションの協力を得て、NPO法人BORDER FREEと共催し、６月より永山教室「放課後学習教室」を開講した（英検対策教室は令和７年３月に先行開始）。

※子ども若者支援として1,380,900円の寄付を受けた。

・高齢者あんしんサポート事業の推進(施策・取り組み１２)

令和5年4月事業開始。より広く市民に事業を周知するため、市民向け・関係機関向け事業説明会の実施、ふくしだより掲載、高齢者関連事業でのパンフレットの配布、ホームページの掲載を行った。

令和7年度は相談件数49件、新規契約件数4件（80歳代男性1名、70歳代女性1名、80代女性2名)、解約件数1件（70代女性　私事都合）があり、令和7年度末契約件数は7件（70歳代男性1名、70歳代女性2名、80代男性2名、80代女性2名）であった。相談件数は少なかったが、契約に繋がる件数が多かった。

■重点事業

・地域出前事業（福祉体験学習）の展開(施策・取り組み２)

防災や平和に関するメニューを追加した「福祉体験等メニュー2025」を発行し、市内小中学校へ配布した。その結果、12校において計22回（小学校9校、中学校2校、高校1校）の福祉体験学習を実施し、子どもたちが福祉への理解を深める機会となった。

※R5年度：5校9回、R6年度：10校14回

・複雑化するケースの社会参加のための活動の創出(施策・取り組み４)

生きづらさを抱える方を包括的に支援していくため、社協内の各係の相談担当と相談内容やつなぎ先の情報交換の機会とし、相談支援担当者連絡会を2回開催した。また、総務貸付担当やボランティアセンター食料配布事業の担当と複合的な課題を抱えるケースにについて、ケース検討を実施し、情報共有と支援に向けての役割分担を行った。

また、参加支援事業として、ボランティア相談から1件、生きづらさを抱える方の居場所参加者から1件、新規プラン作成につながった（新規契約2件、継続1件)。

・多機関連携による相談支援体制の構築(施策・取り組み４)

多機関連携については、上半期と下半期の2回、市の福祉総務課と協働して、介護保険圏域（5 圏域）ごとに、多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会のエリア別情報交換会を開催した。7 月は、関係機関や専門職間の横のつながりづくりを作るため、それぞれの支援内容を共有した。12月から1月はエリアごとに分かれ、分野横断的な活動をしている機関の支援内容を共有し、連携について深掘りを行った。

・災害ボランティアの育成(施策・取り組み９)

6月に「災害ボランティア講座入門編」(参加者25人）を開催した。7月には二幸産業・NSP 健幸福祉プラザにおいて、システムを活用した「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施し、市民・関係者・職員を含む66人が参加した。

10 月には「災害ボランティア講座運営編」（参加者 8 人）を開催し、ボランティアマッチングゲーム等の演習を行った。これらの取組により、新たに 18 人が災害ボランティアとして登録し、登録者数は合計 62 人となった。

・フードドライブ・フードパントリー事業の推進（施策・取り組み１０）

【フードドライブ】

市内にフードドライブ受付窓口を 14 カ所設置（募菓子箱 2 カ所を含む）したほか、市内読売新聞販売所が購読世帯を対象にフードドライブを実施し、定期的に食料の寄付を受けることができた。また、「たまこどもフェス」（ベルブ永山）や「せいせきフードドライブ」（京王ショッピングセンター）など、イベントに合わせた取組も行い、支援の輪を広げることができた。

さらに、10 月からは「日用品・スタディドライブ」を試行実施し、4 カ所の受付窓口を設置して、市民や企業・団体から洗剤・シャンプー類、鉛筆、ノート等の寄付を受け付けた。

〈実績〉

〇フードドライブ

令和 7 年度：452 件／5,830kg（参考：令和 6 年度 473 件／8,927kg）

〇日用品・スタディドライブ

令和 7 年度：59 件／142kg

【フードパントリー】

12 月に実施した「ゆるたまネット食料等無料配布事業」で支援した 204 世帯のうち、アンケートで「特に生活に困っている」と回答した 81 世帯が、毎月実施しているフードパントリーに登録し、継続的な支援につなげることができた（11 月までの約 1 年間支援予定）。

このほか、総務担当（貸付担当）や子ども家庭支援センターなどの相談機関と連携し、6 世帯に対して食料支援を行った。

貸付に係る相談で生活困窮ではあるが、貸付要件に非該当となる方へ食料支援を実施（49 件）。食料支援よって次の収入までの間、生活を繋げる支援を行った。

■拡充事業

・新たな SNS コンテンツを活用した情報発信（施策・取り組み１）

「ボランティア情報・活動拡充事業専門委員会」において SNS の活用について検討を行い、多世代にボランティア活動等への関心を高めてもらうことを目的として、利用者の多い LINE および X を活用した情報発信を実施した。ボランティア通信の発行や各種講座、ボランティア見本市等の情報を随時発信するとともに、新たに 12 月には Instagram を立ち上げ、発信媒体の拡充を図った。

＊各 SNS 利用状況

・LINE 登録者数：120 人（令和 7 年度末、令和 7 年 4 月より運用）

・X フォロワー数：27 人（令和 6 年度末）→52 人（令和 7 年度末）〔25 人増〕
・Instagram フォロワー数：70 人（令和 7 年度末、令和 7 年 12 月より運用）

・ホームページ・フェイスブック・メールマガジン等の運営(施策・取り組み１)

多摩市社協メールマガジンでは、多摩ボランティア・市民活動支援センターメルマガの情報を含め、本会活動等の福祉情報をわかりやすくするため情報発信の一元化を行った。SNS による情報発信強化を行うためインスタグラム運用の整備を行い、またフェイスブック、インスタグラムの同期化とホームページのトップページから SNS へアクセスできるよう整備し、広報媒体連携の活用による効果的な情報発信を行えるようにした。

・地域福祉推進委員会の SNS 導入支援（施策・取り組み１）

地域福祉推進委員会で Instagram や、YouTube などの SNS を活用した情報発信を行うことで、福祉分野に留まらず、多分野多世代から関心を持ってもらえるようになってきている。高齢化が進む中で、住民による SNS 等の発信は難しく、地域福祉コーディネーターが中心となって情報発信を行っているが、地域福祉推進委員会に関わっている個人や団体が Instagram 等のフォローや情報発信を行うことで、地域福祉推進委員会のイベント等の周知、集客につながっている。

＊Instagram を実施している地域福祉推進委員会

・馬引沢・諏訪：フォロワー 令和 6 年度末 127 人→令和 7 年度末 177 人（50 人増）
・桜ヶ丘　　：フォロワー 令和 6 年度末 80 人→令和 7 年度末　96 人（16 人増）
・貝取・豊ヶ丘：フォロワー 令和 6 年度末 19 人→令和 7 年度末　51 人（32 人増）

・ボランティア出張相談窓口の拡充(施策・取り組み３)

市内・近隣の大学、高校５校に出向き、夏ボラの案内や出張受付を行った。
夏ボラ出張相談窓口に限らず、大学の授業、ゼミ、サークル等を通じて学校と連携し、学生に働きかけを行った。夏ボラでは、体験者２３０人のうち約６割となる高校生９４人、大学生３６人の参加を得ることができた。

・地域福祉推進委員会の ICT 活用(施策・取り組み６)

オンライン参加については、各地域福祉推進委員会で呼びかけているが、コロナ禍が、収束し、連光寺・聖ヶ丘地区の地域福祉推進委員会以外は、対面での参加のみになっている。普及啓発講座等は、オンライン参加者が定着化してきている。若い世代や専門機関等の参加増を視野に入れ、継続してオンライン対応ができるように常に準備態勢を整えていく。

令和７年度　事業報告書

本編

≪事業報告書本編の見方≫

施策・取り組み１　広報媒体の拡充、情報発信の強化

第５次多摩市地域福祉活動計期計画で記した、主な３年間の取り組み内容

取組の方向性（内容）	従来の広報紙「ふくしだより」「ボランティア通 ムページ、メールマガジン等の電子媒体などを活用した情報発信を継続しながら、新たに YouTube、LINE、Instagram などの多様な媒体（SNS 等）を活用し、多世代が福祉を身近に関心を持ってもらえるように情報発信していきます。			
年次計画		令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
	拡充 新たな SNS コンテンツを活用した情報発信（ボラ担当）	●検討	●実施	→
	新規 子ども向けボランティア通信の発行（ボラ担当）	●検討	●発行	→
	ふくしだよりの充実（総務係）	●紙面内容の見直し検討	●実施	→
	拡充 ホームページ・フェイスブック・メールマガジン等の運営（総務係）	●HP リニューアル実施 ●FB 実施	→ →	●見直し ●見直し
	拡充 地域福 員会の 支援（まち担当）		試行実	●実施
令和５年度事業計画（実施目標）	〔ボラ担当〕 ・子どもたちに、福祉やボランティア活動に関心を持ってもらえるように子ども向けボランティア通信の発行に向けた検討を行う。 ・同様に、幅広い年代の方々に関心を持ってもらえるように、新たな SNS コンテンツ活用した情報発信について検討を行う。 〔総務係〕 ・紙面の見直しを図り、内容の充実を図る。 ・ホームページのリニューアル及びホー を開始し、幅広い世代への情報発信につなげていく 〔まち担当〕 ・若い年代の方々にも地域活動に関心を持ってもらえるように、各エリアの地域福祉推進委員会で、SNS コンテンツを活用した情報発信について検討を行う。			
取組結果				

第５次多摩市地域福祉活動計画の３年間の年次計画

令和７年度の事業計画（実施目標）

令和７年度の計画に対しての取組結果

基本目標の具体像（６年後の目指す姿）

福祉や地域のことに関心を持つ人や機会が増えている

【社協に求められる役割（取り組み）】

・福祉を身近に、関心を持ってもらえるように、ふくしだよりやボランティア通信などの広報紙、ホームページ、メルマガ、SNS などを通じて多世代に向けた情報を発信する
・小学生、中学生、高校生など子どもたちから地域の方々まで、幅広い年代に福祉に関心を持ってもらえるよう福祉学習の機会を増やす
・福祉・地域活動団体と連携した「福祉」に関する普及・啓発を実施する

施策・取り組み１　広報媒体の拡充、情報発信の強化

取組の方向性（内容）	従来の広報紙「ふくしだより」「ボランティア通信」「サロン通信」等の紙媒体、社協ホームページ、メールマガジン等の電子媒体などを活用した情報発信を継続しながら、新たに YouTube、LINE、Instagram などの多様な媒体（SNS 等）を活用し、多世代が福祉を身近に関心を持ってもらえるように情報発信していきます。			
年次計画		令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
	拡充 新たな SNS コンテンツを活用した情報発信（ボラセン）	●検討	●実施	●検討･拡充
	子ども向けボランティア通信の発行（ボラセン）	●検討	●発行	→
	ふくしだよりの充実（総務担当）	●紙面内容の見直し検討	●実施	●地域に関する情報記事の増加
	拡充 ホームページ・フェイスブック・メールマガジン等の運営（総務担当）	●HP リニューアル実施 ●FB 実施	→ →	●見直し ●見直し
	拡充 地域福祉推進委員会の SNS 導入支援（まち担当）	●導入検討	●各エリア試行実施	●各地域福祉推進委員会の状況に合わせて実施
令和７年度事業計画（実施目標）	〔ボラセン〕 ・子どもたちに、福祉やボランティア活動に関心を持ってもらえるように子ども向けボランティア通信を発行する。 ・同様に、幅広い年代の方々に関心を持ってもらえるように、LINE の公式アカウント及び			

	Xの公式アカウントを正式運用し、引き続きボランティア情報・活動拡充事業専門委員会で検証し、多摩ボラセンやボランティア活動が身近に感じてもらえるような発信を行う。同時に、タマボラくんを活用した発信や他の SNS の活用についても検討を行う。 〔総務担当〕 ・地域に関する記事掲載等、紙面構成見直しを実施継続していく。 ・2次元コードからデジタル媒体へ連携アクセスする手法を活用していく。 ・ホームページのリニューアル後の SNS 活用について、更新頻度、PR 方法なの質の向上を図り、利用者へより興味が持てる情報を提供していく。 〔まち担当〕 ・若い年代の方々にも地域活動に関心を持ってもらえるように、各エリアの地域福祉推進委員会で、SNS を活用した情報発信について検討し、取り組んでいく。また、コンテンツや更新については、住民主体で行えるよう、様々な団体や個人と連携・協働しなが支援していく。同時に、地域福祉コーディネーターの地域情報の発信についても検討し、地域福祉推進委員会や世話人会などで意見を聞きながら、取り組んでいく。
取組結果	〔ボラセン〕 「ボランティア情報・活動拡充事業専門委員会」において SNS の活用について検討を行い、多世代にボランティア活動等への関心を高めてもらうことを目的として、利用者の多いLINE およびXを活用した情報発信を実施した。ボランティア通信の発行や各種講座、ボランティア見本市等の情報を随時発信するとともに、新たに12月にはInstagramを立ち上げ、発信媒体の拡充を図った（3月末時点での登録者数は、LINE120 人、X52 人、インスタグラム 70 人）。 ・令和6年度より新規に取り組んだ「たまぼら KODOMO 新聞」が、令和7年3月号の『教育委員会だより』に掲載された。紙面内容は「ボランティア情報・活動拡充事業専門委員会」において検討し、小中学生向け広報紙として、第3号を6月1日、第4号を10月1日に発行した。市内小中学校を通じて、全児童・生徒へ配布することができた。 紙面では、「夏のボランティア体験」「福祉体験学習」「ボランティアパーク」「子どもの居場所特集」「学習支援」などを取り上げ、子どもたちや居場所づくりに関わる方々の声も紹介した。これにより、ボランティア活動や地域福祉を身近に感じられる内容となるよう工夫した。 〔総務担当〕 ・ふくしだよりの発行において、地域の福祉活動や市民活動、社会貢献活動等の読み手が関心を持てる内容の地域活動記事の掲載を増やした。ホームページについて、タイムリーな情報発信等頻度は上がってきているが、古い記事等は下げるなど整理しながら最新情報をわかり易くする必要がある。SNSによる情報発信強化を行うため、インスタグラム運用を検討し令和 8 年 4 月から実施できるように進めた。 〔まち担当〕 ・地域福祉推進委員会で、Instagram や、YouTube などの SNS を活用した情報発信を行うことで、福祉分野に留まらず、多世代から関心を持ってもらえるようになってきている。 また、事務局による SNS 発信を行うたけでなく、関連する団体や機関・個人が Instagram 等 SNS による情報発信を行うことで、地域福祉推進委員会のイベント等の周知・集客につながった。今後も、地域内の企業や大学等との協力も得ながら、引き続き多世代向けに情報発信をしていく。 ＊Instagram を実施している地域福祉推進委員会 ・馬引沢・諏訪：フォロワー 令和 6 年度末 127 人→令和 7 年度末 177 人 ・桜ヶ丘　　：フォロワー 令和 6 年度末 80 人→令和 7 年度末 96 人 ・貝取・豊ヶ丘：フォロワー 令和 6 年度末 19 人→令和 7 年度末 51 人

施策・取り組み２　福祉を身近に感じる機会の提供

取組の方向性 （内容）	・「福祉フェスタ」等のイベントや「地域出前事業（福祉体験学習）」等の啓発・理解促進事業などを通じて、子どもたちをはじめ多世代が、「福祉」を身近に感じる機会を提供します。 ・障がいのある方に対する理解を深めるため、当事者団体と連携し、対象や年代別の理解促進プログラムを実施します。 ・成年後見制度に関する制度説明の講座を実施し、より多くの市民が成年後見制度を知る機会を設けます。

年次計画	令和５年度 （2023 年度）	令和６年度 （2024 年度）	令和７年度 （2025 年度）
福祉フェスタの開催 （総務担当）	●感染症流行防止に対応した開催	→	→ ●参加者・団体の意見を基に実施内容・企画の見直し
福祉大会の開催 （総務担当）	●50周年式典の開催（外部会場で実施）	●実施	→
重点 地域出前事業（福祉体験学習）の展開 （ボラセン）	●福祉体験学習メニューの検討・作成・周知	●年10回以上	●年15回以上
ボランティアパークの開催 （ボラセン）	●見直し・検討・実施	→	→
新規 多摩ボラセン 40 周年記念事業の実施（ボラセン）			●検討・実施
障がい者理解促進のプログラムの開催 （センター係）	●年間2事業実施	●年間3事業実施	●年間4事業実施
成年後見制度等の普及・啓発講座の開催 （権利擁護）	●成年後見制度等に関する講座の開催 （年４回）	→	→ ●権利擁護センターパンフレットの更新配布

令和７年度 事業計画 (実施目標)	〔（総務担当）〕 ・福祉フェスタ・福祉大会等で、感染症の状況を踏まえつつ積極的な参加を募り、参加団体や参加者増に向けた普及・啓発事業を実施する。福祉フェスタにおいては、地域4館が連携しながら地域交流を創出していく。 ・マスコットキャラクターを広報媒体等で活用し、市民への定着化、社協への意識強化を図っていく。 〔ボラセン〕 ・福祉体験学習メニューを周知活用して、市内の学校や関係機関で15回以上、福祉体験学習を行う。 ・福祉フェスタなどのイベント内で、ボランティアパークを企画・実施し、子どもたちはじめ多世代が気軽にボランティア体験できる場の提供を行う。 ・多摩ボラセン40周年を迎えるため、「40周年記念ボランティア通信の発行」、「タマボラ君グッズの作成」「チャリティ事業の実施」など、情報・活動拡充事業専門委員会で40周

	年記念事業を検討し、「ボランティア登録団体連絡会」と連携して取り組んでいく。 〔センター係〕 ・障がい理解のために、新たに2つの障がい（知的・精神）の内容について当事者の方に協力いただき DVD を作成し学校へ配布する。所蔵の DVD（知的・精神障がいのドキュメンタリー映画）を活用し、地域団体と共催で上映会等実施する。 〔権利擁護〕 ・権利擁護センターのパンフレットを更新し配布するなど、関係機関と連携し広く市民に成年後見制度を周知し、判断能力が不十分な方の権利擁護支援の相談窓口として、市民が適切に利用できるよう支援する。
取組結果	〔総務担当〕 ・福祉フェスタ 子どもや高齢者を対象とした新たな内容の出展協力を得、楽しみながら身近に福祉を感じる機会の提供の目的の達成、および来場・出展の両参加者増にも繋がった。 広報活動においては、近隣施設に個別チラシ配布、4館合同でのフォトラリー等を企画、実施し交流、連携が向上した。 マスットキャラクター「たまふくちゃん」は、着ぐるみを使用した各イベント出演と、新しいイラストポーズを作成・活用し「親しみやすい社協」の PR 活動を行った。 ・福祉大会 2 月 28 日に開催。地域福祉功労者へ表彰を行い、また講演会では東京デフリンピックマラソン競技の山中選手に講演いただき、イベントを通じて障がいの理解、普及啓発を深めた。　※参加者 76 名 〔ボラセン〕 ・「地域出前事業」 防災や平和に関するメニューを追加した「福祉体験等メニュー2025」を発行し、市内小中学校へ配布した。その結果、12 校において計 22 回（小学校 9 校、中学校 2 校、高校 1 校）の福祉体験学習を実施し、子どもたちが福祉への理解を深める機会となった。 ※R5 年度：5 校 9 回、R6 年度：10 校 14 回 ・「ボランティアパーク」 10 月の「福祉フェスタ」、2 月の「VITA ふれあいまつり」、3 月の「ボランティア見本市」の計 3 回で体験企画を実施した。10 月および 2 月のイベントは休日開催とし、子どもをはじめ幅広い年代の来場者が参加し、それぞれ 216 人、173 人が体験した。福祉やボランティア活動に関心をもってもらう機会となった。3 月のボランティア見本市は、主に主婦層・シニア層を対象に平日に開催し、多摩ボラセン登録団体連絡会との共催で実施した。参加団体は 27 団体 84 人、来場者は 95 人であり、そのうち約半数がボランティア活動体験ツアーに参加した。ツアーを通じて新たな活動希望者を各団体へつなぐことができた。 ・「多摩ボラセン40周年記念事業」 多摩ボラセン登録団体内に実行委員会を設置し、12 月 5 日（金）に 40 周年記念事業を開催した。当日は、軌跡紹介ビデオ、北陸能登復興支援映画、輪島市社会福祉協議会および災害ボランティアの会からのビデオメッセージ、国士舘大学講師による講演など、多摩の地域福祉と全国の支援をつなぐ多様な企画を実施した。昼 180 人、夜 85 人、計 265 人が来場し、多摩ボラセンの歩みと今後の地域福祉の方向性を共有する機会となった。来場者には、イラストボランティアが表紙を制作した記念ボランティア通信（登録団体からのメッセージ掲載）、トートバッグ、クリアファイル、タマボラくんクッキー（多摩大学中村ゼミナール学生がデザイン協力）を記念品として配布し、来場者の満足度向上にもつながった。 〔センター係〕 ・「ひとときの和」は市内小学校を各年 2 校ずつ輪番制にて実施する。今年度は、R7.9 月：諏訪小学校（参加生徒：53 人）、R7.11 月：東寺方小学校（参加生徒：102 人）にて開催。身体、視覚、聴覚、精神、知的の5障害のうち、諏訪小学校は、知的を除く 4 障害の理解講座、東寺方小学校は精神・知的を除く 3 障害の理解講座を関係団体の協力を得て実施。今回実施できなかった知的に関する講座については次年度以降、社会福祉法人ネットワーク連絡会の協力を得て実施することとする。そのほか、福祉フェスタにて障害

	者スポーツのボッチャ体験会を通じて、広く市民に啓発する機会を設けた。 〔権利擁護〕 ・権利擁護センターパンフレットを改訂し、行政・地域包括支援センター・関係機関等に配布。また、市民等を対象とした講座で参加者に配布。 ・6月「市民の為の成年後見講座」参加者14人、11月「障害のある方とその家族のための成年後見の集い」参加者8人、12月「司法書士による市民のための成年後見相談会」参加者6組7人を実施し、制度の周知をおこなうことができた。どの講座もアンケート結果から「わかりやすかった」「まあまあわかりやすかった」などの回答を得られた。

６年後の目指す姿

身近に困りごとを相談できる人や場が増えている

【社協に求められる役割（取り組み）】

・相談をワンストップで受け止め、複合的な課題にも市や専門機関と連携して対応していく
・必要な人に必要な情報が届くようにする
・ひきこもりや不登校、ヤングケアラーなど、潜在している複合的な課題やニーズに合わせた福祉勉強会などを開催し、気づきの視点を高める場をつくる
・福祉なんでも相談など、地域に職員が出向き、気づきを相談できる場を拡充する

施策・取り組み３　様々な（多種多様な）相談を受けられる窓口の強化

取組の方向性（内容）	誰もが身近な地域で様々な相談を気軽に受けられるよう、「福祉なんでも相談」や「ボランティア出張相談（ボランティアカフェ）」、「成年後見制度等の相談会」の拡充を図ります。 ひきこもりや、ヤングケアラーなどの複合的な課題を抱えた方の課題等に対しては、関係機関等と連携して講座の開催を実施します。			
年次計画		**令和５年度（2023 年度）**	**令和６年度（2024 年度）**	**令和７年度（2025 年度）**
	拡充 **ボランティア出張相談窓口の拡充（ボラセン）**	●市内大学で新たに1校実施に向けた調整	●市内大学で新たに1校実施	●夏のボランティア体験申込時期に合わせて、市内大学・高校5校以上で出張相談窓口を設置
	権利擁護・成年後見相談会の開催（権利擁護）	●専門職と共催で成年後見制度等に関する相談会を定期的に開催	→	→
	福祉なんでも相談の充実（まち担当・センター係）	●社協内の各部署が連携し、なんでも相談に対応 ●ひきこもりや、ヤングケアラーなどの複合的課題に関する講座を関係機関と連携して実施	●なんでも相談を開催していない1地区で、ミニ講座等を開催。 ●関係機関と連携した講座等の実施	●生きづらさやひきこもりに関する相談や居場所も同時に開催 →
令和７年度事業計画（実施目標）	〔ボラセン〕 ・夏のボランティア体験の申込時期に合わせて、市内の大学・高校に出向き、出張相談窓口を開設する。 ・大学の担当者へボランティア情報を適宜伝え、学生への周知や、大学のボランティアサークルと連絡調整を行うなど、各大学と連携しながら、ボランティア活動の促進を図っていく。 〔権利擁護〕 ・司法書士や社会福祉士と連携し、市民が成年後見制度を利用する際の疑問や課題を			

	より具体的に相談できる機会を増やす。 〔まち担当・センター係〕 ・各エリアで開催している福祉なんでも相談を活用し、社協内の各部署や専門機関と連携して、テーマを設けたミニ講座等を開催することで、市民の不安や悩みの解決につなげていく。複合的課題を持つ方については、社協内や多機関協働で連携し対応する。 ・気軽に相談に立ち寄れるように、看板やのぼり等を工夫する。
取組結果	〔ボラセン〕 ・市内・近隣の大学、高校5校に出向き、夏ボラの案内や出張受付を行った。 夏ボラ出張相談窓口に限らず、大学の授業、ゼミ、サークル等を通じて学校と連携し、学生に働きかけを行った。夏ボラでは、体験者230人のうち約6割となる高校生94人、大学生36人の参加を得ることができた。 〔権利擁護〕 ・司法書士や社会福祉士と連携し、市民が成年後見制度を利用する際の疑問や課題を相談できる相談会を実施した。司法書士の相談会は年 1 回、社会福祉士の相談会は毎月 1 回実施。司法書士の相談会は6組7人、社会福祉士の相談会は 18 人の相談があった。 〔まち担当・センター係〕 ・福祉なんでも相談は、昨年度に引き続き、地域包括支援センター等とも連携し、市内 11 か所のコミュニティセンター等で実施した。今年度は、生きづらさを抱えた方や社会的孤立を抱えている方の相談についても対応していることを、福祉なんでも相談のちらしに掲載し、周知を図った。また、熱中症予防や腸活講座など、地域のニーズに応じたミニ講座を開催し、参加を呼び掛けた。結果、今年度は 136 件（昨年度 108 件）の相談があった。 ・生きづらさを抱える方の居場所である「スペース栞」の中でも個別相談を受け付けることで、気軽に相談ができる機会を創出した。 ・相談者の困りごとに目を向けるだけでなく、ストレングスに着眼し、ボラセンと連携し、ボランティア出張相談で、地域活動やボランティア活動につなげられる機会を設けた。

施策・取り組み４　潜在・複合的な課題へのアプローチ

取組の方向性（内容）	重層的な相談支援体制を展開し、地域のネットワークの活用やアウトリーチによる相談を実施し、多様化、複雑化するケースの早期発見につなげていきます。また、複合的・複雑化したケースを発見した場合は、関係機関につなぐほか、多摩市社協内連携により課題解決に向けた検討・対応を行います。

年次計画		令和 5 年度（2023 年度）	令和 6 年度（2024 年度）	令和 7 年度（2025 年度）
	多摩市社協内横断のケースカンファレンスの開催（まち担当）	●個人情報を共有できるシステム等の検討 ★全所管PJで検討	→ ●必要に応じてケース検討開始	●システムについては市のシステムを活用（終了） →
	重点 **複雑化するケースの社会参加のための活動の創出（まち担当）**	●ケース・事例検討PJ等の設置	●ケースに合わせてプログラム検討	●参加支援事業のメニュー表を作成する
	重点 **多機関連携による相談支援体制の構築（まち担当）**	●仕組みの検討	●実施	→

	参加支援のコーディネート（まち担当・ボラセン）	●仕組みの検討	●実施	→
令和７年度 事業計画 (実施目標)	〔まち担当〕 ・ひきこもり等の多様化・複雑化したケースについて、社協内に設置した連絡会で横断的なケース検討を行い、必要に応じて社会参加に向けたプログラムを創出していく。 ゆるたまネットのような既存のネットワーク連絡会や、地域でひきこもり等、生きづらさをかかえる若者の支援を行うボランティア団体等と協力して参加支援事業のメニュー表を作成するなど、活動メニューを可視化する。 ・社協内だけでの調整が難しいケースなどについては専門機関等につなぎ、多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会内に位置付けられた、エリア別情報交換会などを通じて、多機関と連携して支援していく。 〔まち担当・ボラセン〕 ・ひきこもり等、生きづらさをかかえる若者などの社会参加を支援していくために、既存の活動へのつなぎや、つなぎ先がない場合は参加プログラムを創出するなど、多機関と連携してコーディネートしていく。 ・日常のコーディネートやフードパントリーから生きづらさを抱えた方の把握につとめ、継続的な支援を行い参加支援等の関係機関に繋げる。			
取組結果	〔まち担当〕 ・生きづらさを抱える方の対応について、今年度、社協内の相談支援担当者の連絡会を2回開催し、各機関の相談状況や制度の狭間への対応について情報交換を実施した。 ・社協内の機関連携で対応ができそうなケースについて、今年度 2 回事例検討を実施した（ボランティア担当食料配布事業、総務担当貸付事業）。 ・生きづらさやひきこもり等の社会的孤立について、放課後等デイサービスや訪問看護ステーション等と情報交換を行い、次年度新たに検討しているフォローアップの居場所づくりにつなげた。 〔まち担当・ボラセン〕 ・ゆるたまネットや社福法人ネットワーク連絡会の協力で、参加支援メニューを作成し、随時更新をおこなった。 ・参加支援事業は、昨年度から継続している 1 件の他、ボランティア担当からの相談 1 件、生きづらさを抱える居場所に参加している方からの相談 1 件と計 3 件のプランを作成した。 ・昨年 12 月に実施した「ゆるたまネット食料等無料配布事業」を通じて、社会的に生きづらさを抱える方や世帯（21 世帯）と新たにつながり、状況確認を行った。生活困窮相談窓口へのつなぎを行うほか、1 月以降は多摩ボラセンのフードパントリーを通じて継続的な支援を実施しているが、現時点では参加支援に関するコーディネートのニーズは確認されていない。			

６年後の目指す姿

福祉や地域活動に参加するきっかけや機会が増えている

【社協に求められる役割（取り組み）】

・地域の現状を伝えあい、地域の課題を我が事として考えるきっかけづくりの場をコーディネートしていく
・まわりのできごとなど、気づきを共有するネットワークの場づくりを進める
・身近な地域で気軽に参加できる地域活動を創出する

施策・取り組み５　地域福祉活動への参加のきっかけづくり

取組の方向性（内容）	市民が地域福祉活動に参加するきっかけとなるよう各種入門講座を実施するとともに、子どもたちをはじめ多世代が活動体験できる機会を創出に取り組みます。 ボランティア活動が、高齢者の介護予防及びフレイル予防につながることを啓発しながら、介護予防ボランティアポイント事業の活動メニュー（受入先）を拡充し、登録者（活動者）の増大を図ります。			
年次計画		**令和５年度（2023 年度）**	**令和６年度（2024 年度）**	**令和７年度（2025 年度）**
	市民活動入門講座の開催（ボラセン）	●年2回以上	→	→
	夏のボランティア体験の拡充（ボラセン）	●体験メニュー100メニュー以上 ●参加者400人以上	→	→
	介護予防ボランティアポイント事業の拡充（ボラセン）	●受入先の増大（新規１団体以上） ●新規登録者数20人以上	→	→
令和７年度事業計画（実施目標）	〔ボラセン〕 ・多くの年代の方々が、ボランティア活動等に関心を持って、活動のきっかけとなるように、市民活動入門講座を開催する。 ・夏休み期間に子どもたち、学生、社会人など多くの年代の方々が、夏休み期間を利用して活動体験できるよう、夏のボランティア体験を実施する。 ・夏のボランティア体験に参加申込しやすいように、また、受入メニュー表を作成しやすいように、グーグルフォームなどのシステムを活用して効率的な受付を検討実施することで、活動者及び参加メニューの拡充を図る。 ・65歳以上のシニア層に対しては、介護予防ボランティアポイントを活用したボランティア活動を促進していくため、活動内容の拡充を図り、新規登録者を増やす。			
取組結果	〔ボラセン〕 「市民活動入門講座」 ・6 月に実施し、受講者 9 人のうち 5 人が「夏のボランティア体験」に参加した。また、2 人が福祉学習への協力ボランティアとして活動を開始した。			

	11 月には「手芸でボランティアをしよう！」を開催し、募集開始日に定員の 16 人に達した。講座終了後の月 1 回のフォローアップミーティングには 11 人が参加しており、近年の講座の中でも特に反響が大きく、グループ化も現実的に視野に入る成果となった。 今後も参加者へのフォローアップを継続し、活動の継続および団体化を見据えたコーディネートを進めていく。 「夏のボランティア体験」 ・7 月 25 日（金）～8 月 31 日（日）に実施。 参加者 230 人、体験メニュー117。受け入れ施設等 74 ヶ所。多世代を対象に実施しているが、小学生 48 人、中学生 28 人、高校生 94 人、大学生 36 人の参加を得ることができた（夏ボラ体験者（230人）のうち約9割が子ども・若者）。 「介護予防ボランティアポイント事業」 ・毎月1回、介護予防ボランティアポイント説明会を実施し、30 人が新規登録した（登録者総数 598 人）。9 月には登録者研修会を行った（21 人参加）。

施策・取り組み６　地域活動の創出支援

取組の方向性（内容）	10のコミュニティエリアごとに配置した地域福祉コーディネーター（エリア担当職員）が、地域のネットワーク（地域福祉推進委員会）や通いの場等を活用しながら、地域支援（地域生活課題の解決）、個人支援（相談や専門機関へのつなぎ）を行います。 今後は若い世代や、現役世代など幅広い世代の参加を鑑み、オンラインによる開催等、ICT を活用し、参加者を増やしていくための多様な参加方法を取り入れながら支援を行います。 地域福祉推進委員会の無い地域では、住民懇談会等を開催するなど、地域生活課題や住民ニーズを把握し、住民主体による地域福祉活動の創出に向けた支援を行います。 また、通いの場を継続するための支援やサロンのない地域には継続してサロンの立ち上げ支援を行います。			
年次計画		**令和 5 年度（2023 年度）**	令和 6 年度（2024 年度）	**令和 7 年度（2025 年度）**
	拡充 **地域福祉推進委員会の ICT 活用（まち担当）**	●地域福祉推進委員会のオンライン併用開催支援	→	→
	住民懇談会（座談会）等の開催（まち担当）	●必要に応じ随時開催	→	→
	サロン活動等、通いの場の創出（まち担当）	●コミュニティエリアで1カ所	●コミュニティエリアで1カ所	●コミュニティエリアで1カ所
令和７年度事業計画（実施目標）	〔まち担当〕 ・10エリアに設置した地域福祉推進委員会については、継続して運営支援を行いながら、世話人会も含めてさらに若い世代や専門機関等が参加しやすいように、必要に応じてオンラインによる開催を併用する。 ・地域福祉推進委員会やサロン活動が無いエリアでは、必要に応じて住民懇談会等を実施し、地域の課題やニーズを把握し、通いの場等の創出をコーディネートするなど、地域づくりの支援を行う。また、これらをより推進していくため、ふれあい・いきいきサロン事業推進要綱の見直しを行う。			
取組結果	〔まち担当〕 ・オンライン参加については、各地域福祉推進委員会で呼びかけているが、コロナ禍が収束し、連光寺・聖ヶ丘地区の地域福祉推進委員会以外は、対面での参加のみになっている。普及啓発講座等は、オンライン参加者が定着化してきている。若い世代や専門			

	機関等の参加増を視野に入れ、継続してオンライン対応ができるように常に準備態勢を整えていく。 ・第 4 エリアにおいて、中和田・東寺方自治会等と連携し、住民ニーズアンケート調査をすることができた。今後も継続しニーズ把握と住民懇談会を開催し地域活動につなげていく。 ・第 8 エリアにおいて、貝取地区では、地域内住宅管理組合の理事会との共催により住民座談会を開催し、その後、住民主体による継続的な集まりの場が形成されている。 ・サロン活動については、市内 104サロンが活動中（令和8年 3 月末） 令和7年度は6か所の新規サロンが立ち上がった。

６年後の目指す姿

身近な地域で交流の場や地域のことを一緒に考えていく場が広がっている

【社協に求められる役割（取り組み）】

・誰もが集い、交流できる場づくりをすすめる
・市民の心のよりどころとなったり、当事者同士のつながりや悩みを把握する場となるような居場所づくりを支援する
・住民から寄せられる気づきやちょっとした相談を地域の皆さんと一緒に考えていく場づくりを進める
・地域活動者などボランティア同士の交流の場づくりを進める

施策・取り組み７　多世代の交流の場づくり

取組の方向性（内　容）	障がいやひきこもりの家族会などの運営支援や、若い世代も含めた当事者の様々なつながりの中から、関心の持てる活動や場づくりを ICT 等の活用も含め検討・実施し、新たな地域活動者の発掘を図ります。			
年次計画		令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
	健幸つながるひろばの運営支援（まち担当）	●住民サポーターによる運営支援	●他機関協働によるプログラム展開の充実	＊運営法人が変更になったため終了
	新規 当事者の活動への参加支援や場づくり（まち担当・センター係）	●ニーズ調査 ●要綱等検討 ●オンラインの場づくりの検討	●試行実施1カ所 ●当事者の居場所の試行実施1回（オンライン含む）	●市内コミセン等で居場所の開催について検討 ●生きづらさを抱える方の居場所「スペース栞」を定期開催
	障がい当事者や家族会への運営支援（センター係）	●連携した運営の実施	●運営支援の継続	●運営支援の継続 →
令和７年度事業計画（実施目標）	〔まち担当〕 ・豊ヶ丘健幸つながるひろば「とよよん」では、令和6年度途中に運営団体が変わったため、運営支援は終了となった。今後は連携した活動展開をしていく。 〔まち担当・センター係〕 ・家族会や専門機関等と連携し、当事者のニーズや状況を把握しながら、当事者が安心できる居場所づくりに取り組む。 ・生きづらさを抱える方とその家族を対象とした居場所として、多摩市立中央図書館と連携した「スペース栞」（本をテーマとした居場所）を定期的に開催し、定着を図る。また、二幸産業・NSP・健幸福祉プラザでも引き続き実施し、検証していく。 ・スペース栞とは別に、市内のコミセン等を会場とした居場所の設置について、エリア担当者と協力して検討を進める。			

取組結果	〔まち担当・センター係〕 ・生きづらさを抱える方を対象とした居場所「スペース栞」を奇数月は多摩市立中央図書館、偶数月は二幸産業・NSP 健幸プラザを会場とし計12回開催し、延べ 66 人の参加があった。多摩市立中央図書館の協力による本の選定や傾聴ボランティア団体ハートフル多摩の協力で、参加者が安心できる居場所づくりを行った。 ・スペース栞の参加者の中から、運営協力してもらえる当事者ボランティアを声掛けし、2人の協力を得て運営を行った。 ・新たな居場所として、就労や社会参加につながった方のフォローアップの居場所づくりに向けて、子ども食堂や放課後等デイサービス、自立支援事業所等との情報交換を行った。 〔センター係〕 ・団体主催の講演会の会場確保や参加者受付等の支援を行うほか、家族会の活動を外部への情報提供や開催周知、参加問合せへの対応や団体へのつなぎなどを行った。一方、定例会が不定期開催となる団体があるなど、活動が減退してしている状況も見られるため、より連携をはかり活動を支援する必要がある。

施策・取り組み８　同じ課題や関心事を持つ人の居場所づくり

取組の方向性（内容）	多摩ボラセン登録団体が集い、交流したり学習したりする機会を設け、活動の活性化が図れるよう、コーディネートを行います。 また、市内でボランティア・NPO・市民活動をしている活動者を対象に、それぞれの課題を共有する機会を設けるなど、活動のフォローアップが図れるようコーディネートを行います。 成年後見人等や生活支援員が集い、情報交換や課題の共有、学習する機会を設け、成年後見人や生活支援員への支援に取り組みます。			
年次計画		**令和５年度（2023 年度）**	**令和６年度（2024 年度）**	**令和７年度（2025 年度）**
	多摩ボラセン登録団体連絡会の運営支援（ボラセン）	●連絡会運営のあり方の検討・見直し	●連絡会運営を支援	→
	ボランティア活動者等のフォローアップの実施（ボラセン）	●年1回以上実施	→	→
	成年後見人の支援（権利擁護）	●親族後見人懇談会と専門職後見人懇談会を開催（年各1回）	→	●親族後見人の支援について新たな方法を検討実施
	生活支援員のフォローアップの実施（権利擁護）	●生活支援員研修および情報交換会を開催（年2回）	→	→
令和７年度事業計画（実施目標）	〔ボラセン〕 ・多摩ボラセン登録団体が集い、つながり、交流したり学習したりしながら、各団体の活動の充実が図れるように、多摩ボラセン登録団体連絡会の運営を支援する。多摩ボラセン40周年記念事業を連絡会で企画検討実施し、連絡会活動及び各団体の活性化を図っていく。 ・ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティア活動者等のフォローアップ講座を実施する。			

	〔権利擁護〕 ・成年後見人や生活支援員等の知識や技術の向上、情報交換の場として懇談会を開催するほか、より必要とされる支援の方法を検討実施する。
取組結果	〔ボラセン〕 ・登録団体連絡会のあり方を見直ししてから 3 年目を迎え、平均 20 団体以上が参加する情報交換・交流の場として定着した。ボランティアパークや見本市での PR により新たな活動者の参加につながり、昨年度の見本市を契機に加入した方が、今年度は団体メンバーとして参加するなど成果が見られた。 10 月には、希望の多かった「災害時の活動支援」をテーマに学習会を開催し、輪島市社会福祉協議会および災害ボランティアの会の協力を得て、災害時に団体としてできることを学んだ。 登録団体は 54 団体（令和 7 年 12 月に 2 団体追加）となり、活動者の高齢化等を踏まえ、多摩社協 HP やボランティア通信で各団体の活動を紹介し、新たな仲間づくりを進めた。また、連絡会内に 40 周年チャリティ映画実行委員会を設置し、映画会を実施した。 〔権利擁護〕 ・11月「専門職後見人懇談会」参加者11人、12月「親族後見人懇談会」参加者4人を実施。 「専門職後見人懇談会」は弁護士から「死後事務と相続財産の引継ぎについて」をテーマに講話いただいた。 「親族後見人懇談会」については、昨年度、一昨年度と参加者が集まらず中止となった。今回は講座形式から参加者からの質問に権利擁護センター運営委員でもある弁護士から回答する形式をとったところ、4人の参加があり、それぞれこれから親族後見人として活動を考えている方の参加であった、充実した懇談会となった。 ・生活支援員を対象とした研修および情報連絡会を開催。 7 月には、多摩市消費生活センター相談員より「消費生活トラブル」をテーマに講話いただいた。参加者 20 人。1月には、個人情報保護法や他地区社協での事故報告をもとに、現状の活動について情報交換を行った。参加者19人。

６年後の目指す姿

地域でのつながりを活かし、活動が充実している

【社協に求められる役割（取り組み）】

・災害時や緊急時にもお互いに支えあい、困っている人を助けることのできる関係性をつくる
・地域で活動できる人や困っている人を把握し、つなぎ役を担う
・活動者の新たな担い手の発掘、育成に取り組み、地域活動やボランティアの育成に取り組む
・市内の企業や大学等と連携したネットワークをつくり、「地域貢献活動」を推進する

施策・取り組み９　ニーズに応じた担い手の発掘・育成

取組の方向性（内容）	移動販売時の買い物荷物持ち（買い物支援）や子ども食堂での弁当や食品の配送など、力がいる男性向けのボランティア活動ニーズが多くでてきているため、主に退職間近の高齢男性などを対象に、退職後の地域での活躍の場づくりのコーディネートを行います。 災害時や緊急時に、地域でお互いが支えあい、助けあい活動に取り組めるよう、「災害ボランティア講座」を開催し、災害ボランティアの育成に取り組みます。同時に災害時要配慮者支援の啓発に取り組む。 ボランティアニーズはあるも、活動者がいないなどの理由によりマッチングが難しいケースについては、ニーズに応じたボランティア育成講座等を開催し、ボランティアの育成に取り組みます。 高次脳機能障害や精神障害等見た目ではわかりづらい障がいを抱えた人や家族への理解を深め事業に携わるボランティアの育成に取り組みます。 認知症や障がいのために判断力が十分でない方が、地域生活を安心して送れるよう支援をする生活支援員の増強を図ります。 福祉に理解のある幅広い方々に呼びかけをし、社協活動協力員の拡充を図るとともに、活動内容の見直しを行い、活動の場の拡充を図ります。			
年次計画		**令和５年度（2023 年度）**	**令和６年度（2024 年度）**	**令和７年度（2025 年度）**
	男性の活躍の場の創出（地域活動者の育成）（ボラセン）	●地域活動者の集いの開催（年3回以上）	●男性ボランティアグループの立ち上げ支援	●男性ボランティアグループの支援
	重点 **災害ボランティアの育成（ボラセン）**	●災害ボランティア講座の開催（年1回以上） ●災害ボラセン訓練の実施（年1回以上） ●災害ボランティア登録者数の増大（60人以上）	→ → ●左記65人以上	→ → ●左記70人以上

	冊子「災害時要配慮支援のメッセージ」の改訂（ボラセン）	●見直し検討	●改訂・発行	●発行
	ニーズに応じた活動者の育成（ボラセン）	●ニーズに応じて育成講座を開催	→	→
	ボランティアの育成（センター係）	●開催内容の検討	●実施	●実施
	生活支援員の養成（権利擁護）	●生活支援員募集の事業説明会および新任研修会の開催（年3回）	→	●生活支援員をより多く募集するため、事業説明会を4回以上実施する
	社協活動協力員の活動の充実（総務担当）	●活動内容の見直し・検討	●実施	→

令和７年度事業計画(実施目標)	〔ボラセン〕 ・男性の地域活動の活躍の場を創出するため、主に男性高齢者を対象にした「地域活動者の集い」を開催し、男性ボランティア活動グループの立ち上げを支援する。 ・大規模災害時に円滑に災害ボランティアセンターを運営していくため、平常時から災害ボランティアの育成や訓練を実施する。 ・改訂した「災害時要配慮者支援のメッセージ」を活用し、平常時から災害時要配慮者支援の啓発を行い、いざというときの助けあいの必要性について周知していく。 ・学習支援ボランティアの育成など、ニーズに応じた活動者の育成に取り組む。 〔センター係〕 ・障がいのある方に対し理解を深め活動に関わるきっかけとなるよう、高次脳機能障害サポート講座を継続開催する。講座参加者後も継続した活動やフォローアップの場として障害デイサービスや高次脳機能障害グループ活動を引続き提供していく。 〔権利擁護〕 ・契約件数が増加する中、福祉サービス利用援助事業の担い手である生活支援員を積極的に募集・養成し、事業の安定的運営につなげる。 〔総務担当〕 ・具体的な協力内容を新たに追加し、現在の内容以外でも活動へ協力していただけるように呼びかけていく。
取組結果	〔ボラセン〕 「男性の活躍の場の創出」 ・総合的学習(福祉体験学習)サポーターとして 3 人が定期的に参加した。 「災害ボランティアの育成」 ・6 月に「災害ボランティア講座入門編」(参加者 25 人)を開催した。7 月には二幸産業・NSP 健幸福祉プラザにおいて、システムを活用した「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施し、市民・関係者・職員を含む 66 人が参加した。10 月には「災害ボランティア講座運営編」(参加者 8 人)を開催し、ボランティアマッチングゲーム等の演習を行った。これらの取組により、新たに 18 人が災害ボランティアとして登録し、登録者数は合計 62 人となった。 「災害時要配慮者メッセージの改訂」 ・7月に改訂版を2000部発行。医療的ケアのある方からのお願いのページを新たに入れることができた。市内公共施設での配架や地域防災訓練、地域福祉推進委員会などで随時説明・配布を行っている。

	「ニーズに応じた活動者の育成」 ・食の支援活動者育成講座を実施。13 人が参加し、1 人がフードバンク活動（ソスペーゾ多摩の活動）に参加し、3 人がフードパントリーの協力者となった。 〔センター係〕 ・１１月に高次脳機能障害者促進事業として、講演会「日々の悩みを解決するアプリ活用術」を開催（32 人参加）。スマホアプリを活用した支援方法について学び、ボランティア活動へのきっかけとした。 〔権利擁護〕 ・生活支援員の増員をするため、生活支援員応募説明会を4回実施した。うち1回はセンター係、まちづくり担当合同の事業説明会を実施。事業説明会には16人の参加があり、そのうち、3人が新規に生活支援員に登録した。事業説明会の申込をグーグルフォームで行うことで、気軽に申し込みができるようになり、参加者の増員に繋がった。 〔総務担当〕 ・10 月の赤い羽根共同募金、福祉フェスタ・福祉バザー、・歳末たすけあい運動（地域ささえあい募金）の街頭募金活動の協力をいただいた。

施策・取り組み１０　ネットワークを活かした地域活動の推進

取組の方向性（内容）	「多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）」の事務局を担い、それぞれの事業所等の有機的なつながりを推進し、ネットワークを活かして、支援を求められることが多い「ヒト、モノ、コト、カネ、場所」の問題に対して、できる取り組み（地域貢献活動）のコーディネートを行います。 ゆるたまネット、多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会、多摩ボラセン登録団体連絡会などのネットワークを活かして、フードドライブ及びフードパントリー事業の推進を図り、さらには、多摩ボラセン運営委員会内に子ども若者応援事業検討専門委員会を設置し、生活課題を抱える子ども・若者を中心とした支援に取り組みます。 また、子ども・若者の支援に取り組む財源を確保するため、子ども・若者応援基金の使途を明確にし、広く周知を行います。 ふくしだよりやチラシ等の配架や自販機の設置に協力いただける新規福祉協力店の開拓を図ります。			
年次計画		**令和 5 年度（2023 年度）**	**令和 6 年度（2024 年度）**	**令和 7 年度（2025 年度）**
	多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会の運営支援（総務担当）	●法人連携による地域福祉活動支援取組の継続 ●若い世代を対象とした福祉啓発の取り組み ●災害時における法人による地域支援の取り組み	→	→
	多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）の運営支援（ボラセン）	●企業等との協働活動（地域貢献活動）の推進 （1以上の活動をコーディネート）	→	→
	重点 **フードドライブ・フードパントリー事業の推進**	●フードドライブ窓口の拡充 （市内6店舗以上） ●フードパントリーの実施	●市内7店舗以上 ●ニーズ状況に応じて対象者含めて	→ ●実施

	（ボラセン・総務担当）	●福祉フェスタ等イベントを通じての食料寄付募集 ●貸付相談に伴う一時食料支援の実施	見直し検討・実施 → →	→
	新規 子ども・若者応援事業の実施（ボラセン）	●事業検討専門委員会を設置し検討	●実施	●学習支援事業「永山教室」開講 ●日用品ドライブの検討・実施
	子ども・若者応援基金の周知（ボラセン）	●基金目標額 150万円以上	→	→
	福祉協力店の拡充（総務担当）	●新規協力1店舗以上	●新規協力1店舗以上	●新規協力1店舗以上
令和7年度 事業計画 (実施目標)	〔総務担当〕 ・法人連携による地域貢献活動（求職相談会、車いす貸出、フードドライブ等）を継続実施していく。また、地域のニーズに応じた地域出前事業や地域施設への配分のための共同募金の取組を展開していく。地域社会資源としてPR活動を強化していく。 ・新規福祉協力店を獲得するほか、公共施設の改修等工事現場への自動販売機設置依頼を積極的に行っていく。 〔ボラセン〕 ・ゆるたまネットでは、以下の事を進めていく。 ①食料等無料配布事業を実施。食の実行委員会を設置し、実行委員の意見や受取者からのアンケートを参考に、実施場所、配布内容等の検討を行う。 ②災害用メーリングリストを作成し、いざというときに円滑に情報共有・活動できるようにする。引き続き、災害時連携の学習会を実施し、平常時から関係を深めていく。 ③生きづらさを抱える若者等の受入れメニュー表を作成する。受入れにあたっての研修等引き続き学習会を開催し、参加支援事業の理解促進を図っていく。 ④各企業等で実施している、実施できる地域出前事業（地域貢献活動）のメニュー表を作成する。市内小中学校、地域団体などに配布し、ゆるたまネットメンバーの地域貢献活動を促進していく。 ・市内のコミセン・スーパーなどに働きかけを行い、フードドライブの受付窓口を拡充できるように取り組む。フードドライブにより寄付いただいた食品等を活用し、ゆるたまネット事業で把握した生活困窮世帯等を継続して支援するため、定期的にフードパントリー事業を実施する。対象世帯については、アンケート等を通じて状況把握を行い、支援が必要な世帯に食料を配布できるようにしていく。また、長期にわたって配布を行っている世帯については、必要に応じて相談支援機関につないでいく。 ・多摩ボラセン運営委員会内に設置した「子ども・若者応援事業検討専門委員会」で、ドライブ事業や学習支援事業の拡充及び新たな多体験機会の検討を行い、ニーズに即した事業を実施していく。 ・子ども・若者を支援する活動や事業を推進していくための財源の必要性を共感が得られるよう可視化し、そのPR方法や子ども・若者応援基金に寄付やすい仕組みを検討・実施し、寄付金の増額を図っていく。			
取組結果	〔総務担当〕 ・地域の防災訓練での車イス体験に協力支援、 フードドライブによる食料無料配布事業と生活困窮者の支援、赤い羽根共同募金の募金活動の取組　地域での車イス貸出事業を継続した。特に車イス貸出事業利便性があり需要が拡大している。			

	・社会福祉法人利用・活用サポートガイドの更新を行い、若い世代へ向けて福祉の仕事などに関する講演を追加した。 ・社会福祉法人ネットワーク連絡会を PR していくための PR 動画を制作した。 ・福祉協力店は、2 店舗閉店にともない終了。新規内容での協力 1 店舗（フードドライブの協力）。 ・貸付相談の中で生活困窮されている世帯に対して食料支援（49件）を行った。（49件）子どものいる世帯については、必要に応じて多摩ボラセンのフードパントリーにつないだ。 〔ボラセン〕 「ゆるたまネット」 ・新規 5 団体が加入し 48 の企業・大学等が参加し、地域・社会貢献活動につながる取り組みを検討実施した。6 月定例会、11 月定例会/交流会、2 月定例会/学習会の他、4 月のさくらまつりでの能登半島復興支援フェア、12 月の歳末支え合い街頭募金（昨年より多く2日間の実施）を行った。12 月の食料配布第6弾は実行委員会を設置し実施した。新たな取り組みとして「災害時用メーリングリストの作成」「地域出前事業メニューの作成」「参加支援事業メニュー表の作成」「災害時メーリングリストの作成・災害時連携プロジェクト設置検討」に取り組んだ。 「フードドライブ」 ・市内にフードドライブ受付窓口を 14 カ所設置（募菓子箱 2 カ所を含む）したほか、市内読売新聞販売所が購読世帯を対象にフードドライブを実施し、定期的に食料の寄付を受けることができた。また、「たまこどもフェス」（ベルブ永山）や「せいせきフードドライブ」（京王ショッピングセンター）など、イベントに合わせた取組も行い、支援の輪を広げることができた。 さらに、10 月からは「日用品・スタディドライブ」を試行実施し、4 カ所の受付窓口を設置して、市民や企業・団体から洗剤・シャンプー類、鉛筆、ノート等の寄付を受け付けた。 実績：〈フードドライブ〉令和 7 年度 452 件 5,830 kg （昨年度 473 件 8,927kg） 〈日用品・スタディドライブ〉令和 7 年度 59 件 142 kg 「フードパントリー」 ・12 月に実施した「ゆるたまネット食料等無料配布事業」で支援した 204 世帯のうち、アンケートで「特に生活に困っている」と回答した 81 世帯が、毎月実施しているフードパントリーに登録し、継続的な支援につなげることができた（11 月までの約 1 年間支援予定）。 このほか、総務担当（貸付担当）や子ども家庭支援センターなどの相談機関と連携し、6 世帯に対して食料支援を行った。 「子ども・若者応援事業」 ・フードパントリー事業を通じて利用者のニーズを把握し、特にニーズの多かった「食料支援」「日用品支援」「学習支援」を実施することができた。日用品については、学用品と合わせたドライブを試行的に実施し、令和8年度からの本格実施につなげることができた。 学習支援については、多摩市およびしごと・くらしサポートステーションの協力を得て、NPO 法人 BORDER FREE と共催し、6月より永山教室「放課後学習教室」を開講した（英検対策教室は令和7年3月に先行開始）。 ・【子ども若者応援基金】 1,380,900 円の寄付をいただいたが、目標の 150 万円には届かなかった。一方で、令和 7 年度も都のフードパントリー補助金と Amazon の学習支援助成金を受けられたため、子ども若者応援基金の支出は約 65 万円に抑えられ、基金への積立が可能となった。今後も使途を明確にしながら寄付を募っていく。また、物価高騰により日用品等を寄付金での購入も進められるよう、令和 8 年 4 月にシンカブル内へキャンペーンページを開設し、寄付受付を開始する。

６年後の目指す姿

生活課題がありながらも地域で安心して暮らせる人が増えている

【社協に求められる役割（取り組み）】

・単身高齢者が安心して暮らせる仕組みをつくる
・地域課題への取組みを支援し、見守りや支えあいの取り組みを共に進める
・多様な福祉サービスの提供体制を強化する
・多様な専門機関が連携・協働して活動できる仕組みづくりを進める

施策・取り組み１１　見守り・支えあい活動の支援

取組の方向性（内容）	地域福祉コーディネーター等が、潜在化・複雑化した課題やニーズの早期発見に取り組み、コミュニティエリアより小地域（自治会・住宅管理組合、もしくはより小グループ等）での支えあい活動（通いの場や見守り等）の創出の支援を行います。また、自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金をより分かりやすく、利用しやすい区分に再整理し、「つながりや支えあい」が創出できるよう、検討を行います。 「自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金」や「福祉団体補助金」、「ボランティア活動等振興助成金」、「子ども・若者応援助成金」等の活用を推進し、多くの地域福祉活動を行う団体への支援を行います。			
年次計画		**令和５年度（2023 年度）**	**令和６年度（2024 年度）**	**令和７年度（2025 年度）**
	自治会・町会・管理組合単位での支えあいの仕組みづくり（まち担当）	●新規1団体を想定	●伴走支援 継続１団体	→
	自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金の見直し（まち担当）	●より小グループでの仕組について ニーズ調査	●要綱等の見直し ●予算等の検討	●要綱見直しに伴い、アンケート調査等の実施
	ボランティア活動等振興助成金交付の実施（ボラセン）	●10団体以上支援	→	→
	子ども・若者応援助成金交付の実施（ボラセン）	●10団体以上支援	→	→
令和７年度事業計画（実施目標）	〔まち担当〕 ・「見守り」や「ゴミ出し」など、自治会・住宅管理組合単位（自治会推薦などの条件をつけて「団体内の小グループ」も視野に入れる）で地域住民主体となった支えあい活動を創出し、伴走支援をしていく。 ・自治会・住宅管理組合の担い手の高齢化や近隣関係が希薄化しているため、団体として申請しやすい助成金の要綱や仕組みに見直しを行う。要綱の見直しに当たっては、アンケート調査やヒアリング等を行い進めていく。			

	〔ボラセン〕 ・ボランティア活動等の振興や子ども・若者の支援に取り組む活動を支援し、活動の活性化を図るため、各団体に対して助成金を交付する。 ・資金面で団体の運営が難しくなっている団体に関して、助成金情報を都度提供するなど資金獲得、継続的に活動できるような支援を行う。
取組結果	〔まち担当〕 ・自治会・住宅管理組合単位での支えあい活動が高齢化の影響等もあり難しくなっている状況を踏まえ、サロン団体や有志の小グループでの見守り・支えあい活動についても支援する方向で、要綱見直しを行った。活動の創出については、地域福祉コーディネーターが仕組みづくりの相談、伴走支援を行っていく（令和8年度から施行）。 ・今年度は、助成事業を活用し、4 件の住民主体の継続的な福祉活動の伴走支援を行っている。 〔ボラセン〕 ・多摩ボラセン登録団体 12 団体に計 330,000 円の助成金を交付した。「ボランティア活動の質向上を図るための事業（5 団体）」「広く市民を対象にボランティア活動等の普及啓発を行う事業（6 団体）、「スタートアップ支援を目的とした事業（1 団体）であった。 ・子ども若者応援助成金は 16 団体に計 524,000 円の助成金を交付した。食事等提供事業 7 団体、学習支援事業 1 件、多様な体験機会等提供事業 8 件であった。助成金交付を通じて新たな団体とのつながりがもてるようになった。今後は、活動団体が把握する地域の生活課題や団体自身の課題を確認し、助成金の交付にとどまらず、連携した事業展開も検討していく。

施策・取り組み１２　生活支援に係る事業の強化

取組の方向性（内　容）	認知症や障がいを抱えても、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう「福祉サービス利用支援事業」や「成年後見制度の利用支援事業」を推進するとともに、今後、増加が見込まれる身寄りのない単身高齢者であっても、万が一に備えて、急な入院や施設入所、自分自身が亡くなった時の葬儀や家財整理を行えるよう、「高齢者あんしんサポート事業」の展開を図ります。 高齢により身体能力や認知機能が衰えた場合でも、視覚障がい者が安全で快適な外出ができるよう、従事者数の確保や関係機関との連携による外出の支援を推進します。 聴覚障がいのある方への情報保障について、手話では、医療や行政窓口等での手続きなど様々な場面に対応できるよう、要約では、ノートテイクの技術向上のため活動者への研修について引き続き実施します。 生活困窮者へ貸付制度の周知を図るとともに、複合的課題の対象者に対し関係機関との連携し必要な生活支援を行います。			
年次計画		**令和 5 年度（2023 年度）**	**令和 6 年度（2024 年度）**	**令和 7 年度（2025 年度）**
	福祉サービス利用支援事業の推進（権利擁護）	●新規利用契約25件	●新規利用契約30件	●新規利用契約35件
	成年後見制度の利用支援の推進（権利擁護）	●新規相談および成年後見制度利用申立て支援130件	●新規相談および成年後見制度利用申立て支援140件	●新規相談および成年後見制度利用申立て支援150件 ●権利擁護支援検討会議を開催する
	新規 **高齢者あんしんサポート事業の推進（権利擁護）**	●実施 ●高齢者あんしんサポート事業説明	→	→ ●より多くの市民に

		会の開催 （年3回）		事業を知ってもらうため、事業説明会を年４回以上おこなう
	同行援護事業の実施 （センター係）	●従事者登録増 （新規登録者3人）	→	→
	意思疎通支援事業の推進 （センター係）	●活動者のスキルアップ研修の実施	→	→
	生活支援の推進 （総務担当）	●貸付事業の実施	→	→

令和７年度 事業計画 (実施目標)	〔権利擁護〕 ・認知症や障がいを抱えても、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう「福祉サービス利用援助事業」や「成年後見制度の利用支援事業」を推進し、広く市民に周知する。 ・権利擁護支援検討会議を開催し、専門職より権利擁護支援に関する適切な助言を受けるなどし、市民の安心安全な暮らしにつなげる。 ・高齢者あんしんサポート事業をより多くの高齢者に周知するため、事業説明会の開催回数を増やすほかに、高齢者を支援する関係機関に周知を図る。死後事務や家財整理など専門職と連携し、ひとり暮らしの高齢者の不安解消につなげていく。 〔センター係〕 ・同行援護（ガイドヘルプ）という福祉の仕事について当事者や活用者の声を広報やチラシで発信することで関心を持ってもらい、サービスの利用促進や従事者登録の増加につながるよう周知を行っていく。 ・意思疎通支援事業において、利用者からの依頼が多い医療や行政の会議等について、研修の際に当事者の方に協力をいただくことで内容を充実させ、活動者のスキルアップを図る。 〔総務担当〕 ・貸付相談を通じて利用者との信頼関係を築き、自立支援につながる貸付を行い償還完了までの支援が継続できるよう民生委員との連携体制を作る。特例貸付の償還では、免除、猶予、返還等それぞれフォローアップ支援を行い、しごと・くらしサポートステーションや民生委員等の関係機関と連携しながら、償還完了までの支援を行う。
取組結果	〔権利擁護〕 ・福祉サービス利用者支援事業については、新規契約件数 29 件であった。成年後見制度については、新規相談件数662 件、成年後見制度利用申立て延べ支援件数203 件の対応を行った。 ・10 月に権利擁護支援検討会議を新たに設置し、10 件のケースについて専門職から助言をいただき、ケースに適した支援方針を決めることができた。 ・高齢者あんしんサポート事業については、市民向け事業説明会 4 回参加者延べ 43 人、事業所・関係者向け説明会 1 回参加者 10 人を実施した。相談・問合せは 49 件、新規契約 4 件、解約 1 件（私事都合）であった。年度末契約者数 7 件となる。 〔センター係〕 ・同行援護事業について、従事者新規登録者は 4 人。従事者登録数はここ数年横ばい状態。利用件数については、ほぼ増減はないが活動時間は増加傾向にあり、通院など長時間の活動内容が増えてきているため、50 代、60 代の比較的体力のある従事者の増員を目指す必要がある。 ・意思疎通支援事業について、様々な活動場面を想定したより現状に則した研修を関係機関の協力を得て実施。来年度より新たに週 1 回定期活動として市役所窓口での通訳活動も始まるため、活動者のスキルアップにさらに努めていく。 〔総務担当〕 ・特例貸付事業では、任意事業として償還のフォローに取組み、架電や相談会を開催し償還相談へ繋がる支援を行った。生活困窮者、ひとり親家庭など相談の中で状況がわかり、その状況に応じた救済措置やなどの提案や複合する課題がある場合などでは自立支援機関など関係機関との連携を行った。

※本事業報告にある係名称表記は以下のとおり。

表記人	正式名称（課・係人）
（総務担当）	法人管理課　　総務担当
（権利擁護）	法人管理課　　権利擁護センター
（センター係）	法人管理課　　センター係
（まち担当）	地域福祉推進課　まちづくり推進担当
（ボラセン）	地域福祉推進課　ボランティア担当

令和７年度　事業報告書

附属明細書

1　組織運営

（1）三役会の開催

第１回　(R7.　4.　3)
第２回　(R7.　5.22)
第３回　(R7.　7.　3)
第４回　(R7.　8.21)
第５回　(R7.10.23)
第６回　(R7.12.　4)
第７回　(R7.12.18)
第８回　(R8.　2.26)

令和８年３月 31 日現在の役員・評議員の状況　　単位：人

	理　事	監　事	評議員
定　数	10～15	2	25～30
現員数	13	2	28

（2）理事会の開催

第１回（R7.6.5 ）　出席者 13 名

【審議事項】
第１号議案　第 25 期評議員選任候補者の推薦について
第２号議案　評議員選任・解任委員の外部委員の選任について
第３号議案　苦情解決規程の一部改正について
第４号議案　就業規則の一部改正について
第５号議案　育児休業等に関する規則の一部改正について
第６号議案　介護休業等に関する規則の一部改正について
第７号議案　給与規程の一部改正について
第８号議案　退職手当支給規程の一部改正について
第９号議案　嘱託職員雇用等に関する規程の一部改正について
第 10 号議案　臨時職員雇用等に関する規程の一部改正について
第 11 号議案　役員等賠償責任保険の契約について
第 12 号議案　令和６年度事業報告について
第 13 号議案　令和６年度決算について
第 14 号議案　令和７年度補正予算について
第 15 号議案　令和７年度第１回評議員会の招集について

第２回（R7.6.23）　出席者８ 名

第 16 号議案　社会福祉法人多摩市社会福祉協議会会長の選定について
第 17 号議案　社会福祉法人多摩市社会福祉協議会副会長の選定について
第 18 号議案　社会福祉法人多摩市社会福祉協議会常務理事の選定について

第３回（R7.9.11）　出席者 11 名

第 19 号議案　就業規則の一部改正について
第 20 号議案　嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について
第 21 号議案　臨時職員雇用等に関する規則の一部改正について
第 22 号議案　育児休業等に関する規則及び介護休業等に関する規則の一部改正について
第 23 号議案　権利擁護支援検討会議 設置要綱の制定について
第 24 号議案　たすけあい有償活動の不納欠損について
第 25 号議案　令和７年度補正予算について
第 26 号議案　令和７年度第２回評議員会の招集について

第４回（R8.1.15）　出席者 13 名

第 27 号議案　給料規程の一部改正について
第 28 号議案　嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について

第 29 号議案　ふれあい・いきいきサロン事業推進要綱の一部改正について 第 30 号議案　自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金交付要綱の全部改正について 第 31 号議案　令和 7 年度福祉大会における被表彰者の決定について 第 32 号議案　令和 7 年度補正予算について 第 33 号議案　令和 7 年度第 3 回評議員会の招集について
第 5 回（R8.3.12）　出席者 10 名
第 34 号議案　就業規則の一部改正について 第 35 号議案　常務理事の報酬等に関する規程の一部改正について 第 36 号議案　経理規程の一部改正について 第 37 号議案　同行援護従事者設置要綱の一部改正について 第 38 号議案　権利擁護センター運営委員会規程の一部改正について 第 39 号議案　生活支援員設置要綱の一部改正について 第 40 号議案　高齢者あんしんサポート事業実施要綱一部改正について 第 41 号議案　高齢者あんしんサポート事業預託金取扱要領一部改正について 第 42 号議案　地域福祉権利擁護事業利用料減免要綱の一部改正について 第 43 号議案　有料広告掲載等取扱要綱の一部改正について 第 44 号議案　令和 7 年度福祉サービス利用援助事業の利用料不納欠損処理について 第 45 号議案　第 5 次多摩市地域福祉活動計画後期計画について 第 46 号議案　令和 7 年度補正予算及び予備費の充当について 第 47 号議案　令和 8 年度事業計画について 第 48 号議案　令和 8 年度予算について 第 49 号議案　令和 7 年度第 4 回評議員会の招集について

（3）評議員会の開催

第 1 回（R7.6.23）　出席者 26 名
【審議事項】 第 1 号議案　定款の変更について 第 2 号議案　第 27 期役員（理事）の選任について 第 3 号議案　第 27 期役員（監事）の選任について 第 4 号議案　令和 6 年度事業報告について 第 5 号議案　令和 6 年度決算について 第 6 号議案　令和 7 度補正予算について
第 2 回（R7.9.29）　出席者 20 名
【審議事項】 第 7 号議案　令和 7 年度補正予算について
第 3 回（R8.1.26）　出席者 23 名
【審議事項】 第 8 号議案　令和 7 年度補正予算について
第 4 回（R8.3.23）　出席者 20 名
【審議事項】 第 9 号議案　常務理事の報酬等に関する規程の一部改正について 第 10 号議案　第 5 次多摩市地域福祉活動計画後期計画について 第 11 号議案　令和 7 年度補正予算について 第 12 号議案　令和 8 年度事業計画について 第 13 号議案　令和 8 年度予算について

（４）監査の概要

第１回（令和６年度決算監査）　(R7.5.22)　出席者　監事２名
　特別な改善事項の指摘はなし。
第２回（令和７年度中間決算監査）　(R7.11.13)　出席者　監事２名
　特別な改善事項の指摘はなし。

（５）各委員会の活動報告

第５次地域福祉活動計画推進委員会			
開催状況	第１回	(R7 .6.16)	出席者　10 名
	第２回	(R7. 9.19)	出席者　10 名
	第３回	(R7.11.26)	出席者　11 名
	第４回	(R8. 1.21)	出席者　12 名
	第５回	(R8 .2.18)	出席者　11 名

多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会			
開催状況	第１回	(R7.5.29)	出席者　10 名
	第２回	(R7.7.31)	出席者　 7 名
	第３回	(R7.11.21)	出席者　 9 名
	第４回	(R8.3.6)	出席者　10 名

権利擁護センター運営委員会			
開催状況	第１回	(R7.7.4)	出席者　 5 名
	第２回	(R8.2.4)	出席者　 6 名

役員選考委員会			
開催状況	第１回	(R7.5.30)	出席者　 4 名

苦情解決第三者委員会			
開催状況	第１回	(R7.11.7)	出席者　 3 名

評議員選任・解任委員会			
開催状況	第１回	(R7.6.18)	出席者　 4 名
	第２回	(R8.2.18)	出席者　 5 名

（６）各部会の活動報告

総務部会			
開催状況	第１回	(R7.8.25)	出席者　 8 名

広報広聴部会			
開催状況	第１回	(R7.4.11)	出席者　 7 名
	第２回	(R7.6.11)	出席者　 6 名
	第３回	(R7.8.14)	出席者　 8 名
	第４回	(R7.10.9)	出席者　 7 名
	第５回	(R7.12.10)	出席者　 6 名
	第６回	(R8.2.10)	出席者　 5 名

イベント推進部会			
開催状況	第１回	(R7.9.8)	出席者　 6 名
	第２回	(R8.2.3)	出席者　 3 名

地域福祉まちづくり部会			
開催状況	第１回　(R7.7.25) 第２回　(R7.12.7)	出席者 出席者	11 名 12 名

部会連絡会			
開催状況	第１回　(R7.12.16)	出席者	6 名

（７）後援名義の使用許可状況

年度	R3	R4	R5	R6	R7
後援名義使用許可件数	10 件	17 件	14 件	18 件	11 件

（８）多摩社協活動協力員登録状況

年度	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数	34 人	33 人	33 人	18 人	24 人

２　連絡調整

（１）実習生の受入れ状況

年度	人数	期間	学校名
R3	5	R3.5.24～6.15（14 日）1 人	大妻女子大学
		R3.10.11～11.12（24 日）1 人	大妻女子大学
		R3.10.11～11.12（24 日）1 人	明星大学
		R4.2.1～3.7（24 日）2 人	大妻女子大学
R4	8	R4.8.1～9.1（24 日）2 人	大妻女子大学
		R4.10.3～11.7（24 日）1 人	武蔵野大学
		R4.10.3～11.7（24 日）1 人	明星大学
		R5.2.6～3.9（24 日）2 人	大妻女子大学
		R5.2.25～3.23（8 日）2 人	東京都立大学
R5	6	R5.6.14～6.23（8 日）1 人	桜美林大学
		R5.10.5～11.13（24 日）1 人	明星大学
		R6.1.20～3.6（24 日）2 人	大妻女子大学
		R6.3.11～3.21（8 日）2 人	東京都立大学
R6	6	R6.10.7～11.12（24 日）1 人	明星大学
		R6.10.7～11.12（24 日）1 人	大妻女子大学
		R7.1.28～3.3（24 日）2 人	大妻女子大学
		R7.3.10～3.19（8 日）2 人	東京都立大学
R7	5	R7.8.4～9,5（24 日）1 人	日本総合研究所
		R7.10.6～11.12（24 日）1 人	大妻女子大学
		R7.10.6～11.12（24 日）1 人	桜美林大学
		R8. 3.9～3.18（8 日）2 人	東京都立大学

（２）講師の派遣

年度	日数	テーマ	学校名
29	1	ボランティア活動をはじめるにあたって	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
30	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
R1	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
R2		なし	
R3		なし	
R4	1	ボランティア入門	大妻多摩中学校
	2	災害ボランティア	国士舘大学
R5	1	多摩市社会福祉協議会とは	大妻女子大学
	1	多摩市の概要と地域福祉とは	中央大学
	1	総合的学習（地域防災）	大松台小学校

	1	東日本大震災の多摩市協議会の取り組み	多摩大付属高校
	2	災害ボランティア	国士舘大学
R6	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	災害ボランティア	国士舘大学
	1	総合的学習（福祉のしごと）	貝取小学校
	1	オンライン施設見学	大妻女子大学
	1	多摩市の概要と貝取・豊ヶ丘地域	大妻女子大学飛田ゼミ
R7	1	災害図上訓練 72 時間ゲーム	大妻多摩高等学校
	1	社会福祉協議会とは	大妻女子大学
	1	オンライン施設見学	大妻女子大学
	1	多摩市の概要と馬引沢・諏訪地区	大妻女子大学飛田ゼミ
	1	多摩市の概要と愛宕地区	多摩大学杵渕ゼミ
	1	総合的学習（福祉の仕事）	貝取小学校
	1	防災リーダー養成論実習内 「多摩市災害ボラセンについて」	国士舘大学

３　普及・啓発

（1）会報「ふくしだより」の発行　　単位：円

年度	発行数	配布方法	内　　容	広告収入	発行経費
R3	年６回発行（5･7･9･11・1・3月）	・ポスティングによる全戸配布（H25 年度から実施） ・公共施設、郵便局、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付（録音テープ、デイジー版（H29 年度より実施）を視覚障がい者に送付） ・会員賛助金郵便払込用紙を 5 月号に掲載（R5 年度～）	タブロイド版 70,000 部	104,000	4,845,500
R4				48,000	5,078,042
R5				45,000	6,897,840
R6				16,500	8,062,776
R7			タブロイド版 75,000 部	16,500	8,669,799

（2）福祉バザー　　単位：円

年度	日時	場所	バザー等収入	バザー経費	収益額	備考
R3	未開催	－	300 (0)	－	300	感染症拡大防止のため開催せず
R4	R4.10.16(日) 10:00～15:00 R5.3.1(水)～3(金) 11:00～15:00	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ	145,876	27,280	118,596	福祉フェスタ、春の発表会の開催日に合わせて実施
R5	R5.10.22(日) 10:00～15:00 R6.2.28(水)～3.1(金) 10:30～15:00		291,980	13,966	278,014	
R6	R6.10.20(日) 10:00～15:00 R7.3.5(水)～3.7(金) 10:30～15:00		306,830	－	306,830	
R7	R7.10.19(日) 10:00～15:00		128,750	－	128,750	福祉フェスタ開催日に合わせて実施

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄付品の販売等その他収入を含む。
（　　）内の数字はバザーのみの収入額

（3）福祉フェスタ

年度	日時	場所	来場者数	内容	備考
R3	未開催	－	－	－	感染症拡大防止のため開催せず
R4	R4.10.16（日） 10:00～15:00	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザおよびアクアブルー多摩	約 1,200 人	・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー	参加：27 団体 協力者（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ）25 人
R5	R5.10.22(日) 10:00～15:00		約 1,300 人	・福祉団体等による販売、体験、発表、展示、映画上映 ・福祉バザー ・ボランティアパーク	協力：3 団体 参加：47 団体 協力者：(ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ)　29 人
R6	R6.10.20(日) 10:00～15:00		約 1,300 人		協力：3 団体 参加：45 団体 協力者：(ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ)　27 人
R7	R7.10.19(日) 10:00～15:00		約 1,400 人		協力：3 団体 参加：45 団体 協力者：(ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ)　27 人

（4）福祉大会

年度	日時	場所	内容	当日参加者
R3	R4.2.26(土) (式典中止)		・福祉功労者の表彰(表彰状：個人20人、6団体、感謝状：個人9人、13団体)、郵送にて賞状と記念品を贈呈 ・ふくしだより紙面および多摩社協HP上にて表彰者を紹介。表彰者へのメッセージを撮影し、オンライン上で公開。	
R4	R5.2.25(土) 13:30～14:30	二幸産業・NSP健幸福祉プラザ3階多目的フロア	・福祉功労者の表彰(表彰状：個人11人、19団体、感謝状：個人16人、35団体)	・受賞者　41人 ・来賓者　2人
R5	R6.2.24(土) 13:00～16:15	パルテノン多摩小ホール	「法人化 50周年記念令和 5年度福祉大会」 ・福祉功労者の表彰（表彰者：個人20人、3団体、感謝状：個人18人、209団体） ・記念講演会「望まない孤独をなくす」 講師：NPO法人あなたのいばしょ理事長 大空 幸星 氏	・受賞者68人 ・来賓者20人 ・式典/講演会延べ来場者 195人 (講演会参加者143人)
R6	R7.2.22(土) 13:00～15:45	二幸産業・NSP健幸福祉プラザ3階多目的フロア	・福祉功労者の表彰(表彰者：個人15人、10団体、感謝状：個人9人、25団体) ・講演会「生きづらさを感じている方々の状況の理解と必要な支援」 講師：NPO青少年自立援助センター理事長 河野 久忠 氏	・受賞者45人 ・来賓者9人 ・式典/講演会延べ来場者 144人 (講演会参加者53人)
R7	R8.2.28(土) 13:00～15:30		・福祉功労者の表彰(表彰者：個人19人、11団体、感謝状：個人18人、29団体) ・講演会「音のない世界を走る」 講師：東京2025デフリンピックマラソン競技日本代表 山中 孝一郎 氏	・受賞者47人 ・来賓者12人 ・式典/講演会延べ来場者 122人 (講演会参加者99人)

（5）メールマガジン配信状況

年度	R3	R4	R5	R6	R7
年度末 登録者数	683	628	638	619	596
配信回数	13	12	13	13	13

※原則毎月15日に配信。そのほか不定期に配信
※平成29年10月より配信開始

（6）福祉協力店状況

年度		R3	R4	R5	R6	R7
店舗数		77	74	73	74	72
協力内容	募金箱	57	55	53	55	51
	広報紙	64	65	67	65	64
	自販機	5	5	5	5	5
	車椅子	6	7	9	7	8
	入れ歯回収	5	5	5	5	5
	フードドライブ	2	2	2	2	2

※平成29年度より「災害用自動販売機（自販機）の設置」及び「車椅子の設置」を新設
※平成30年度より「入れ歯回収ボックスの設置」を協力内容に新設
※令和2年度より「フードドライブ」を協力内容に新設
※協力内容（内訳）の件数は延べ数

4　組織強化活動

（1）　会員賛助金の状況

会費及び賛助金の単位：円

区分・単価（円）	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金
個人会員 @500以上	2,464	1,989,000	2,191	1,763,358	2,202	1,758,260	2,120	1,781,000	2,041	1,686,215
団体会員 3,000以上	141	529,500	137	518,000	149	510,500	136	450,500	111	383,500
特別会員 10,000以上	97	1,185,000	100	1,150,000	101	1,335,000	108	1,492,560	107	1,482,000
合　計	2,702	3,703,500	2,428	3,431,358	2,452	3,603,760	2,364	3,724,060	2,259	3,551,715

（2）　チャリティゴルフ大会

年度	日にち	場所	参加者	参加費収入	協賛収入	大会経費	収益額	備考
R3	03.10.4（月）	桜ヶ丘カントリークラブ	139 人	296,000	324,800	135,310	485,490	協賛：29 団体、個人 6 人（当初予定 7 月より延期）
	03.12.6（月）	府中カントリークラブ	128 人	384,000	279,100	146,182	516,918	協賛：9 団体、個人 6 人
R4	04.7.11（月）	桜ヶ丘カントリークラブ	170 人	342,000	385,000	125,724	601,276	協賛：26 団体、個人 2 人
	04.12.5（月）	府中カントリークラブ	117 人	360,000	240,400	99,757	500,643	協賛：14 団体、個人 2 人
R5	05.6.19（月）	桜ヶ丘カントリークラブ	161 人	342,000	376,200	131,944	586,256	協賛：31 団体、個人 7 人
	05.12.4（月）	府中カントリークラブ	120 人	360,000	244,000	119,044	484,956	協賛：9 団体、個人 3 人
R6	06.6.17（月）	桜ヶ丘カントリークラブ	158 人	480,000	369,600	124,147	725,453	協賛：30 団体
	06.12.9（月）	府中カントリークラブ	115 人	575,000	259,000	386,173	447,827	協賛：9 団体、個人 5 人
R7	07.6.30（月）	桜ヶ丘カントリークラブ	163 人	492,000	393,600	178,504	707,096	協賛：17 団体、個人 8 人
	07.12.8（月）	府中カントリークラブ	118 人	354,000	354,600	150,253	558,347	協賛：8 団体、個人 1 人

（３）　寄付金の状況

単位：円

区　　分		R3	R4	R5	R6	R7
一般寄付		1,762,858	2,567,351	2,404,026	3,019,595	2,720,868
指定寄付	ボランティア基金	1,108,567	266,989	302,418	705,343	303,832
	ボランティア・市民活動支援	2,436,642	178,669	144,550	93,622	56,200
	小地域福祉活動	17,057	68,121	60,000	147,185	93,227
	子ども・若者	－	2,045,767	1,121,465	5,692,354	1,789,037
	その他	30,000	10,000	289,579	20,000	0
合　計		5,355,124	5,136,897	4,322,038	9,678,099	4,906,964

※令和７年度指定寄付金のうち「ボランティア基金」「ボランティア・市民活動支援」「子ども・若者」については、令和８年度に基金積み立て手続きを行うものを含めて記載。

各種基金年度末残高　　単位：円

区　　分	R3	R4	R5	R6	R7
ボランティア基金	13,384,157	12,149,454	12,451,872	13,157,215	13,248,509
地域福祉特定基金	29,198,732	29,183,283	29,323,192	29,192,484	29,237,443
子ども・若者応援基金	1,500,000	1,804,864	2,888,580	8,231,134	8,664,621
福祉基金	58,281,000	58,281,000	58,331,421	58,281,000	58,281,000

５　助成事業

（１）収支の状況

①　収入の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	3,979,000	2,900,121	72.88	4,172,000	3,164,101	75.84

②　支出の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	3,979,000	2,855,307	71.75	4,172,000	3,079,320	73.81

（２）福祉団体補助

①令和７年度実績

目的	団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。
補助団体	11 団体 ① サンクラブ多摩　(精神障がい者の家族会) ② 多摩市視覚障害者福祉協会　(視覚障がい者当事者の会) ③ 多摩市手をつなぐ親の会　(知的障がい児者と保護者の会) ④ 多摩市遺族会　(遺族会) ⑤ 多摩市身体障害者福祉協会　(身体障がい者当事者の会) ⑥ 特定非営利活動法人くぬぎ　(知的障がい児者の会) ⑦ 多摩市聴覚障害者協会　(聴覚障がい者当事者の会) ⑧ 多摩草むらの会　(精神障がい者と家族の会) ⑨ プレイルームゆづり葉の家　(知的障がい児者の会) ⑩ 多摩市ひとり親家庭の会ほほえみ　(ひとり親家庭の会) ⑪ 特定非営利活動法人　暉望　(心身障がい者福祉団体)
補助金額	総額　1,980,000 円

②福祉団体補助金の状況　　単位：円

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
補助団体	11 団体	11 団体	12 団体	12 団体	11 団体
補助総額	1,482,093	1,836,295	1,982,839	2,243,467	1,980,000

（３）老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：150,000 円(年額)　※事業費（芸能大会、車椅子講習、体力測定会等）に充当

（4）自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動（生活支援、見守り活動、地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等）に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

① 令和7年度実績

区分	実　　績
1	◆住民主体の継続的な福祉活動　4団体　117,524円
	都営住宅聖ヶ丘1丁目アパート自治会 ・高齢者の見守りと親睦及び都クリーン隊 桜ヶ丘一丁目自治会 ・桜ヶ丘一丁目「助け合いと見守り隊」 多摩市百草団地自治会 ・多摩市百草団地自治会　みまもりの会 グリーンメゾン鶴牧3住宅管理組合 ・要配慮者対応活動とＳＮＳを使った見守り活動の拡充
2	◆福祉に関する取り組みや福祉の啓発活動　10団体　172,515円
	関戸自治会 連光寺向ノ岡自治会 多摩ニュータウン　エステート聖ヶ丘-3団地管理組合 大貝戸自治会 多摩ニュータウン　グリーンヒル貝取1-28団地管理組合 サバービア21多摩住宅管理組合 エスティメール21多摩団地管理組合 馬引沢団地自治会 貝取4-4団地管理組合 ハイライズタウン鶴牧-6団地管理組合
3	◆地域交流事業　24団体　238,825円
	みどり会自治会 エステート聖ヶ丘-2-東団地管理組合 聖ヶ丘四丁目町会 桜ヶ丘二丁目の会 桜ヶ丘三丁目自治会みどり会 桜ヶ丘四丁目自治会 和田さくら自治会 Brillia多摩ニュータウン団地管理組合 永山五丁目自治会 永山6丁目自治会 タウンハウス貝取-2住宅管理組合 グリーンテラス豊ヶ丘団地管理組合 豊ヶ丘4-1住宅管理組合 豊ヶ丘自治防災連絡協議会 東京都多摩市豊ヶ丘5丁目1番住宅団地管理組合 多摩ニュータウン落合3-1団地(Dブロック)管理組合 プロムナード多摩中央団地管理組合 エステート落合5-8団地管理組合 タウンハウス鶴牧3住宅管理組合 多摩市小野路自治会 ブルーミングヒルズ多摩センター・ファーストレジデンス ヒルサイドタウン鶴牧-6団地管理組合 ホームタウン鶴牧6団地管理組合 唐木田自治会

（申請辞退、全額返還については、上記の団体数及び助成総額からは除外）

※申請受付期間：4月11日～10月31日（6月30日までに申請した団体の交付決定は9月、

7月1日～10月31までに申請した団体の交付決定は12月）

② 自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金の状況

		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
対象団体	自治会	95 団体	97 団体	93 団体	96 団体	95 団体
	管理組合	109 団体	109 団体	112 団体	114 団体	114 団体
	計	204 団体	206 団体	205 団体	210 団体	209 団体
助成団体	自治会	6 団体	13 団体	15 団体	18 団体	17 団体
	管理組合	7 団体	7 団体	19 団体	22 団体	21 団体
	計	13 団体	20 団体	34 団体	40 団体	38 団体
：@助成総額		330,017	390,000	540,000	598,400	528,864

単位：円

※上限額：設立助成金：1 団体 5 万円（区分 1 のみ対象）
活動助成金：区分 1…1 団体 5 万円（4 回目からは上限 3 万円）
区分 2…1 団体 2 万円（4 回目からは上限 1 万 5 千円）
区分 3…1 団体 1 万円

※R7 年度は 1 団体が事業都合により全額返金（上記の団体数及び助成総額からは除外）、
1 団体が事業都合により一部返還（上記の助成総額からは減額済）。

６　地域福祉活動の推進事業

（１）収支の状況

①　収入の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	6,223,000	4,953,401	79.59	5,586,000	4,391,766	78.62

②　支出の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	6,223,000	4,766,942	76.60	5,586,000	4,052,847	72.55

（２）相談事業「福祉なんでも相談」

①令和７年度実績

開催会場 開催日時	①　愛宕かえで館　第2木曜日（午後2時～3時30分・10回実施） ②　連光寺コミュニティ会館　第3木曜日（午前11時30分～12時30分・7回実施） ③　ひじり館　第3金曜日（午前11時～12時・11回実施） ④　桜ヶ丘（サロン内）　第1木曜日（午後2時～3時30分・10回実施） ⑤　大栗川かるがも館　第4火曜日（午前10時30分～12時・10回実施） ⑥　三方の森コミュニティ会館　第4水曜日（午後1時～2時30分・10回実施） ⑦　諏訪福祉館　奇数月第3火曜日（午前9時30分～11時・6回実施） ※7月、9月は第4火曜日に変更 ⑧　貝取こぶし館　第1月曜日（午後1時30分～2時30分・9回実施） ⑨　豊ヶ丘福祉館　奇数月第3火曜日（午後1時～2時30分・6回実施） ⑩　トムハウス　第2火曜日（午後12時30分～午後1時30分・11回実施） ⑪　からきだ菖蒲館　第3火曜日（午後2時～3時30分・10回実施）
内　　容	地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びＰＲを図る。 地域活動支援センターあんどや権利擁護センターと連携し、専門相談への対応を図る。ボランティア出張相談も同時開催する。 地域包括支援センターと共催で実施しているエリアもある。
対 象 者	市民全般
相談件数	相談件数　　136件（高齢128件、その他8件） （障がいに関する相談9件　生きづらさ相談3件） 事業参加者　84人(脳トレ、ミニ講座等)
連 携 者 （団体）	コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 権利擁護センター、自治会

②福祉なんでも相談の実施状況

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
相談件数	59	62	90	108	136

（3）ふれあい・いきいきサロン推進事業

①令和7年度実績

内　容	小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。 登録団体への支援内容 ＜活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担＞ ＜活動費の補助・・設立助成金　20,000円、活動助成金　月1回実施　5,000円、月2回または3回実施 10,000円、月4回以上または週１回以上実施 15,000円＞ ・保険加入団体104団体　※団体数も同数
対象団体	市内の任意の市民団体
連携者 （団体）	サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員 司法書士等専門職、企業等

②ふれあい・いきいきサロンの実施状況

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
登録団体数	104	106	110	100	104
助成団体数	80	76	85	85	89
助成総額 （単位：円）	955,000	915,000	1,030,000	1,005,000	1,067,999

③サロン交流会

開催日時	令和7年12月12日（金）14時～16時
会　場	パルテノン多摩4階　会議室1･3･4
内　容	1）グループでの情報交換･共有 　サロンの現状の共有（活動内容、悩みなど） 2）体験型ブース 　①青竹踏みを使った転倒しないための足づくり（タカ治療院） 　②サロン向け健康講習会の案内（大塚製薬） 　③サロン体験（トランプ市民ホール） 　④サロン体験（ラダー三方の森） 　⑤なんでも相談ブース 　⑥フリースペース 3）事務連絡
対象者	社協登録サロン、連携サロン、市内地域包括支援センター
参加者	サロン28団体41人、地域包括支援センター10人

④サロン説明会

サロン要綱・様式のR8年度からの改正内容、および手続きの変更点について、サロン団体に向けて説明する機会を設けるために実施した。

開催日時	①R8年2月10日（火）14時～15時30分 ②R8年2月20日（金）14時～15時30分 ③R8年2月25日（水）14時～15時30分
会　場	①多摩ボランティア・市民活動支援センター　活動室1・2（関戸4-72　ヴィータ7階） ②永山公民館　視聴覚室　（永山1-5　ベルブ永山4階） ③二幸産業・NSP健幸福祉プラザ　701・702（南野3-15-1　7階）
内　容	・R8 年度ふれあい・いきいきサロン要綱及び様式の改正について ・登録や助成金の手続きについて ・ご近所ふくし応援助成金の対象拡大について ・次年度サロン登録、助成金申請受付 ※全て同じ内容で実施
対象者	社協登録サロン
参加者	①25人　②32人　③18人

令和７年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

ア）本協議会登録サロン

NO	エリア	サロン名	場　　所	日　　時	開始年度	助成金交付
1	①	サロン河原倶楽部	関戸河原クラブ（関戸２丁目）	毎月第２土曜日	H21	無
2		サロン　この指とまれ	ポロン(関戸４丁目)	内容により異なる	H21	無
3		一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所（一ノ宮１丁目）	毎月第３水曜日	H27	有
4		関戸さくら会	関戸河原クラブ（関戸２丁目）	毎月第１月曜日	H24	有
5		たまりばらんど	個人宅（一ノ宮４丁目）	毎月第３火曜日	H28	有
6		３丁目かわせみ会	関戸３丁目クラブ	毎週月曜日	H30	有
7		みんなの食堂　スプーン	一ノ宮児童館（一ノ宮１丁目）	毎月第３水曜日	H29	無
8		サロン・フランヴィーヴル	フランヴィーヴル聖蹟桜ヶ丘２階カフェラウンジ（関戸４丁目）	毎月第２・４木曜日	H29	有
9		サロンまちの縁側	関戸河原クラブ（関戸２丁目）	毎週木曜日	H30	有
10		地域交流スペース　やどり木	共同住宅内（関戸２丁目）	毎週水曜日	R1	有
11		マドカ・ストレッチ体操サロン	多摩中学校クラブハウス（関戸３丁目）他	毎週木曜日	R1	有
12		1・2・3・4いきいき体操	桜ヶ丘一ノ宮集会所（一ノ宮４丁目）	毎週木曜日	R1	有
13		健康を考える会	ザ・スクエア集会室（関戸１丁目）	毎週金曜日	R5	有
14		多摩華の会	一ノ宮公園（一ノ宮1049）	雨の日以外毎日	R7	有
15	②	京王一の宮サロン	京王一の宮自治会集会所(連光寺４丁目)	①毎月第４木曜日 ②毎週木曜日	H21	有
16		にじの会	向ノ岡集会所(連光寺１丁目)	毎月 10 日	H21	有
17		聖ヶ丘２丁目東サロン“気まま会”	エステート聖ヶ丘２丁目東団地集会所　他	内容により異なる	H22	無
18		聖ヶ丘熟年会灯火サロン	聖ヶ丘４丁目集会所	①毎週月曜日 ②毎月第４土曜日	H23	有
19		木の実サロン	木の実公園集会所(連光寺３丁目)	毎月第２火曜日	H27	有
20		聖ヶ丘ふれあいサロン	多摩ニュータウン聖ヶ丘団地集会所（聖ヶ丘１丁目）	毎週火曜日	H28	有
21		連光寺東部　健幸サロンわわわ（我和輪）	連光寺東部集会所（連光寺６丁目）	毎週木曜日	H29	有
22		サロンひなの会	連光寺志学サロン（連光寺２丁目）	毎月第１・３水曜日	H30	有

NO	エリア	サロン名	場　　所	日　　時	開始年度	助成金交付
23	②	金聖会	聖ヶ丘２丁目集会所	毎週金曜日	H30	有
24		聖ヶ丘２丁目-西　ニコニコ・サロン	エステート聖ヶ丘-2 西団地集会所（聖ヶ丘２丁目） 放課後デイサービスメロディ（聖ヶ丘２丁目）	①第１・３日曜日 ②第２・４火曜日	R1	無
25		近トレ丘の上	関戸自治会南田倶楽部（聖ヶ丘１丁目）	毎週火曜日	R2	有
26	③	桜ヶ丘まちネット にこにこサロン	桜ヶ丘集会所 （桜ヶ丘１丁目）	毎週木曜日	H24	有
27		サロン　かなかな	桜ヶ丘集会所 （桜ヶ丘１丁目）	毎月第１月曜日	R3	有
28		まちカフェ　ロータリー	桜ヶ丘集会所 （桜ヶ丘１丁目）	毎週木・日曜日	R5	有
29	④	もぐさ井戸端サロン	三方の森コミュニティ会館（和田）	毎月第２水曜日	H15	有
30		三方の森　ふれんど広場	三方の森コミュニティ会館（和田）	毎月第２土曜日	H28	有
31		ラダー三方の森	三方の森コミュニティ会館（和田）	毎月１・３火曜日	H30	有
32		ふらっと東寺方	東寺方住宅コミュニティサロン	毎週水曜日	H30	有
33		東寺方健やかサロン	東寺方自治会会館	毎月第１月曜日	R1	有
34		いなりづかサロン	和田稲荷塚集会所（百草）	毎週木曜日 ※第５週は除く	R4	有
35	⑤	はなもものつどい	グリーンヒル貝取 1-28 団地集会所	①毎月第１月曜日 ②毎月第３火曜日	R1	有
36		健康麻雀友の会	多摩市立市民活動・交流センター（貝取１丁目）	毎週土曜日　他	H17	無
37		いきいきサロン夢の会	多摩市立市民活動・交流センター（貝取１丁目）	毎週水曜日	H30	有
38		俳研サロン	コンセボール 21 多摩集会所（愛宕４丁目）	毎月第３・４水曜日	R4	有
39		いきいき・ボッチャサロン	多摩市立市民活動・交流センター（貝取１丁目）	①毎月第１・３水曜日 ②毎月第２土曜日	R5	有
40		ヒルサイド近トレ会	豊ヶ丘 1-53 ヒルサイドテラス豊ヶ丘集会所	毎週金曜日	R6	有
41	⑥	ひまわりの会	個人宅（諏訪２丁目）	①毎月第２火曜日 ②毎月第３木曜日	H26	有
42		F 棟みまもりサポート	ブリリア多摩ニュータウンF 棟（諏訪２丁目）	毎月第３木曜日	H28	無
43		なごやか健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集会所（諏訪３丁目）	毎週火・木曜日	H30	有
44		はなみずき近トレクラブ	諏訪地区市民ホール（諏訪５丁目）	①毎月第１・２・４月曜日 ②毎月第３火曜日	H30	有
45		のんびり馬引沢	馬引沢自治会館 （馬引沢２丁目）	毎月第４土曜日	R1	有

NO	エリア	サロン名	場　　所	日　　時	開始年度	助成金交付
46	⑥	ブリリアカフェ	ブリリア多摩ニュータウンＣ棟パーティールーム（諏訪２丁目）	毎月第１日曜日 毎月第３土曜日	R4	有
47		みんなで楽しく「和（なごみ）の会」	諏訪５丁目第２集会所	毎月第４水曜日	R5	有
48		アイ♪ビ	諏訪地区市民ホール（諏訪５丁目）　他	毎週木・日曜日	R1	有
49	⑦	瓜生サロン	瓜生集会所(永山６丁目)	①毎月第３火曜日 ②毎月５日	H21	有
50		サロン 5-21	タウンハウス永山５住宅管理組合集会所	①毎月第１・２・４木曜日 ②毎週月曜日 ③毎月第３土曜日	H27	無
51		ネットワーク永山「体操サロン」	諏訪老人福祉館　他（諏訪５丁目）	毎月第２水曜日	H28	無
52		すいすいサロン	永山東集会所（永山４丁目）	毎週水曜日 ※第５週は除く	H30	有
53		瓜生元気アップトレーニング	瓜生集会所（永山６丁目）	毎週月曜日	H30	有
54		エステート永山－3 近トレ教室	エステート永山３団地集会所	毎週月曜日	R1	有
55		3 の 2 近トレサロン	永山 3-2 集会所	毎週水曜日	R1	有
56		永山３丁目近トレクラブ	西永山福祉施設多目的室（永山３丁目）	毎週火曜日	R3	有
57		永山 5-34 元気アップトレーニング	タウンハウス永山 5-34 集会所	毎週木曜日	R6	無
58		ふれあい近トレ	永山 3-1 集会所	毎週水曜日	R7	有
59	⑧	月曜会	グリーンメゾン貝取－2 集会所	毎月第 1･3 月曜日	H1	有
60		豊ヶ丘 4-1 ふれあいおしゃべりサロン	豊ヶ丘 4-1 集会所	毎月第２水曜日	H16	有
61		ふれあいサロン『木の葉』	豊ヶ丘 5-1 管理組合集会所	毎月第３月曜日	H18	有
62		サロン・コスモ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内（豊ヶ丘３丁目）	毎月第３金曜日	H24	無
63		茶ロン　つむぎ	エステート貝取-2 集会所 貝取こぶし館（貝取４丁目）	①毎週月曜日 ②毎月第２・４水曜日 ③毎月第１・３木曜日 ④毎月第１・３金曜日	H25	有
64		南野カフェ	パルシステム東京 多摩センター交流ルーム（南野１丁目）	毎週月曜日	H28	有
65		ボッチャ DE げんき会	貝取こぶし館　他	毎月第３木曜日	H28	有
66		コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内（豊ヶ丘３丁目）	毎週水曜日	H30	有

NO	エリア	サロン名	場　　所	日　　時	開始年度	助成金交付
67	⑧	元気アップサロン	貝取こぶし館（貝取４丁目）	毎週水曜日	R1	有
68		碁楽会	豊ヶ丘地区市民ホール第２会議室（豊ヶ丘５丁目）	毎週月・火・木・金曜日	H15	無
69		楺（くぬぎ）の会	メゾン豊ヶ丘２－15 メゾン豊ヶ丘－2 団地集会所	毎週木曜日	R4	有
70		トランプ市民ホール	豊ヶ丘地区市民ホール第一会議室（豊ヶ丘５丁目）	毎週月曜日（第３週除く）	R6	有
71		貝取３丁目健幸サロン	都営貝取３丁目集会所	毎月第１土曜日	R6	有
72		豊四「積木の会」（麻雀交流サロン）	豊ヶ丘 4-1 集会所	毎週木曜日	R7	有
73		うきうき近所 de 元気アップトレーニング	貝取 2-10 集会所	毎週火曜日	R7	有
74		グリーンテラス豊ヶ丘近トレの会	グリーンテラス豊ヶ丘集会所（豊ヶ丘３丁目）	毎週水曜日	R7	無
75		豊ボッチャ	豊ヶ丘老人福祉館（豊ヶ丘５丁目）	毎週火曜日	R7	無
76	⑨	環の会	グリーンメゾン鶴牧３集会所	①毎週木曜日 ②第１・３土曜日 ③毎月第３日曜日	H16	有
77		ブリリアシニアの会	ブリリア多摩センターパーティールーム（鶴牧３丁目）	毎月第３水曜日	H20	有
78		落合４の３園芸有志会	落合 4-3 集会所	毎週土曜日 ※第５週は除く	H22	有
79		鶴三会	タウンハウス鶴牧３丁目団地集会所	毎月第３木曜日	H24	有
80		木曜サロン折り紙教室	落合３－4 集会所	毎月第３木曜日	H25	有
81		鶴５東町会親睦会	鶴牧５丁目集会所　他	①毎週月曜日 ②毎月第１・３金曜日	H26	有
82		落合４の３おはなし会	落合４－3 集会所	毎月第２・４火曜日	H27	有
83		ふれあい　サロン　結	落合４－4 集会所	毎週水・金曜日	H27	有
84		おしゃべり広場	グリーンコープ落合団地集会所（落合６丁目）	①毎月第１・３火曜日 ②毎月第２・４月曜日	H28	有
85		たまデフサロン	総合福祉センター5 階障害者団体共同室（南野３丁目）	毎月第２水曜日	H28	有
86		コミュニティサロン　あいあい	落合３丁目住宅集会所	毎週木曜日	H30	有
87		みんなで元気はつらつ会	タウンハウス落合５集会所	毎週金曜日	H30	有
88		オーベル近トレクラブ	オーベルグランデュオ多摩中央公園コミュニティスクエア（落合２丁目）	毎週火曜日	R1	有

NO	エリア	サロン名	場　　所	日　　時	開始年度	助成金交付
89	⑨	鶴５ふれあいサロン	鶴牧５丁目集会所	①毎週水曜日 ②毎月第３木曜日 ③毎月第３・４金曜日	R1	有
90		OGB 会（落合活き生きさろん）	落合Ｄブロック集会所（落合３丁目）	毎週月曜日	R1	有
91		ブリリア　健康体操クラブ	ブリリア多摩センターエクササイズルーム（鶴牧３丁目）	毎週木曜日	R3	有
92		ながら運動の会	東落合小学校多目的ホール（落合３丁目）、落合 3-4 集会所	毎週土曜日	R3	有
93		エステートサロン	エステート落合 5-8 集会所	毎月第２火曜日	R4	有
94		おちよん	落合 4-4 集会所	毎週月曜日	R5	有
95		落合 5-3 カフェ　ひだまり	タウンハウス落合５集会所	①毎月第２月曜日 ②毎月第４木曜日	R5	有
96		メゾン落合なかよし会	メゾン落合６集合所	毎週金曜日	R5	有
97	⑩	ハイライズタウン親睦の会	ハイライズタウン鶴牧６集会所	毎月第２日曜日	H19	有
98		アルテ体操の会	アルテヴィータマンション内コミュニティリビング（鶴牧１丁目）	毎週木曜日	H30	有
99		中沢近トレの会	エステート中沢集会所（中沢２丁目）	①毎週火曜日 ②毎週水曜日	R1	有
100		中沢一丁目団地スマートエクササイズクラブ	中沢一丁目団地集会所（中沢１丁目）	毎週月曜日	R4	有
101		近トレゆいま～る	たまの道（中沢２丁目）	毎週木曜日	R4	無
102		結　からきだの会	唐木田自治会館　他（唐木田１丁目）	①毎週水曜日 ②毎月第１木曜日	R5	有
103		TPH 近トレ会	ザ・パークハウス多摩センター集会室（落合１丁目）	毎月第１・2・3・4 火曜日	R5	有
104		ストレッチクラブサロン	ヒルサイド鶴牧-6 団地管理組合	毎週金曜日	R5	有

（4）小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営協議会や社協役員とともに「地域福祉推進委員会」を設置し、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

① 令和７年度実績（小地域福祉活動状況）

エリア名	小地域福祉活動の進捗状況
第１エリア （関戸・一ノ宮）	＜関戸・一ノ宮エリア＞ **■まち育てネットワーク・関一** **＊委員会：**6回開催 ：延べ103団体117人参加 **＊世話人会：**6回開催 **〔定例の委員会内での取り組み〕** ※定例の委員会では、地域活動状況と情報交換、グループワークを実施。 ・グループワークのテーマ 第1回　「エリア別小地域福祉活動計画』の策定に向けて」 第2回　「関戸・一ノ宮の３年後を描こう」 第3回　「関戸・一ノ宮の３年後を描こう」「おとなりｻﾀﾃﾞｰﾅｲﾄ」 第4回　「移動縁側について、新たなつながりの視点から」 第5回　「関戸・一ノ宮のこれからを考える」中期計画 第6回　東京消防庁多摩消防署　警防課防災安全課地域防災担当より ①　火災予防の講話 ②　応急救護の実践（三角巾使用） **〔委員会企画事業〕** ＜交流事業＞ ・移動縁側**「おとなりサンデー編」一ノ宮4丁目三角公園**〔6月〕250人参加 ・　〃　「おとなりサタデーナイト編」関戸大栗橋公園〔9月〕1,019人参加 ・つむぎ館まつり　参加［10月］まちの縁側 ＜まち歩き＞ ・第21弾　桜満開の多摩ニュータウン公園巡り　15人参加 ・第24弾　世代間交流「関戸の歴史を楽しむまち歩き」27人参加 **＊広報紙：**「まちネット・関一だより」 ・発行なし **＊多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力** ・5月～2月（全10回）：竹とんぼ **＊地域事業（関戸楽縁祭）への参加及び協力** ・11月　会場：関戸河原クラブ **＊新規サロン登録**：1団体　サロン華の会 **＊普及啓発講座** ・しゃべり Ba〔10月〕小川太一さんに聞く「多摩の歴史を語る」会　21人参加 ・火災事故を防ぐには〔2月〕第6回委員会内容参照　18人参加 ＜一ノ宮エリア＞ **＊地域事業（おとなりサンデー）への参加及び協力** ・6月1日実施　上記再掲 **＊一ノ宮自治会への協力** ・今年度なし（過去に地域交流事業・防災関係の講座開催等）

第２エリア （連光寺・聖ヶ丘）	**■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会** **＊委員会**：6回開催 ：延べ130団体187人参加 ※会場はひじり館、Zoom参加とハイブリットで開催 **＊世話人会**：11回開催 **＊オリエンテーション**：2回開催　12団体12人参加 ※ひじり館、Zoom参加とハイブリットで開催 **〔定例の委員会内での取り組み〕** ・各団体からの報告・情報交換 年間テーマ「6年後を見つめて～私たちの地域をどうしたいか」 ・地域情報、令和6年度のまとめ　令和6年度グループ検討から実施内容の検討[5月] ・地域の課題から、3年後の地域を考える[7月] ・「コミュニティ活動の継続」[9月] ・「自治会・町会・管理組合・サロンの担い手」[11月] ・「高齢者の見守り」[1月] ・令和7年度の振り返りと次年度にむけた取組の検討[3月] ＜グループ活動＞ ・連光寺コミュニティ会館「初めての料理教室」開始 ・連光寺コミュニティ会館　秋まつり　工作ワークショップ出店[10月] ・連光寺小学校　昔遊び授業協力[12月、1月] ＜学校連携＞ ・さくら運送　～多摩桜の丘学園・ビッグエー連携買い物支援ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ～ 水曜日実施(回数は月により異なる)令和7年度は5月～2月(4、7、8、9、11、3月除く)開催。 10回実施、年間45件対応 **＊各部会の活動** **〇広報部会** ・広報紙「ふくしポスト」 第40号［5月］　3,500部発行 第41号［9月］　3,500部発行 第42号［1月］　3,500部発行 **〇事業部会　講演会** **「おひとり様の老後どう備える？～安心して暮らせる住まいの選び方～」** ・ロイヤル介護入居相談室　・ボンセジュール永山　・まどか永山 ・あい小規模多機能施設かりん　・東部地域包括支援センター　講演 ひじり館68人、Zoom 8人　合計 78人参加 **＊聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携** ・福祉なんでも相談の実施（ひじり館）11回実施（東部地域包括支援センターと連携） **＊連光寺コミュニティ会館との連携** ・福祉なんでも相談の実施　7回実施（東部地域包括支援センターと連携） ミニ講座3回実施 「ここが知りたい薬局との付き合い方」龍生堂薬局協力　［5月］5人参加 「知って防ごう熱中症の基礎知識」大塚製薬協力　［7月］8人参加 「腸元気生活のすすめ」ヤクルト協力　［11月］6人参加 **＊新規サロン登録**：なし

第３エリア (桜ヶ丘)	**■桜ヶ丘まちネット** **＊委員会**：4回開催 ：延べ76団体102人参加 **＊世話人会**：12回開催 **〔定例の委員会内での取り組み〕** ・各団体からの報告・情報交換［6、9、12、3月］ ・グループワークのテーマ 第1回「まちネットでできることはなにか？今年度やれることはなにか」 ・全体討議のテーマ 第2回・第3回「今年度から来年度にかけてのテーマ決め」 ①ハロウィンイベントの継続・発展 ②地域資源を活かした活動 ③季節ごとの交流イベント ④地域拠点の活用・周知 第4回「エリア別小地域福祉活動計画を踏まえ来年度以降の取り組みについて」 **〔委員会企画事業〕** **＊普及啓発講座：** 「不動産を負動産にしないために今知っておきたいこと！」［2月］ 参加者：29人 講師：NPO 法人空家・空地管理センター、京王不動産㈱桜ヶ丘営業所 共催：桜ゆうゆう会 協力：桜ヶ丘地区自治会・町会 **＊住民交流事業：** 「ハロウィンイベント」［10月］ 参加者：78人 主催：桜ヶ丘児童館、桜ヶ丘元気塾、ロータリー商店会、桜ゆうゆう会 協力：桜ヶ丘自治会・町会、東桜寿会、桜ヶ丘地域猫対策基金世話人会、防犯パトロール **＊広報紙**：「さくらの丘だより」 第28号［5月］2,900部発行 第29号［12月］3,500部発行 **＊サロン活動にこにこサロン**（毎週木曜） 48回開催　延べ1,337人参加（うち新規40人） ・福祉なんでも相談の実施（にこにこサロン内）：10回実施 （連携：西部地域包括支援センター） **＊新規サロン登録**：なし
第４エリア (東寺方、和田、百草、落川)	＜百草団地周辺エリア＞ **■三方の森ふれんど** **＊委員会**：4回開催 ：延べ49団体71人参加 **＊世話人会**：5回開催 **＊臨時世話人会**：3回開催 **〔委員会企画事業〕** **＊定例食事会:** 参加者：平均 33 人（令和 7 年度新規 2 人） 講座：3 回 1 回目「愛生苑ってどんなところ」【10 月】 2 回目「愛生苑の食事」【11 月】 3 回目「愛生苑での生活」【12 月】 連携：愛生苑

	＊ふれんどまつり：世代間交流　1回　9月実施。 参加者142名（大人117名、児童25名） 連携：多摩市百草団地自治会、百草団地自治会、和田百草園住宅自治会、百草ことぶき会、西部地域包括支援センター、東寺方児童館、特別養護老人ホーム愛性苑、おもちゃ病院KEBO、芸術工芸高等専修学校、URコミュニティ百草団地管理サービス事務所、帝京大学ボランティアサークル「あめんぼ～ず」、個人ボランティア **＊ふれんど交流会：**世代間交流　1回　2月実施。 参加者：42人 連携：ボランティアサークル「あめんぼ～ず」 **＊広報紙**：「三方の森ふれんどだより」 第16号［3月］1,100部発行 **＊サロン活動　三方の森ふれんど広場**（第2土曜日）9回実施 **＊その他** ・福祉なんでも相談の実施（三方の森コミュニティ会館）：10回実施。 （連携：西部地域包括支援センター、帝京大学ボランティアサークル「あめんぼ～ず」） ※高齢者を対象の脳トレと、大学生によるスマホ相談会実施 ＜東寺方・和田エリア＞ **＊大栗川・かるがも館との連携** ・かるがもっこ広場ミニ講座 「社協と包括について」（4月）協力:西部地域包括支援センター 「妊婦や乳幼児がいる家庭の防災対策について」(10月) ・福祉なんでも相談（和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会共催・連携：西部地域包括支援センター） 10回実施。　脳トレ実施 **＊その他** ・エリア別小地域福祉活動計画策定におけるアンケート調査の実施 協力：東寺方自治会・中和田自治会・和田さくら自治会 ・東寺方地区要配慮者個別計画伴走支援（6月、3月） ・東寺方福祉館秋祭り参加（11月） **＊新規サロン登録**：なし
第５エリア （愛宕・乞田）	＜愛宕エリア＞ **<u>■ほほえみネットワーク・愛宕</u>** **＊委員会**：新しい協働・連携のプラットホームの場として、「ほほえみサミット」を3回開催。延べ47団体69人 ・第1回（6月）14団体23人 ・第2回（11月）9団体15人 ※キラキラ☆あたごフェスタ実行委員兼ね ・第3回（3月）24団体31人 ※主な参加団体…自治会、住宅管理組合、地域団体、コミュニティセンター、児童館、学童クラブ、地域包括支援センター、見守り相談窓口・司法書士・大学、企業 **＊世話人会**：12回開催

	［定例の委員会内での取り組み］ ・まち歩き「まち歩き＆りんご狩り」日野市日向園〔11月〕22人参加 **〔委員会企画事業〕** ・アーケードカフェ　実施（会場：愛宕第一住宅商店街内「コミュニティサロン悠々」）　12回開催、述べ649人参加 第1回（4月）25人　第 7回（10月）19人 第2回（5月）15人　第 8回（11月）20人 第3回（6月）24人　第 9回（12月）28人 第4回（7月）22人　第10回（ 1月）22人 第5回（8月）250人※　第11回（ 2月）17人 ※アーケードまつり　第12回（ 3月）186人※ 第6回（9月）19人　※おむすび交流会 ※8月、3月は障がい者団体商店街の店舗や児童館児童館、学童クラブと協働し、多様性交流会開催 **＊広報紙**：「ほほえみ通信」 特別号50部（第１回ほほえみサミットにて配布） ※活動案内等は愛宕かえで館だより掲載することで、情報を発信した。 **＊愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携** ・福祉なんでも相談の実施：10回実施 ・運協広報部と連携し、かえで館だよりに、地域情報を掲載継続 **＊ほほえみサミットを基軸にした新たな連携、試み** （地域と企業・大学の協働） **・キラキラ☆あたごフェスタ実施【11月】320人参加** ・第7回アーケードカフェ（多摩大学が企画・運営） ・あたご第２ブロック自治会（司法書士会と連携して講座実施） ・かえで館子どもまつり（企業がコミセンに機材貸与協力） **＊新規サロン登録**：なし
第６エリア （馬引沢・諏訪）	**<u>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会</u>** **＊委員会**：6回開催 ：延べ102団体166人参加 **＊世話人会**：12回開催 **〔定例の委員会内での取り組み〕** ＊本年度のテーマ **興味関心のあることを深め地域での取り組みを考える** ・令和6年度振り返り、地域の課題、興味、関心のあるテーマ[4月] ・地域状況、大妻女子大学飛田ゼミ生フィールドワーク発表、地域の現状から今後の地域を考える[6月] ・馬引沢・諏訪ヒストリー　馬引沢・諏訪の歴史、地域の移り変わり（教育委員会連携）[8月] ・子どもたちの現状から地域とのかかわりを考える　むすび芽石本氏講演[10月] ・多世代交流イベント「わくわくフェスタ」企画検討（大妻女子大学飛田ゼミ生参加）[12月] ・諏訪名店街のあたらしい地域の居場所「modoki」影近氏、「風とキャラバン」神永氏講演　[2月]

	〔委員会企画事業〕 ・3.14　第2回まひきー&すわにー わくわくフェスタ 協力者約90名　参加者約300人 ・見守りウォーキング［毎月第3木曜日］12回実施 **＊広報紙**：「ささえ愛」 　発行なし **＊その他** ・諏訪名店街ハロウィンイベント協力　［10月］ 　当日協力者 2名　諏訪名店街「modoki」のワークショップと共催でバルーンアート実施 **＊諏訪福祉館との連携：** 　福祉なんでも相談の実施　6回 **＊新規サロン登録：**なし
第７エリア （永山）	**<u>■福祉のネットワーク永山</u>** **＊委員会**：6回開催 　　：延べ135団体156人参加 **＊世話人会**：12回開催 **〔定例の委員会内での取り組み〕** ・地域を知る［5月］ ・永山のこれからを考える［7月］ ・永山『気づき』の輪を 広げよう：孤立させない地域を目指して［9月］ ・多世代交流の活動、子どもや保護者と連携できる活動［11月］ ・防犯意識・要配慮者 の把握と見守り［1月］ ・地域の情報共有や発信方法を考える。今年度の振り返り、次年度に向けて［3月］ **〔委員会企画事業〕** **＊交流** ・「まち歩き」開催（毎月第2・最終火曜日） **＊見守り** ・見守りさんぽ（毎週月曜日） **＊健康づくり** ・ネットワーク永山「体操サロン」（毎月第2水曜日） **＊広報紙**:「ふくしのネットワーク永山だより」(季刊発行) 　第56号［4月］ 2,000部発行 　第57号［6月］ 2,000部発行 　第58号［10月］2,000部発行 　第59号［1月］ 1,800部発行 **＊ネットワークづくり** ○「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」6回開催 ・避難所運営訓練実施[11月] ○「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」8回開催 ・合同防災訓練実施［11月］ **＊新規サロン登録**：１団体　ふれあい近トレ
第８エリア （貝取・豊ヶ丘）	**<u>■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな</u>** **＊委員会**：6回開催 　　：延べ122団体167人参加 **＊企画グループ**：テーマごとに12回開催 **〔定例の委員会内での取り組み〕** ・地域を知ろう～これからの貝取・豊ヶ丘に必要なことは？～［5月］ ・自治会・管理組合連絡会、懇親会［7月］ ・孤立死を防ぐ［9月］

	・72時間ゲーム、防災連絡協議会について［11月］ ・子どもたちの第3の居場所について［1月］ ・孤立死を防ぐ～無理しない・頑張りすぎない見守りのカタチ～[3月] **＊広報紙:**「きずな通信」(年1回発行) ・第8号［5月］1,000部 **＊貝取コミュニティセンター運営協議会との連携** ・福祉なんでも相談の実施：9回実施 ・元気チェックへ協力：11回実施 **＊豊ヶ丘福祉館との連携** ・福祉なんでも相談の実施：6回実施 **＊大妻女子大学ボランティアサークル「rapport」との連携** ・なかよし広場…豊ヶ丘小地区での子どもの居場所・遊び場 4月6月8月実施。 **＊新規サロン登録**：4団体　豊四「積木の会」(麻雀交流サロン)、うきうき近所 de 元気アップトレーニング、グリーンテラス豊ヶ丘近トレの会、豊ボッチャ
第９エリア （鶴牧・落合・南野）	**<u>■ふれあいトムとも</u>** **＊委員会**：6回開催 ：延べ140団体、185人参加。 **＊世話人会**：12回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・ふれあいトムともとは／地域情報の共有[6月] ・暮らしを支える見守りのカタチ［7月］ ・詐欺被害防止から考える見守り［9月］ ・トムとも版72時間ゲーム[11月] ・東京医療学院大学と地域のつながりについて［1月］ ・令和7年度の取り組みの振り返り／今年度の地域の取り組み紹介[3月] **＊広報紙：「トムともだより」** 発行なし **＊鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携** ・福祉なんでも相談の実施（トムハウス）：11回実施。 （連携：多摩センター地域包括支援センター） ・トムハウスまつりにて福祉なんでも相談を実施。 （連携：多摩センター地域包括支援センター） **＊新規サロン登録**：なし
第１０エリア (唐木田・中沢・山王下)	**<u>■ほっとネットしょうぶ</u>** **＊委員会**：6回開催 ：延べ91団体、136人参加 **＊世話人会**：11回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・ほっとネットしょうぶについて＆当地域の地域状況について［4月］ ・地域の未来像、菖蒲館まつり出展案の検討［6月］ ・島田療育センターの見学と防災の取り組みについて［8月］ ・菖蒲館まつりに委員会ブース出展（委員会・地域団体の紹介パネル展示、回想法体験、傾聴講座、防災食の試食、ペットボトルでAED体験など[10月] ・ほっとネットしょうぶ版災害図上訓練72時間ゲーム［12月］ ・今年度の振り返りと次年度の取り組みについて［2月］ **＊広報紙**：ほっとネットしょうぶ通信 発行なし **＊唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携**

	・福祉なんでも相談の実施（からきだ菖蒲館）：10回実施。 （連携：多摩センター地域包括支援センター） ・菖蒲館まつりにて福祉なんでも相談を実施。 （連携：多摩センター地域包括支援センター） **＊新規サロン登録**：なし
※地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、サロン、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織、大学、企業、社会福祉法人、福祉事業所など）	

（5）地域福祉コーディネーターの価値向上及び資質向上に向けた取り組み

①コーディネーター報告書の発行

地域福祉コーディネーターの取り組みの周知と価値向上を目的に、12月に令和6年度コーディネーター報告書を発行した。

②内部研修の実施

地域福祉コーディーターの資質向上を目的に、外部講師（東京都立大学人間社会学部准教授　室田　信一氏）をスーパーバイザーとして招き、OJT研修を企画し、実施した。まちづくりとしての実施は今年で3年目となる。

◆室田信一先生スーパービジョン

	内　容
第1回	日　時：令和7年6月30日（月）　14:00～16:30 会　場：多摩ボランティア・市民活動支援センター　活動室 参加者：12名（職員11名、講師）
	事前テーマ：多摩社協らしいコーディネーターとは 当日タイトル：「多摩社協らしいコーディネーターとは」 内容：3グループに分かれてのグループワーク＆発表
第2回	日　時：令和7年10月1日（水）　13:30～16:00 会　場：多摩ボランティア・市民活動支援センター　活動室 参加者：12名（職員11名、講師）
	事前テーマ：各エリアや他の地域の取り組みについて 当日タイトル：「各エリアや他の地域の取り組みについて」 「多世代・多様性や多様な主体が主体的に参画している」 内容：3グループに分かれてのグループワーク＆発表
第3回	日　時：令和7年12月5日（金）　13:30～16:00 会　場：多摩ボランティア・市民活動支援センター　活動室 参加者：10名（職員9名、講師）
	事前テーマ：次世代・多様な主体とは 当日タイトル：『3年後の目指すべき姿から、次世代・多様な主体の参画を考える』～次世代・多様な主体との『つながり』とは～ 内容：2グループに分かれてのグループワーク＆発表
第４回	日　時：令和8年3月3日（火）　9:00～12:00 会　場：多摩ボランティア・市民活動支援センター　活動室 参加者：10名（職員9名、講師）
	事前テーマ：次世代・多様な主体が関わる実践について考える 当日タイトル：「次世代・多様な主体が関わる実践について考える」 内容：3グループに分かれてのグループワーク＆発表

※職員を4チームに分けて、チーム毎に各回の研修を企画及び運営

※本番前に、各回、事前に講師と打合せを実施した。

7　重層的支援体制整備事業（参加支援事業）　※令和6年度から事業受託

（1）契約状況等

	R7 年度	R6 年度
契約年月日	令和 7 年 4 月 1 日	令和 6 年 4 月 1 日
契約金額	20,165,791 円	19,535,000 円
契約変更年月日		
契約金額		

（2）収支の状況

①　収入の状況　　単位：円

	R7年度			R6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	20,172,000	20,188,219	100.08	19,536,000	19,539,134	100.01

②　支出の状況　　単位：円

	R7年度			R6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	20,172,000	19,938,523	98.84	19,536,000	19,234,672	98.5

（3）参加支援事業の取り組み

①相談支援

ア）相談（新規・継続）件数

	R6年度	R7年度
相談件数 （延べ）	38	新規 23 継続 21 合計 44

※スペース栞内での相談、福祉なんでも相談等も含んだ数字

イ）相談方法

窓口相談	R6年度	R7年度
対面相談	9	13（0）
電話相談	19	16(11)
オンライン相談	2	5（5）
福祉なんでも相談（出張相談）	1	2（2）
支援機関・ボランティア団体からの相談	7	8（5）

※令和7年度より継続相談件数も含めた件数を表記した。括弧内は新規相談件数

ウ）参加支援事業

①参加支援事業

活動実績（件）

	R6年度	R7年度
活動件数	3	3

②スペース栞（居場所）

ア）開催回数＆参加者数

	R6 年度	R7 年度
開催回数（延べ）	6	12
参加者数（延べ）	27	66

イ）会場・参加者内訳等

二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ						多摩市立中央図書館					
月	人数	内訳				月	人数	内訳			
		市内	市外	新規	継続			市内	市外	新規	継続
4	2	0	2	0	2	5	6	4	2	2	4
6	2	0	2	0	2	7	7	4	3	0	7
8	4	1	3	2	2	9	10	5	5	3	7
10	4	1	3	2	2	11	6	5	1	2	4
12	4	2	2	0	4	1	12	8	4	5	7
2	1	0	1	1	0	3	8	4	4	2	6

(4)広域ネットワーク構築・ニーズ把握・周知

機関・団体名	訪問数（回）
地域包括支援センター（多摩センター）	1
放課後等デイサービス	1
当事者団体（居場所クリエイターズサミット）	2
近隣社協（稲城、国分寺、日野、八王子）との連携	4
訪問看護ステーション	1
自立支援事業所	1
民生委員協議会会長会、第 1～第 4 民協	5

(5)多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会（エリア別情報交換会）

多摩市が主催する、「多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会」に協力した。

※地域における相談支援機関の連携強化及び地域課題に関する情報交換の場として地域包括センター圏域ごとに開催した。

会議名	内容
第 1 回 エリア別情報交換会	・多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会について、理解する。 ・各機関が行っている相談支援の内容を相互に理解し、互いの悩みや解決につながるヒントを共有する。
第 2 回 エリア別情報交換会	・エリア別情報交換会の概要、前回の振り返り ・ゲストスピーカーからの説明（機能の説明及び事例紹介） ・ゲストスピーカーの説明を受けて意見交換 ・各機関から周知したいイベントやお知らせ等の共有

８　たすけあい有償活動事業

（１）概要

実施日時	月曜日～土曜日
内　　容 利用料金	住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。 生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 （1時間1,000円、時間外1,220円） 介助サービス・・・・・車イス、通院の付き添いなどの身辺介助 （1時間1,100円、時間外1,320円） その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど （1時間1,000円、時間外1,220円） ※課税対象事業のためR6.4から料金改正（10%加算）
対象者	多摩市在住で、上記内容を本人または家族ができない方
連携者 （団　体）	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

（２）収支の状況

①　収入の状況　　単位：円

	R7年度			R6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	3,757,000	2,171,201 (※1)	57.8%	3,758,000	2,401,083 (※2)	63.9

※1　執行済額2,171,201円のうち225,382円は前期末支払資金残高より充当
※2　執行済額2,401,083円のうち240,959円は前期末支払資金残高より充当

②　支出の状況　　単位：円

	R7年度			R6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	3,757,000	2,171,120	57.8%	3,758,000	2,401,083	63.9

（3）たすけあい有償活動　活動実績

	利用者								協力員		
	新規登録人数	実人数	援助			介助			新規登録人数	登録人数	活動人数
			人数	回数	時間	人数	回数	時間			
4月	6	46	46	117	136	0	0	0	0	141	32
5月	8	51	51	120	147.5	0	0	0	1	142	35
6月	3	53	53	121	144	0	0	0	0	142	35
7月	8	50	50	118	131	0	0	0	8	150	35
8月	2	48	48	119	136.5	0	0	0	1	151	33
9月	4	49	49	119	137	0	0	0	0	149	31
10月	8	63	63	150	171.5	0	0	0	8	157	38
11月	7	61	61	149	181.5	0	0	0	1	149	37
12月	6	58	58	141	164	0	0	0	0	149	33
1月	1	57	57	140	154.5	0	0	0	0	144	35
2月	5	55	55	136	148	0	0	0	0	141	34
3月	6	61	61	150	165	0	0	0	2	143	36
合計	64	652	652	1580	1816.5	0	0	0	21	1758	414
月平均	5.4	54.4	54.4	131.7	151.4	0	0	0	1.8	146.5	34.5

（4）たすけあい有償活動の実施状況　　単位：人

		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用者数(月平均数)		59.2	56.8	63.6	58.5	54.5
協力員	登録者数	159	169.3	159	160	146.5
	うち新規登録者数	20	23	20	15	21
	活動者数（月平均）	40.0	44.2	40.0	37.5	34.5

（5）たすけあい有償活動協力員研修会

開催日時	令和7年11月28日（金）午後1時30分～3時30分
会　場	関戸公民館　学習室
内　容	・講義　「こころのケアを必要とする方への生活支援について学ぼう」 精神疾患の基礎知識 講師　さくらが丘訪問看護ステーション　所長　福田真弘氏 ・グループで事例検討・意見交換
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	15人

（6）たすけあい有償活動協力員懇談会

開催日時	令和8年2月26日（木）午後2時～3時30分
会　場	多摩ボランティア市民活動支援センター
内　容	・活動実績報告 ・グループに分かれて意見交換 （活動のやりがい、活動中の困りごとの共有） ・セルフハンドマッサージ講座 講師　メイクボランティアげんき手！　泉聖子氏
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	9人

（7）たすけあい有償活動事業説明・協力員説明会

開催日時	第1回　令和7年7月29日（火）午後2時～3時30分 第2回　令和7年10月30日（木）午後2時～3時
会　場	第1回　多摩ボランティア市民活動支援センター 第2回　多摩ボランティア市民活動支援センター
内　容	第1回　合同事業説明会 権利擁護センター、同行支援、たすけあい有償活動の事業説明、協力員登録手続き 第2回　たすけあい有償活動の事業説明、協力員登録手続き たすけあい有償活動の事業説明 協力員登録手続き
対象者	18歳以上の市民及び近隣地区住民
参加者	第1回　7人　　第2回　5人

９　住民主体による訪問型サービス

（１）概要

実施日時	月曜日～土曜日
内　　容 利用料金	多摩市介護予防・日常生活支援総合事業において多摩市社会福祉協議会で実施する訪問型サービス。(平成28年5月より指定事業所登録) たすけあい有償活動の協力員登録者のうち、研修を受けた協力員が担い手となる。地域包括支援センターもしくはケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、介護予防支援のため生活支援を実施するもの。 内　容・・・家事支援（掃除・洗濯・食事の準備・買い物代行等)、買物同行支援 頻　度・・・1週間に2回まで 家事支援　　1回 60分以内 買物同行支援　1回120分以内 利用料・・・家事支援　　60分以内　2,000円／回（利用者負担300円） 買物同行支援　120分以内　4,000円／回（利用者負担600円） 活動費・・・家事支援1,100円／回　買物同行支援2,200円／回 ※交通費相当含む キャンセル料・・・当日キャンセルの場合　家事支援1,100円　買物同行支援2,200円
0対象者	多摩市在住 介護保険の認定が要支援1、2　もしくは事業対象者の認定がある方

（２）収支の状況

①　収入の状況　　単位：円

	R7年度			R6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	2,230,000	1,463,362	65.6	1,820,000	1,730,894	95.1

① 支出の状況　　単位：円

	R7年度			R6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	2,230,000	1,260,936	56.5	1,820,000	1,347,592	74.0

（3）住民主体による訪問型サービス　活動実績

	相談件数	利　用　者			協　力　員		
		初回利用人数	利用人数	回数	新規登録人数	登録者人数	活動人数
4月	4	0	24	83	0	66	14
5月	3	2	24	71	0	66	13
6月	1	1	24	77	0	66	14
7月	0	1	25	88	0	66	15
8月	0	0	21	69	0	66	12
9月	0	0	20	65	0	66	13
10月	2	0	17	56	0	66	11
11月	0	0	15	48	0	63	9
12月	1	1	14	46	0	60	9
1月	0	1	14	45	0	60	9
2月	0	0	14	48	0	60	10
3月	0	0	14	51	2	62	10
合計	11	6	226	747	2	767	139
月平均	1	0.5	18.9	62.3	0.2	64	11.6

（4）住民主体による訪問型サービスの実施状況　　単位：人

		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用者数(月平均数)		18.3	19.2	18	21.8	18.9
協力員	登録者数	61	74	87	74	62
	うち新規登録者数	10	12	14	1	2
	活動者数（月平均）	14.2	16	16	13.1	11.9

１０　ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

（1）収支の状況

① 収入の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	14,525,000	13,212,794	90.97	17,440,000	16,007,610	91.79

※前期末支払資金残高含む

② 支出の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	14,525,000	10,881,612	74.92	17,440,000	13,779,901	79.01

（2）多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

委員会名	委員数	開催日	出席者数
運営委員会	12 名	R7.5.29	10 名
		R7.7.31	7 名
		R7.11.21	9 名
		R8.3.6	10 名
審査会	5 名	R7.5.22	3 名
		R7.10.9	3 名
		R8.3.3	4 名
災害ボランティアセンター運営強化専門委員会	9 名	R7.5.23	4 名
		R7.7.17	6 名
		R7.12.9	8 名
子ども・若者応援事業検討専門委員会	5 名	R7.8.26	5 名
		R7.10.28	3 名
ボランティア情報・活動拡充専門委員会	7 名	R7.4.18	7 名
		R7.7.18	7 名
		R7.10.17	6 名
		R8.2.20	5 名

（3）ボランティア育成事業

① 市民活動講座

ア）「食の支援活動講座 ～フードバンクを知ろう～」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R7.5.23	13 人	多摩ボラセン活動室 1	1)「食の支援活動とは」 2)食の支援活動の社会的意義と必要性 3)フードドライブとは、フードバンクとは 4)「多摩市での食の支援活動の現状」 5)多摩市内のフードドライブ活動 6)多摩市内のフードバンク活動	・NPO 法人 POPOLO 鈴木和樹氏 ・ソスペーゾ多摩 吉岡美香氏

イ）「ボランティア入門講座 ～ボランティアをはじめよう～」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R7.6.6	9 人	多摩ボラセン活動室 1	1）ボランティアとは～ボランティアの意義、心構え、活動先 2）活動者インタビュー 3）受け入れ担当者よりボランティアの実際 4）質疑応答 5）夏のボランティア体験メニュー紹介 6）夏のボランティア体験　事前予約	多摩市和光園ケアセンター 田中栄子氏

ウ）「手芸でボランティアをしよう！～メリヤス細編みで編むレオパード柄ポーチを作る～」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
① R7.11.7 ② R7.11.14	① 14 人 ② 11 人	多摩ボラセン活動室 1	1)メリヤス細編みでポーチを作る 2)仕上げ及び『手芸でボランティア座談会』	・クロッシュデザイナー 千葉あやか氏 ・オカダヤ 田島朱美氏

② ボランティア・市民活動団体向けフォローアップ講座
「ゲートキーパーになろう～悩みに気づき、よりそうために～」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R7.10.3	13 人	多摩ボラセン活動室 1	1)ゲートキーパーの社会的意義と必要性 2)ゲートキーパーになるには	NPO 法人ゲートキーパーTONARINO 副理事長 宇野浩氏

③ ボランティア体験

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R7.7.25～8.31	230 人	市内・近隣の福祉施設等全 74 箇所 114 プログラム	夏のボランティア体験 2025	市内・近隣の高齢者、障がい者施設・団体、保育園、児童館、学童クラブ、NPO・ボランティア団体、コミュニティセンターなど

④ 災害ボランティア育成
ア）災害ボランティアセンター運営ボランティア育成講座

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
第 1 回 入門編 R7.6.7	25 人	多摩ボラセン活動室	1）講義：災害ボラセンとは 2）演習：クロスロード体験、意見交換	国士舘大学防災・救急救助総合研究所 助教　浅倉大地氏
第 2 回 運営編 R7.10.18	8 人	多摩ボラセン活動室	1）講義：災害ボラセンについて学ぶ 2）演習：ボランティアマッチングゲーム	国士舘大学防災・救急救助総合研究所 助教　浅倉大地氏

イ）多摩市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R7.7.6	66 人	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 3 階・7 階	・運営システム（JoyLinks）を活用した訓練 ・現在見直している「災害ボラセン運営マニュアル」を基にマニュアルを検証	・災害協定締結団体（多摩市、多摩青年会議所、二幸産業・NSP グループ） ・株式会社コンサイド

※上記参加者には社協職員を含む（職員研修を兼ねているため）
※災害ボランティアとして 62 人が登録
※運営ボランティア登録者のフォローアップも兼ねて実施

⑤　ボランティアパーク等

実施日	来場者	場所	内容	協力団体等
R7.10.19	延べ 216 人	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 7 階	【福祉フェスタ】 ボランティアパーク ・手品体験 ・ぬりえ体験 ・音訳体験 ・おもちゃの修理 ・ミニ手話教室 ・点字体験教室 ・紙芝居、絵本の読み聞かせ ・バルーンアート体験 ・むかし遊び体験 ・縫い物体験 ・マッサージ体験	多摩ボラセン登録団体等 8 団体 ・協力団体 3 団体及び個人ボランティア
R8.2.8	約 173 人	関戸公民館多摩ボランティア・市民活動支援センター	【VITAふれあいまつり】 ・バルーンアート体験 ・ボッチャ体験 ・魚釣りゲーム ・むかし遊び体験	多摩ボラセン登録団体等 1 団体及び個人ボランティア
R8.3.13	約 200 人	多摩ボラセン活動室 関戸公民館市民ロビー	【たまボラ・テラス】 ～ボランティア見本市～ ・活動紹介 ・活動体験 ・販売 ・おもちゃ修理受付	多摩ボラセン登録団体等 26 団体

※令和 4 年度からボランティアパークを実施

⑥　たまボランティアギフト　　マッチングギフト合計金額　500 円

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R7.5.6	1 人	味の素スタジアム	東京ヴェルディホームゲーム車いすゲートボランティア	多摩市社会福祉協議会職員共済会

（4）多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体連絡会（通称：たまぼら連）

①たまぼら連活動実績

実施日	参加者	場所	内容
R7.5.28	33 団体	多摩ボラセン活動室１・2 オンライン	【全体会】 ・代表者及び副代表者の選出について ・多摩ボラセン運営委員会委員の選出について ・令和７年度登録団体連絡会定例会スケジュール（学習会、たまボラ・テラス）について ・多摩ボラセン 40 周年記念事業について ・各団体の活動について情報交換
R7.10.8	26 団体	関戸公民館８階会議室１・２	【学習会】 ・テーマ「災害時の活動支援について～できることをかんがえる～」 資料に基づき登壇（オンライン中継） ①輪島市社会福祉協議会　地域福祉課　宮下周子氏 ②輪島市災害ボランティアの会 小伊藤佳子氏、尾坂里美氏
R7.12.5	②多摩ボラセン 40 周年記念事業のとおり		
R8.1.28	30 団体	多摩ボラセン活動室１・2 オンライン	【全体会】 ・令和８年度団体登録更新手続きについて ・令和８年度団体登録支援内容について ・令和８年度ボランティア・市民活動振興助成金について ・令和８年度子ども・若者応援助成金について ・たまボラ・テラス開催について ・令和7年度多摩ボラセン事業報告（40 周年事業報告含む） ・令和8年度多摩ボラセン登録団体連絡会開催日について
R8.3.13	26 団体	多摩ボラセン活動室 関戸公民館市民ロビー	【たまボラ・テラス】 ～ボランティア見本市～【再掲】

② 多摩ボラセン４０周年記念事業（たまぼら連共催事業）
多摩ボラセン 40 周年記念チャリティ映画実行委員会」を設置し、5 回に渡り検討し実施した。

ア）チャリティ映画実行委員会

チャリティ映画実行委員会	7 名	R7.7.28、R7.8.28、R7.9.25、R7.11.7、R8.1.15

イ）多摩ボラセン 40 周年記念事業

R7.12.5	昼の部 14 時～	180 人	関戸公民館ヴィータホール（ヴィータ・コミューネ 8 階）
	夜の部 18 時 30 分～	85 人	
	チャリティ映画会	・多摩ボラセン 40 周年の軌跡（ビデオ上映） ・北陸能登復興支援映画上映「生きがい　IKIGAI／能登の声　The　Voice of NOTO」 ・ビデオメッセージ（輪島市社会福祉協議会/宮下周子氏／輪島市災害ボランティアの会/三谷みはる氏） ・講演（国士館大学防災・救急救助総合研究所　講師浅倉大地氏）	
	記念誌及び 記念品配布	・記念誌　40 周年記念ボランティア通信（8 面） 表紙デザイン：漫画家　小沢真理氏 ・記念品　トートバック、クリアファイル、タマボラ君クッキー各 1 個（多摩大学中村その子ゼミナール学生デザイン）	
	ガチャガチャ・募金箱の設置 （7 階ボランティア・市民活動支援センター内）	・輪島市社協及び輪島市災害ボランティアの会への募金箱の設置 ・ガチャガチャの設置 ⇒景品「40 周年記念トートバック・クリアファイル・タマボラ君クッキー（期間限定）・40 周年記念缶バッジ（多摩大学中村その子ゼミナール学生デザイン）」 ・40 周年記絵手紙掲示：ボランティアサークル「絵手紙くるくる」山田みちよ氏	

（5）企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進
（多摩地域企業・大学等連絡会（通称：ゆるたまネット））

①　参加団体数　48 団体（新規 5 団体）

②　取り組み内容

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
復興支援活動 R7.4.6	4 人 （販売協力者）	九頭龍公園	せいせき桜まつりにて下記の取り組みを実施。 ・能登半島復興支援フェアの実施 ※石川県七尾市内の事業者より地場産品を取り寄せて代理販売。 ・義援金募金箱の設置 売上金額：584,200 円 義援金募金額：72,891 円 （おらっちゃ七尾への支援金）	【協力団体】 ・国士舘大学 ・ソスペーソ多摩 ・恵泉女学園大学 ・島田療育センター ・二幸産業・NSP グループ ・桜ヶ丘事業協会 ・楽友会 ・河北医療財団 ・東京キリンビバレッジ ・ボランティア登録団体

第１回 定 例 会 R7.8.6	23 人	多摩ボラセン活動室、オンライン （Zoom）	各種メニュー表の作成について、食料無料配布等事業について	
第２回 定例会＆交流会 R7.11.19	定例会 20 人 交流会 11 人	永山健康ランド竹取の湯	学習会について、食料無料配布事業について ※定例会終了後、竹取の湯にて交流会（立食）	
食料配布	③食料等無料配布事業のとおり			
募金活動 R7.12.1 R7.12.12	計 50 人	聖蹟桜ヶ丘駅周辺(西側広場、さくら広場)	地域ささえあい募金(歳末たすけあい運動)街頭募金 ※募金額：76,683 計円	【協力団体】 ・島田療育センター ・ Tokyo Sakura International School ・東京桜ケ丘学院 ・小さな天使 （ﾎﾞﾗｾﾝ登録団体）
第３回 定例会＆学習会 R8.2.6	29 人	多摩ボラセン活動室、オンライン （Zoom）	【学習会】 ～地域を元気にして、組織や事業も進化する新戦略！ コミュニティナースから学ぶ新たな“共助モデル” 株式会社 CNC による活動紹介（地域での実践例・協働の事例）	株式会社 CNC 杜多啓佑氏 山元 圭太氏
総会 R8.3.19	20 人	多摩ボラセン活動室、オンライン （Zoom）	・令和 7 年度ゆるたまネット新規団体の紹介 ・令和 8 年度幹事及び食料無料配布実行委員の選任について ・令和 8 年度事業計画について ・令和 7 年度事業報告について ・意見・情報交換	

③　食料等無料配布事業
※ゆるたまネット内に食料等無料配布実行委員会を設置し、4回に渡り検討し実施した。

食料等無料配布実行委員会	7人	R7.7.30	5人
		R7.10.1	6人
		R7.11.25	5人
		R8.2.24	4人

ア）食料等無料配布実行委員会

イ）令和7年度 多摩地域企業・大学等連絡会 食料等無料配布事業
ゆるたまネットの主催事業として、生活にお困りの「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象に「食料等無料配布事業」を実施。※令和4年度、令和5年度は外国人留学生も対象とした。

	R5年度	R6年度	R7年度
実施日	①R5.12.15 ②R5.12.16 ③R5.12.17	①R6.12.13 ②R6.12.14 ③R6.12.15	①R7.12.12 ②R7.12.13 ③R7.12.14
参加者	190世帯（577人）	197世帯（683人）	204世帯（703人）
実施場所	①大妻女子大学 ②旧豊ヶ丘中学校クラブハウス ③多摩ボランティア・市民活動支援センター	①大妻女子大学 ②旧豊ヶ丘中学校クラブハウス ③多摩ボランティア・市民活動支援センター	①大妻女子大学 ②旧豊ヶ丘中学校クラブハウス ③多摩ボランティア・市民活動支援センター
協力団体等	ゆるたまネット会員28団体、外部団体8団体	ゆるたまネット会員31団体、外部団体9団体	ゆるたまネット会員21団体、外部団体12団体

（6）フードドライブ事業
①フードドライブ窓口（募菓子箱設置店）

	受付窓口	受付時間	備考
1	【多摩市社協の窓口】 ①多摩ボランティア・市民活動支援センター ②総務担当	①平日9：00～19：00 （第1・3月曜日・祝日除く） 土曜日、第1・3日曜日 9：00～17：00 ②平日8：30～17：00 （祝日除く）	
2	Café&Living Kalaka （旧とよよん）	月・火・水・金曜日（祝日除く）10：00～16：30	新規設置窓口
3	【ダイエー店舗の窓口】 ①グルメシティ多摩店 ②foodium多摩センター	①・②営業時間内常時受付	②閉店のため R8.1.31で終了
4	【コープみらい店舗の窓口】 ①コープ貝取店	①営業時間内常時受付	

5	【ファミリーマート店舗の窓口】 ①秀栄多摩落合店 ②多摩唐木田店	①・②営業時間内常時受付	
6	【コミセンの窓口】 からきだ菖蒲館	第 2・4 月曜日、年末年始を除く 9:00～21：30	
7	読売新聞販売店窓口 市内 4 か所	読売新聞販売店員がフードドライブ寄付者の自宅に訪問・回収して、月に 1 度ボラセンに届ける	
8	有限会社もしもし	月曜日～金曜日（祝日除く）9:00～18:00	新規設置窓口
9	マイニチ WAW’ON	営業時間内受付	募菓子箱設置店
10	プレゴ永山	営業時間内受付	募菓子箱設置店

②日用品・スタディドライブ窓口（R7.10月より試行実施）

	受付窓口	受付時間	備考
1	【多摩市社協の窓口】 ①多摩ボランティア・市民活動支援センター ②総務担当	①平日 9：00～19：00 （第 1・3 月曜日・祝日除く） 土曜日、第 1・3 日曜日 9：00～17：00 ②平日 8：30～17：00 （祝日除く）	
2	Café&Living Kalaka （旧とよよん）	月・火・水・金曜日（祝日除く）10：00～16：30	
3	有限会社もしもし	月曜日～金曜日（祝日除く）9:00～18:00	

③イベントでの「フードドライブ」「日用品・スタディドライブ」受付

	イベント名/実施日時	実施場所	備考
1	せいせきツナガルマルシェ R7.10.25（土）～R7.10.26（日）10:00～17:00	京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターB 館 2 階センターコート	寄付総重量 17kg
2	パルシステム東京　多摩・八王子合同センターまつり R7.11.1（土）10:30～13:30	パルシステム東京　多摩センター（多摩市南野）	寄付総重量 12kg
3	福祉大会 R8.2.28(土) 13:00～15:30	二幸産業･NSP 健幸福祉プラザ 3 階多目的フロア	寄付総重量 50kg

④寄付及び配布状況（フードドライブ）

	R5 年度	R6 年度	R7 年度
寄付件数（個人）	453 件	295 件	268 件
寄付物品総重量(個人)	1,931 kg	1,080 kg	817kg
寄付件数（団体）	170 件	178 件	184 件
寄付物品総重量(団体)	5,963 kg	7,847 kg	5,013kg
食材配布件数	873 件	734 件	890 件
食料配布件数＊個人(世帯)(資金貸付相談者)	45 件	52 件	49 件

⑤寄付及び配布状況（日用品・スタディドライブ）

	R7 年度
寄付件数（個人）	52 件
寄付物品総重量(個人)	80kg
寄付件数（団体）	7 件
寄付物品総重量(団体)	62kg
配布件数	416 件

※「日用品・スタディドライブ」は R7.10 月から試行実施。
※寄付された食品・食材、日用品・学用品等を、子ども・誰でも食堂、フードバンク団体、食料無料配布事業、資金の貸付相談者等に配布。
※多摩市社協以外のフードドライブ窓口での寄付は、受付件数に含まず、重量のみを記載。
※一部（賞味期限が長い食品等）を、個人（世帯）への緊急配布用に保管しているため、寄付受付件数と配布件数の数値は異なる。

(7)フードパントリー事業

		R5 年度	R6 年度	R7 年度
配布世帯数	4 月～11 月	526 件	455 件	709 件
	1 月～3 月	157 件	279 件	161 件

※4 月～11 月までは令和 6 年度に実施した、ゆるたまネット主催の食料等無料配布事業実施時に今後も継続的な支援が必要とご回答された世帯を対象に配布した。
※1 月～3 月は、令和 7 年 12 月に実施した、ゆるたまネット主催の食料等無料配布事業実施時に今後も継続的な支援が必要とご回答された世帯を対象に配布した。

(8)指定寄付金

①子ども若者応援支援への寄付金　　単位：円

	R5 年度	R6 年度	R7 年度
寄付金額	1,121,465	5,692,354	1,789,037
子ども・若者応援事業支出額	590,000	490,000	779,621

※令和 4 年度より子ども・若者応援助成金交付事業実施のため、令和 4 年度からはフードパントリー事業と子ども若者応援助成金交付事業で活用。
※支出額には、歳末たすけあい配分金を含む

②ボランティア・市民活推進への寄付金　　単位：円

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
寄付金額	228,720	178,669	144,550	193,622	156,200

※　令和 4 年度商品券による寄付 100,000 円を含む
※　令和 5 年度商品券による寄付 100,000 円、たまボランティアギフト 1,000 円を含む
※　令和 6 年度商品券による寄付 100,000 円、たまボランティアギフト 1,000 円を含む
※　令和 7 年度商品券による寄付 100,000 円、たまボランティアギフト 500 円を含む

③ボランティア基金への積立額（令和 7 年度末残高　13,248,509 円）　　単位：円

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
基金積立額	1,108,567	266,989	302,418	705,143	303,832

※令和 7 年度ボランティア基金への寄付金額 303,832 円の積立手続きは、令和 8 年度に実施

（9）子ども若者応援助成金交付事業

①令和 7 年度実績

団体名	事業内容	助成金額 （単位：円）
特定非営利活動法人どんぐりパン	きっちん空(子ども・誰でも食堂)	30,000
一般社団法人ララタマチルドレン	ピンクララタマ子ども・誰でも食堂	30,000
特定非営利活動法人麻の葉	Café あさの葉子ども参加イベント	30,000
一般社団法人祥鶴	こども食堂　ほくの家	30,000
こども食堂ほっこりキッチン	こども食堂「ほっこりキッチン」	30,000
一般社団法人　Life is	多様な交流を生み出すための居場所づくり	30,000
NPO 法人　BORDER FREE	さくら教室（学習支援事業）	30,000
わくわく子ども食堂	わくわく子ども食堂	30,000
むすび芽	親子カフェおむすび	30,000
イイライフ・カンパニー	超速会	24,000
こども食堂ココット	こども食堂ココット	30,000
NPO 紬	不登校児支援活動・地域連携多世代包括支援事業	30,000
Almonde Musica ～あるもんで音楽する～	音楽でつながろうよ　～エコベル作り・エコベル遊びを通して～	30,000
三丁目の家くべーる会	やってみよう！ができる場所	30,000
ままここ	ままここ	30,000
コミュニティカフェ　カラーカ	食事等提供事業	80,000
合計（16 団体）		524,000

②交付実績状況

	R5 年度	R6 年度	R7 年度
応募団体数	13	13	16
助成団体数	13	13	16
支援総額(円)	740,000	490,000	524,000

(10) ボランティア活動等振興助成金交付事業

①令和 7 年度実績　（単位：円）

団体名	事業内容	助成金額
傾聴ボランティアグループ「福寿草」	ボランティア活動等の資質向上を図るための事業	20,000
メイクボランティアげんき手	ボランティア活動等の資質向上を図るための事業	20,000
多摩市音訳グループ繭	ボランティア活動等の資質向上を図るための事業	20,000
伝統芸能たまいち座	ボランティア活動等の資質向上を図るための事業	20,000
マジックエコー	ボランティア活動等の資質向上を図るための事業	20,000
多摩市手話サークル「クローバー」	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
ブロッコリーの会（おはなしサロン）	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
NPO 法人シニアサポート多摩	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
この指とまれ	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
グリーフサポートたま	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
スマイルバルーン	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
ハートフル多摩	設立 2 年目以内の登録団体がこれから継続して行おうとするボランティア活動等を目的とした事業	50,000
合計（12 団体）		330,000

交付実績状況　（単位：円）

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
登録団体数	57	53	57	54	54
助成団体数	5	6	12	14	12
助成総額	160,000	230,000	380,000	530,000	330,000

(11) 相談事業

①ボランティア出張相談　（R７．４＋R８．３の合計数）
令和７・８年度ボランティア保険加入受付、ボランティア・市民活動の情報提供、相談等

実施日	来所者	場所	協力団体等
① R7.4.9～4.24 ② R8.3.11～3.26 全14回	44人	市内コミュニティセンター5 箇所、永山公民館、豊ヶ丘福祉館、二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員延べ４人

②夏ボラ出張相談　夏のボランティア体験申込み、相談対応、ボランティア保険加入受付

実施日	来所者	場所	協力団体等
R7.6.15～ R7.6.26 全8回	41人	市内コミュニティセンター6 箇所、永山公民館	市内コミュニティセンター運営協議会、
R7.6.15	16人	たまこどもフェス2025会場内(ベルブ永山)	
R7.6.17	20人	永山高校	永山高校
R7.7.1	26人	大妻女子大学	大妻女子大学
R7.7.4	0人	明星大学	明星大学
R7.7.10	3人	若葉総合高校 ＊地域出前事業の中で夏ボラ参加者を募集	若葉総合高校 多摩市手話サークル「クローバー」
R7.7.19	41人	大妻多摩中学高等学校	大妻多摩中学高等学校

(12) 協力事業

	団体・事業名	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	麻の葉主催 スペシャルディ	R7.7.26	高齢者疑似体験「心と体に向き合おう」 高齢者疑似体験セットの貸出、ボランティアの紹介	
2	社会医療法人 河北医療財団主催 ハッピーエイジングフェスタ	R7.11.15	シニア向けイベントへブース出展 「いきがいマッチング」コーナー	
3	青少協　鶴牧・大松台地区委員会主催 ワイワイ大鶴祭	R7.10.4	・車いすで輪投げ ・ブラインド体験 （視覚障害者メガネなど） ・盲導犬クイズ ・福祉のマーククイズ	ボランティア５名 （大妻女子大学・民生委員等）

4	VITA ふれあいまつり	R8.2.9	「ボッチャ体験」「バルーンアート」「むかし遊び体験」など来場者に体験を行う。来場者数約 150 人	ボランティア団体、男性活動者連絡会メンバー等 22 名

(13) 地域出前事業（総合的学習含む）

①令和７年度実績

	学校・団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	貝取小学校	① R7.4.25 ② R7.6.19 ③ R7.6.26	① 車いす当事者講話/車いす体験 ② 福祉の仕事紹介 ③ 視覚障がい当事者講話、ガイドヘルプ体験	① 檜山和真氏/社会福祉法人大和会/一般ボランティア ② 職員 ③ 多摩市視覚障害者福祉協会/ガイドヘルパー/一般ボランティア
2	永山小学校	① R7.6.12 ② R7.10.31 ③ R7.11.17 ④ R7.11.25 ⑤ R7.12.1 ⑥ R7.12.15	① 車いす当事者講話/車いす体験 ② 視覚障がい当事者講話/ガイドヘルプ体験 ③ 高齢者疑似体験 ④ 視覚障がい当事者講話 ⑤ 聴覚障がい当事者講話 ⑥ 聴覚障がい当事者講話/手話体験	① 檜山和真氏/社会福祉法人大和会/一般ボランティア ② 多摩市視覚障害者福祉協会/ガイドヘルパー/一般ボランティア ③ 職員/一般ボランティア ④ 多摩市視覚障害者福祉協会 ⑤ ⑥多摩市聴覚障害者協会、多摩市手話サークル「クローバー」
3	若葉総合高校	R7.7.10	聴覚障がい当事者講話/手話体験	多摩市聴覚障害者協会、多摩市手話サークル「クローバー」
4	聖ヶ丘小学校	R7.9.26	高齢者疑似体験	職員/一般ボランティア
5	愛和小学校	① R7.9.29 ② R7.10.3	① 車いす当事者講話/車いす体験 ② 高齢者疑似体験	① 檜山和真氏/社会福祉法人楽友会/一般ボランティア ② 職員/一般ボランティア
6	東落合小学校	① R7.10.16 ② R7.11.6	① 車いす当事者講話/車いす体験 ② 視覚障がい当事者講話	① 檜山和真氏/社会福祉法人楽友会/一般ボランティア ② 多摩市視覚障害者福祉協会
7	多摩中学校	R7.12.10	高齢者疑似体験	職員
8	多摩第三小学校	① R7.12.11 ② R8.2.26	① 車いす当事者講話/車いす体験 ② 昔遊び	① 檜山和真氏/社会福祉法人大和会/一般ボランティア ③ 職員/みんなであそぼう/一般ボランティア
9	北諏訪小学校	R7.12.23	身体障がい当事者講話、視覚障がい当事者講話	檜山和真氏、多摩市視覚障害者福祉協会
10	大松台小学校	R8.2.17	視覚障がい当事者の話、点字体験	多摩市視覚障害者福祉協会、パソコン点訳サークルこがめ

11	南鶴牧小学校	R8.3.3	聴覚障がい当事者講話、手話体験	多摩市手話サークル「クローバー」
12	和田中学校	R8.3.6	視覚障がい当事者講話、点字体験	多摩市視覚障害者福祉協会、パソコン点訳サークルこがめ、多摩市点字サークル「トータス」

②過去５年間の総合的学習内での実施状況

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
学校数	４校 （小４校）	６校 （小６校）	５校 （小５校）	１０校 （小９校） （中１校）	１２校 （小９校） （中２校） （高１校）
実施回数	６回	１１回	９回	１４回	２１回

※令和６年度に福祉体験等メニュー表を作成し、市内小中学校に周知
（福祉体験等メニュー表は毎年度更新し、市内中学校に周知）

(14) 学習支援事業（NPO 法人 BORDER FREE　共催）

事業名	人数	場所	実施日
放課後学習教室（4 月～3 月）	延べ 194 人	多摩ボラセン活動室 1	毎週火曜日 17 時～19 時
さくら教室（4 月～2 月） （基礎英語クラス）	延べ 191 人	多摩ボラセン活動室 1	第 1・第 3 土曜日 14 時～17 時
さくら教室（4 月～2 月） （標準英語クラス）	延べ 200 人	多摩ボラセン活動室 1	第 2・第 4 土曜日 14 時～17 時
さくら教室（4 月～2 月） （都立入試対策英語クラス）	延べ 184 人	多摩ボラセン活動室 1	毎週水曜日 17 時～19 時
さくら教室（4 月～2 月） （都立入試対策数学クラス）	延べ 481 人	多摩ボラセン活動室 1	毎週金曜日 17 時～19 時
ながやま教室（4 月～11 月） 英検級別対策クラス	延べ 101 人	しごと・くらしサポートステーション会議室	毎週土曜日 9 時～14 時 30 分

※生活困窮世帯の子どもや学習面で困難を抱えている子どもを対象に学習支援を行う。
※令和５年７月より開始

(15) 販売事務業務委託（多摩市受託事業）　　単位：円

委託件名	事業内容	収入金額
多摩市印刷物有償頒布事務業務委託	多摩市印刷物の有償頒布に係る業務（販売）※委託料は販売価格の 20%	100
学校施設等使用券売払事務業務委託	学校施設等使用券の販売及び収納業務 ※委託料は販売価格の 5%	146,100
合計		146,200

(16) 関係機関との連携

会議名	実施回数	備　　考
市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会	年２回	オンライン会議
市区町村社協南多摩ブロック職員の会ボランティア担当者会議	年２回	構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、多摩市の５市社協 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報交換を行っている。

(17) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
個人登録者数	738 人	733 人	615 人	654 人	685 人
団体加盟者数	1,641 人	1,380 人	1,398 人	1,391 人	1,384 人
Ｖ保険登録者数	1,606 人	2,102 人	2,382 人	2,649 人	2,314 人
登録団体数	57 団体	53 団体	57 団体	54 団体	54 団体

※個人登録者は、介護予防ボランティアポイント、災害ボランティア、特技・芸能ボランティア登録者。
※介護予防ボランティア登録者数は、１１介護予防ボランティアポイント事業（４）①参照。
※団体加盟者数は、延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため

(18) 多摩ボランティア・市民活動支援センター　利用状況

①本センター(ヴィータ)

	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
来館者数	8,358 人	9,640 人	10,021 人	9,271 人
利用団体数	312 団体	392 団体	335 団体	334 団体
活動室１利用者数	3,007 人	4,765 人	6,219 人	6,911 人
活動室２利用者数	3,228 人	3,955 人	4,815 人	4,996 人
活動室３利用者数	1,429 人	1,925 人	2,678 人	2,724 人
フリースペース利用者数	1,307 人	473 人	1,622 人	2,060 人
パソコン相談者数	107 人	108 人	164 人	112 人
フードドライブ受付件数	337 件	553 件	249 件	336 件
ボランティア保険・行事保険受付件数	390 件	372 件	421 件	396 件
個人利用新規登録者数	9 人	8 人	4 人	13 人
市内施設利用券及び市有償刊行物販売件数	276 件	293 件	255 件	246 件
女性センターライブラリー図書貸出件数	31 件	9 件	10 件	15 件

※令和４年２月に永山分室閉鎖に伴い、令和４年４月に本センターを登録団体の活動拠点としてリニューアルしたため、上表のとおり令和４年度より利用状況を明記。

②総合福祉センター分室

	R3 年度	R４年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用団体数	150 団体	253 団体	230 団体	290 団体	300 団体
活動室利用者数	852 人	1,757 人	1,629 人	2,031 人	2,048 人

③機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器等、ボランティア・市民活動に必要な機材･用具の貸出を行った(一部有料)。

貸出機材	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
ロッカー(本センター)	15	17	18	19
ロッカー（福祉センター分室)	17	11	12	16
車いす	21	24	18	13
高齢者疑似体験セット	10	13	18	18
視覚障がい体験セット	1	3	3	0
アイマスク	10	8	8	3
点字練習器	4	7	8	7

※（16）①の※の理由により令和４年度より明記。

(19) ボランティア相談状況

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
ボランティア希望	202	207	201	213	141
ボランティア要請	38	83	71	69	82
マッチング（紹介)	123	100	118	102	96
情報提供	12	19	28	17	70
協力依頼	23	27	34	32	26
その他	1	10	19	19	28
計	276	346	471	452	443

※介護予防ボランティア登録者の数は含まない

※マッチング(紹介)は、ボランティア要請に対しての紹介数のため合計数に含まず

(20) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

①「ボランティア通信」発行状況（月１回発行）

発行部数(月別)	総発行部数	設置・送付箇所数	主な設置・送付場所
2,000 部	24,000 部	431 箇所	市内公共施設（ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ含む)、市内郵便局、市内企業・店舗（福祉協力店含む)、学校等

②多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア　配信日：第１木曜日。その他、不定期に配信。

イ　登録件数：910 人（令和８年３月末日現在）

ウ　配信回数：12 回

エ　配信実績状況

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
登録件数	595	565	811	905	910

③ 各 SNS の状況

	令和７年度
YouTube 登録者数	42
X フォロワー数	52
LINE 登録者数	120
Instagram フォロワー数	70

※令和７年度からＳＮＳ配信を拡充し、統計実施

１１　介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

（1）概要

目　　的	多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）第 115 条の 45 第 1 項第 1 号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。
事業開始	平成 26 年 7 月 7 日（受託事業開始）
事業概要	（1）事業内容 ①制度根拠：介護保険法第 115 条の 45 第 1 項第 1 号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱 ②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第 1 号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要） ③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動） ア）事業　●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業） イ）活動　●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動 （例―草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他 ④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。 ⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大 5,000 ポイントの評価ポイントを付与。 ⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は年間最大で 5,000 円。 ⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。 （2）業務内容 ①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施 ②受入機関の登録に関する事務 ③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務 ④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務 ⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務 ⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務

（２）　契約状況等

	令和７年度	令和６年度
契約年月日	令和７年４月１日	令和６年４月１日
契約金額	2,607,100 円	2,078,000 円
変更協議年月日		
契約金額		

＊契約金額に租税公課分は含まず　　単位：円

（３）　収支の状況

①　収入の状況　　単位：円

	令和７年度			令和６年度		
区　分	予算現額	収入済額	執行率(%)	予算現額	収入済額	執行率(%)
合　計	2,612,000	2,608,100	99.85	2,078,000	2,078,000	100.0

②　支出の状況　　単位：円

	令和７年度			令和６年度		
区分	予算現額	支出済額	執行率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)
合計	2,612,000	2,569,268	98.37	2,078,000	2,075,188	99.87

（４）　事業実施状況

①　ボランティア登録者数

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
登録者数	483 人	514 人	557 人	586 人	598 人

②　登録施設数

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
登録施設数	49	52	53	59	61

※令和７年度新規登録 ２団体

③　ボランティアポイント説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R7.4 ～ R8.3（毎月第二木曜日）	15 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター活動室	・にゃんともＴＡＭＡるボラティアポイントについて ・登録手続きについて	全 7 回(6・7・10・11 月は参加者がいなかったため未開催)

④　登録者向け研修会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R7.4.25	21 人	関戸公民館学習室２	栄養・運動・社会参加についての講話と実践 講師:介護予防運動推進委員 認知症ファシリテーター 佐伯京子　氏	

⑤　施設向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R8.2.6	0 名	ZOOM（オンライン）	介護予防ボランティアポイント受け入れ施設登録について	施設・団体ボランティア受入れ担当者情報交換会・研修会と同日開催。参加者 0 名のため実施せず。新担当者向けに 5 施設行った。

⑥　施設・団体ボランティア受入れ担当者情報交換会・研修会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R8.2.6	8 施設 9 人	ZOOM（オンライン）	「ボランティアの受け入れについて」「ボランティア募集について」「ボランティア受入れによる地域とのつながりについて」講義、情報交換	

１２　福祉サービス利用支援事業

⑴概要

目　　的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。
対 象 者	1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者
内　　容	①福祉サービス利用援助（情報提供、手続き援助、利用料の支払い等） ②日常的金銭管理サービス（年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等） ③書類等の預かりサービス（年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等）

⑵地域福祉権利擁護事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
相談件数	2,136	3,660	3,376	2,866	3,188
契約件数	30	26	28	32	25
解約件数	24	13	34	22	26
年度末契約件数	109	122	116	126	125

〇収支状況（人件費を除く）

・収入の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）
合　計	4,128,000	4,125,847	99.9	3,870,000	3,812,507	98.5

・支出の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）
合　計	4,128,000	3,663,103	88.7	3,870,000	3,535,563	91.4

⑶東京都福祉サービス総合支援事業（多摩市補助事業）

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
相談件数	191	391	569	456	406
契約件数	2	6	7	6	4
解約件数	8	0	3	6	2
年度末契約件数	10	16	20	20	22

福祉サービス利用援助事業　　令和7年度末契約総数　　147件　　（125件＋22件）

〇収支状況（人件費を除く）

・収入の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率（％）	予算現額	執行済額	執行率（％）
合　計	1,975,000	1,979,275	100.2	1,949,000	1,947,550	99.9

・支出の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予算現額	執行済額	執行率（％）	予算現額	執行済額	執行率（％）
合　計	1,975,000	1,730,333	87.6	1,949,000	1,808,259	92.8

⑷実施事業

広報・説明会

1　社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。

2　社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。

①　市民向け事業説明会(4回)

令和7年 6月20日（金）20人
令和7年11月28日（金）10人
令和8年 2月20日（金）　8人
令和8年 3月12日（木）　5人

②　生活支援員募集事業説明会(4回)

令和7年 5月29日(木) 参加者 2人　登録者1人
令和7年 7月29日(火) 参加者 3人　登録者0人
令和7年10月30日(木) 参加者 2人　登録者2人
令和8年 2月13日(金) 参加者10人　登録者2人（次年度登録）

年度	生活支援員				
	説明会参加者数	応募者数	新規登録数	退職者数	年度末登録者数
R3	6	5	5	3	43
R4	9	2	2	7	38
R5	8	4	4	5	37
R6	11	3	3	3	37
R7	16	5	3	3	37

専門研修会	事業名：生活支援員研修・情報連絡会 「正しく知って、楽しく活用！ネット利用の心得」 「見守りの必要な方の消費生活トラブル～相談事例と対処法について～」 日　時：令和7年7月31日（木）午後2時～4時 場　所：総合福祉センター7階　研修室 説明者：多摩市消費生活センター相談員　中井美恵子　氏 内　容：消費生活トラブルの事例と対処法 対象者：生活支援員 参加者：生活支援員13人、職員7人 事業名：生活支援員情報連絡会 「個人情報保護法の基本と従業員の皆様にご注意いただきたいポイント」 「東京都社会福祉協議会に寄せられた事故報告の共有と情報交換」 日　時：令和8年1月30日（金）午後3時～4時30分 場　所：総合福祉センター7階　研修室 説明者：権利擁護センター職員 内　容：個人情報の取り扱いについて 対象者：生活支援員 参加者：生活支援員13人、職員6人
講演会	事業名：「専門職による遺言と相続講座」（2日間） 日　時：令和7年9月1日（月）午後2時～4時 令和7年9月8日（月）午後2時～4時 場　所：一日目　総合福祉センター7階研修室 二日目　総合福祉センター7階研修室 内　容：一日目　遺言と相続について　　二日目　相続税について 講　師：一日目　司法書士：相田浩和氏　　二日目　税理士：内藤純氏 目　的：市民を対象に遺言と相続税に関する普及啓発を行う 講演会を通じて権利擁護業務に必要な司法書士と税理士の連携を図る 参加者：延べ24人

１３　成年後見制度利用者支援事業

目　　的	認知症、知的障害、精神障害などにより物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を 守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する。
事業開始	平成21年10月1日 ※令和2年4月1日より多摩市成年後見制度利用者支援事業業務として委託を受ける。
対 象 者	認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方で成年後見制度を利用することが有用である方。
内　　容	成年後見制度に関する ①広報･啓発活動 ②相談業務 ③利用促進業務

成年後見制度利用支援業務

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
相談件数（延べ件数） 新規相談者件数	661	671	617 99	662 123	908 155
申立支援件数 申立支援延べ件数	20（4） 179	20(4) 229	20(5) 204	28(4) 196	 203
マッチング支援件数	26	21	19	37	85

※申立支援件数のうち、括弧内は福祉サービス利用支援事業契約者に対して申立支援を行った件数。

○収支状況（人件費を除く）

・収入の状況　　単位：円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）
合　計	1,531,000	1,422,702	92.9	669,000	582,000	87.0

・支出の状況　　単位:円

	令和7年度			令和6年度		
区　分	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）
合　計	1,531,000	1,329,428	86.8	669,000	570,492	85.3

⑴実施事業

広報・ 説明会	1　社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。 2　社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。 （再掲） ①　市民向け事業説明会(4回) 令和7年 6月20日（金）20人

	令和8年 2月20日（金） 8人 令和8年 3月12日（木） 5人 ② 事業所・関係機関向け事業説明会(1回) 令和8年 3月24日（火）56人
ふくし 法律相談	実施日：毎月、第3木曜日　午後1時30分～3時30分 場　所：総合福祉センター内 弁護士：第二東京弁護士会所属　弁護士　増田径子氏 対象者：高齢者、障がい者及びその家族等 相談件数：12件(申込件数15件)
社会福祉士による成年後見制度相談会	実施日：毎月、第4火曜日　午後1時30分～3時30分 場　所：総合福祉センター内 弁護士：ぱあとなあ東京会員 対象者：高齢者、障がい者及びその家族等 相談件数：18件(申込件数20件)
講演会	①　事業名：「市民のための成年後見講座」 日　時：令和7年6月14日（土）午前10時～12時 場　所：視聴覚室（ベルブ永山４階） 講　師：司法書士　伴正太郎氏 目　的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。 内　容：成年後見制度の基礎知識について 参加者：14人 ②　事業名：「専門職後見人等懇談会」 日　時：令和7年11月14日（金）午後2時～4時 場　所：総合福祉センター7階研修室 講　師：ひだまり法律事務所　芳賀培之氏 目　的：成年後見人等及び受任予定の士業や市民後見人の交流を促進し、情報交換を行うことで成年後見人等の支援を行う。 内　容：「死後事務と相続財産の引継ぎについて」の講演と情報交換会。 参加者：11人 ③　事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」 日　時：令和7年11月27日（木）午後2時～4時 場　所：消費生活センター　講座室（ベルブ永山3階） 講　師：NPO法人成年後見ウィル理事長　阿部由美氏 目　的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、家族信託と成年後見制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。 内　容：「成年後見制度と親なきあとの準備」 参加者：8人 ④　事業名：消費者被害予防講座「令和の”終活“新常識～「もしも」のときに失敗しないお葬式・お墓選びの今」 日　時：令和7年12月7日（日）午前12時～午後2時 場　所：ベルブ永山４階　集会室 講　師：東京都消費生活総合センター東京都消費者啓発員　鈴木伸子氏 目　的：主に高齢者の消費生活トラブルを防ぐための注意点やトラブルの対応方法、権利擁護事業を用いた再発防止策の啓発を行う。

	内　容：東京都消費生活総合センター東京都消費者啓発員から「令和の”終活“新常識～「もしも」のときに失敗しないお葬式・お墓選びの今」の講話。 権利擁護センター職員による「地域福祉権利擁護事業及び成年後見制度について」のご案内。 参加者：23人 ⑤　事業名：「親族後見人懇談会」 日　時：令和7年12月20日（土）午前10時30分～11時30分 場　所：消費生活センター講座室　（ベルブ永山3階） アドバイザー：権利擁護センター運営委員長・弁護士　藤野大介氏 目　的：親族で後見人等としての活動を考えている方に対して、後見業務の具体的な内容や活動におけるポイントを伝え、今後の後見活動における心構えに繋げる。 内　容：参加者から、後見人としての活動や成年後見制度の利用について質問をいただき、権利擁護センター運営委員長である藤野大介弁護士から回答・助言をいただく。 参加者：4名 ⑥　事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」 日　時：令和7年12月20日（土）午後1時30分～4時40分 場　所：ベルブ講座室　（ベルブ永山3階） 相談員：（公社）成年後見センターリーガルサポート東京支部所属　司法書士2名 目　的：市民を対象に成年後見制度や遺言等の普及啓発を図る。 内　容：司法書士による成年後見制度に関する相談会を実施。 相談者数：6組
権利擁護支援検討会議	令和7年10月より実施。 本人を支える支援機関等が、本人の権利擁護を十分に図ることができるよう、権利擁護支援検討会議を設置し、権利擁護支援の必要性、適切な支援内容・方針に関すること、成年後見制度の利用、成年後見人等候補者のマッチング支援に関することなど、ケースに応じた対応について、弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士、行政職員などの専門職に助言をいただく。 第１回　令和7年10月27日（月）16：00～ 第２回　令和7年11月26日（水）10：00～ 第３回　令和8年 1月29日（木）10：00～ 第４回　令和8年 2月16日（月）10：00～ 第５回　令和8年 3月17日（火）10：00～

１４　高齢者あんしんサポート事業

目　　的	急な入院時や死亡時における手続き等に不安を感じている単身で生活する高齢者に対し、安心して自立した地域生活が送れるよう、本人との契約に基づき、必要な支援を行う
事業開始	令和5年4月1日
対 象 者	次のいずれにも該当する方 （１）　多摩市に住所を有し、かつ、居住していること。 （２）　契約時の年齢が 65 歳以上の単身高齢者で、支援を受けられる親族がいないこと。 （３）　事業の内容を十分に理解し、契約判断できる能力があること。 （４）　生活保護を受給していないこと。
内　　容	基本サービス 定期的連絡･訪問 選択サービス ①福祉サービス利用時支援②日常的金銭管理・手続き支援③賃貸住宅居住支援④入院時支援⑤施設入所時支援⑥葬儀・埋葬等手続き支援⑦書類等預かり⑧専門職仲介支援

〇収支状況（人件費を除く）

・収入の状況　　単位：円

	令和７年度			令和６年度		
区　分	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	354,000	173,068	48.8	281,000	196,652	75.9

・支出の状況　　単位：円

	令和７年度			令和６年度		
区　分	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率（ % ）	予算現額	執行済額	執行率(%)
合　計	354,000	158,915	44.8	281,000	64,254	22.8

(1)　相談件数　　49件
(2)　新規契約件数　　4件　(80代男性1名　70代女性1名　80代女性2名)
(3)　解約件数　　1件　(70代女性　私事都合)
(4)　年度末契約件数　　7件　(70代男性1名、70代女性2名、80代男性2名、80代女性2名)
(5)　実施事業

広報・説明会	１　社協およびホームページの掲載。パンフレットの配布。 ２　事業説明会 ①　市民向け事業説明会（4回） 令和7年 6月20日（金）20人 令和7年11月28日（金）10人 令和8年 2月20日（金）　8人 令和8年 3月12日（木）　5人 ②　事業所・関係機関向け事業説明会（1回） 令和7年11月21日（金）10人

１５　資金貸付事業

（１）生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

資金種別		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談総件数		295件 ※特例貸付 (1,534件)	343件 ※特例貸付 (325件	465件	449件	472件
資金種別ごとの貸付内容	①福祉資金	851,000 (2件) 辞退 792,000-	140,000 (2件)	-	265,000 (3件	99,000 (1件)
	②緊急小口資金	※特例貸付 (438件	※特例貸付 (95件)	50,000 (1件)	辞退（1件） 55,000	辞退（1件） 72,000
	③教育支援資金	7,066,500 (5件)	6,352,000 (4件)	18,759,000 (12件) 辞退 1,919,000	8,562,500 (6件) 辞退（1件） 2,140,000	8,750,000 (7件) 辞退（1件） 2,130,000
	④総合支援資金	※特例貸付 (1,194件)	※特例貸付 (86件)	-	-	—
	⑤要保護世帯向け 不動産担保型 生活福祉資金	-	-	-	-	—
	合　計	7,125,500 (1,639件)	6,492,000 (187件)	18,809,000 (13件)	8,827,500 (9件)	8,849,000 (8件)

※特例貸付：新型コロナウイルスの影響による特例貸付の申請（緊急小口資金）・貸付（総合支援資金）件数（令和4年9月末で特例貸付の申請終了）

（２）小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに２万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
相談総件数		154 件	259 件	246 件	37 件	30 件
貸付金額		50,000 (3 件)	30,000 (2 件)	40,000 (2 件)	55,000 (3 件)	0 (0 件)
償還状況	当年度貸付分償還金	20,000 (1 件)	30,000 (2 件)	30,000 (2 件)	55,000 (3 件)	0 (0 件)
	過年度貸付分償還金	30,000 (4 件)	71,000 (6 件)	21,000 (4 件)	21,000 (3 件)	16,000 (1 件)

（３）緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000 円を限度に金品等を援助する。

単位：円

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
支給件数	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件
支給金額	1,100	10,000	0	0	0

（４）ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

ひとり親の修学を支援し、資格取得と資格を活かした就職を促進して一人親家庭の自立を図る（平成28年12月開始）。

		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
相談件数		18 件	8 件	8 件	7 件	0 件
貸付件数	① 入学準備金	―	―	―	500,000 (1 件)	―
	② 就職準備金	200,000 (1 件)	200,000 (1 件)	―	―	―
	③ 住宅支援資金	1,999,200 (4 件)	480,000 (1 件)	960,000 (2 件)	1,440,000 (3 件)	―
	合計	2,199,200 (5 件)	680,000 (2 件)	960,000 (2 件)	1,940,000 (4 件)	―

※ ③住宅支援資金貸付は令和3年12月より受託開始。

（５）出張相談（しごと・くらしサポートステーション）

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
実施回数	未実施	未実施	未実施	1 回	2 回
相談件数	-	-	-	4 件	8 件

（６）その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧提供による支援を実施。

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
支給件数	34 件	35 件	45 件	52 件	49 件

※令和 3 年度より貸付相談のあった困窮者への配布件数のみを計上。

１６　収益事業の実施

公園・資源化センター等の公共施設、福祉協力店、および市内工事現場に自動販売機を設置し、その売上の一部が収益金と、赤い羽根共同募金および地域ささえあい募金への寄付となる。

単位：円

設置場所	業者	ロケーションマージン額（手数料収入）				
		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
一本杉公園（2 台）	西都ヤクルト販売(株)	566,139	513,719	528,032	539,239	490,062
多摩東公園		646,472	639,549	670,997	581,688	488,394
資源化センター		187,668	186,751	138,289	115,278	121,962
エリアティ		26,493	29,885	32,611	25,768	21,350
新井歯科医院	*1	22,595	24,210	20,995	19,432	17,087
ポロン	東京キリンビバレッジサービス(株)	15,625	24,812	20,142	12,809	11,807
高西寺		29,263	30,185	28,960	28,779	26,958
KDDI 多摩センタービル		43,261	30,626	22,573	23,894	19,908
三井住友建設聖蹟桜ヶ丘現場		330,559	301,187	258,796	235,319	－
旧北貝取小学校工事現場		61,071	－	－	－	－
トムハウス改修工事現場		55,194	39,788	－	－	－
連光寺老人福祉館工事現場		34,895	18,056	－	－	－
多摩中央図書館工事現場(2 台)		(募金のみ) *2	(募金のみ) *2	－	－	－
合　計		2,019,235	1,838,780	1,721,395	1,582,206	1,197,528

*1　設置業者）コカ・コーラボトラーズジャパン㈱

*2　設置先の意向により、販売手数料に係る寄付金は赤い羽根共同募金と地域ささえあい募金のみ対象（収益金とならない）

※　ロケーションマージン額：販売品売上単価の1%～40%（設置場所により異なる）を販売手数料としており、商品により１本当たり1円～60円の収益がある。

１７　障がい者地域活動支援センター事業（多摩市受託事業）

（1）概要

目　　的	市内在住の障がいのある方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいのある方の社会参加、自立への援助を図る。
事業開始	平成 24 年４月１日（受託事業開始）
対　　象	市内在住の障害者手帳所持者・家族、市内の障がい者団体
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内　　容	①　業務日時 月曜日から土曜日まで［第 2 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く］の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで ②　事業内容 ●基礎的事業 ・趣味や生きがい活動の支援（教養講座など） ・在宅障がい者デイサービス事業 ・社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、グループ活動など） ●機能強化事業 ・相談支援事業（福祉サービスの利用援助等） ・各種相談事業（パソコン相談など） ・水浴訓練室事業（水中機能訓練など） ・入浴サービス（通所入浴・訪問入浴） ・広報・普及啓発 ●障害理解促進事業 ・理解促進事業（障がい者と共にひとときの和、福祉体験学習など） ●高次脳機能障害者支援促進事業 ・相談支援 ・関係機関との連携 ・社会資源の把握・開拓 ・広報・普及啓発 ●その他 ・ヘルプカードの配布、疑似体験学習への協力など

（２）契約状況等

	令和７年度					令和６年度				
契約日	令和７年４月１日					令和６年４月１日				
契約金額	地域活動支援センター					地域活動支援センター				
	合　計	基礎的	機能強化	障害理解	高次脳機能障害	合　計	基礎的	機能強化	障害理解	高次脳機能障害
	110,282,827	37,719,975	67,787,902	672,950	4,102,000	108,588,000	35,719,000	68,099,000	668,000	4,102,000
契約変更	令和８年１月５日					令和７年１月６日				
変更契約金	108,414,827	37,560,975	66,418,902	332,950	4,102,000	106,348,000	35,719,000	66,099,000	428,000	4,102,000

（３）収支の状況

①　収入の状況　　単位：円

	令和７年度				令和６年度			
区　分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	108,543,000	100,016,965	8,526,035	92.3	106,348,000	97,147,910	9,200,090	91.4
参加費収入	28,000	18,700	9,300	66.8	34,000	17,581	16,419	51.7
利用料収入	522,000	88,581	433,419	17.0	474,000	84,478	389,522	17.8
計画相談支援給付費	8,200,000	8,340,421	△140,421	101.7	8,483,000	8,404,376	78,624	99.1
寄付金収入	0	0	0	0	20,000	20,000	0	100.0
受取利息配当金収入	4,000	54,413	△50,413	1,360.3	1,000	15,392	△14,392	1,539.2
合計	117,297,000	108,519,080	8,777,920	92.5	115,360,000	105,689,737	9,670,263	91.6

②　支出の状況　　単位：円

	令和７年度				令和６年度			
区　分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	93,944,000	87,907,157	6,036,843	93.6	90,674,000	84,261,403	6,412,597	92.9
事業費	14,145,542	11,450,329	2,695,213	80.9	14,912,000	11,945,958	2,966,042	80.1
事務費	1,615,458	1,300,995	314,463	80.5	1,587,000	1,176,713	410,287	74.2
支払利息	3,000	2,585	415	86.2	24,000	23,938	62	99.7
固定資産取得	572,000	549,120	22,880	96.0	572,000	571,120	880	99.8
ﾘｰｽ債務	248,000	247,665	335	99.9	577,000	576,662	338	99.9
退職積立金	2,981,000	2,944,395	36,605	98.8	2,981,000	2,957,175	23,825	99.2
拠点区分間繰入金	3,788,000	4,116,834	△328,834	108.7	4,033,000	4,176,768	△143,768	103.4
合計	117,297,000	108,519,080	8,777,920	92.5	115,360,000	105,689,737	9,670,263	91.6

※収入（受託金）及び支出（事業費）に、ヘルプカード作成業務委託料含む（各 101,000 円）

（４）利用登録状況

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
登録人数	79 人	80 人	74 人	88 人	86 人
（内訳） 身体	74 人 (身体・知的重複３人、身体・精神重複２人含む)	54 人 (身体・知的重複３人、身体・精神重複２人含む)	54 人 (身体・知的重複７人、身体・精神重複４人含む)	45 人 (身体・知的重複７人、身体・精神重複２人、身体・難病１人含)	54 人 (身体・知的重複７人、身体・精神重複２人、身体・難病１人含)
知的	1 人	9 人	5 人	5 人 (知的・発達重複１人含む)	8 人 (知的・発達重複１人含)
精神	3 人 (知的・精神重複１人含む)	13 人 (知的・精神重複１人含む)	4 人	8 人	21 人
手帳無	1 人	10 人	11 人	19 人	11 人
	※年度の登録人数の内訳				
登録延人数	383 人	414 人	431 人	447 人	462 人
利用延人数	3,427 人	3,975 人	4,388 人	3,778 人	3,885 人

※登録延人数・内訳ともに重複有。年度の登録人数に変更

（５）実施状況

【基礎的事業】

① 趣味や生きがい活動の支援（教養講座など）

・パソコン教室

コース	内容	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年間
木曜コース 年３回 (各４回) 延 12 回	身体、知的、精神障がい者を対象にレベルに応じて基礎から指導	5/1～5/22 ﾜｰﾄﾞ入門 ﾁﾗｼを作る ４人	7/3～7/24 (※注２) 中止	10/2～10/23 年賀状作成 ３人		21 人
土曜コース 年３回 (各４回) 延 12 回		5/7～7/5 (※注１) 中止		10/4～11/1 年賀状作成 ４人	1/17～2/7 カレンダー作成 10 人	
視覚障がいコース 年３回 (各４回) 延 12 回	視覚障がい者を対象に音声機能付きソフトで文章作成やインターネットの操作方法等の指導		9/4～9/25 入力の基礎 ８人	11/6～11/27 文章を入力してみる ４人	2/12～3/5 知りたい情報に接する ３人	15 人

(※注１）土曜日コース 5/7～7/5「ｴｸｾﾙ入門」は参加者がいないため実施せず（中止）

(※注２）木曜日コース 7/3～7/24「ｴｸｾﾙ入門」は申込者キャンセルにより参加者なしとなったため実施せず（中止）

・体操・親子体操教室

成人向け 体操教室 前期・後期 各 10 回 延 20 回	・ボール、タオルを使った椅子に座りながらの体操 ・身体、知的、精神障がい者が参加し、無理なく身体を動かすことで機能の維持向上と交流を図る	前期　5 月～9 月(10 回) 70 人 第 1 四半期　30 人 第 2 四半期　40 人	後期　10 月～2 月(10 回) 65 人 第 3 四半期　37 人 第 4 四半期　28 人	135 人
親子体操 教室 前期・後期 各 10 回 延 20 回	・心身の発達の気になる子どもと保護者がボールなどの道具を使い身体を動かしながら共に楽しむ	前期　5 月～8 月（6 回） 25 人 第 1 四半期　10 人 第 2 四半期　15 人	中期 11 月～12 月（6 回） 35 人 後期　1 月～3 月（6 回） 38 人 第 3 四半期　35 人 第 4 四半期　38 人	98 人

②在宅障がい者デイサービス事業　　毎週水・金曜日　定員：８人

＜年間＞
・登録人数(最大)　6 人：手帳所持者　5 人（身体　4 人・精神　3 人※重複あり）申請中 1 人
・利用者登録　　4 月～6 月　　2 人
　　7 月～9 月　　4 人(8 月 27 日および 9 月 12 日に各 1 人追加)
　　10 月～12 月　5 人(10 月末日に 1 名退所、12 月 17 日に 1 人追加)
　　1 月～ 3 月　5 人(R8 年 3 月 25 日に 1 人追加)
・開設日数　100 日　延利用者数　276 人
＜第 1 四半期＞
・開設日数　26 日　延利用者数　52 人
＜第 2 四半期＞
・開設日数　26 日　延利用者数　60 人
＜第 3 四半期＞
・開設日数　26 日　延利用者数　80 人
＜第 4 四半期＞
・開設日数　22 日　延利用者数　84 人

内　容			実施回数・人数					詳　細
			第 1 四半期 延人数	第 2 四半期 延人数	第 3 四半期 延人数	第 4 四半期 延人数	年間	
基本事業（訓練等）	機能訓練	体操	50 人 25 回延	57 人 25 回延	78 人 25 回延	84 人 22 回延	269 人 97 回延	＜通年＞ ・機能訓練：個別の他体操含む ・社会適応訓練 個別訓練：S.U.D(Step Up Day) 毎月、身体評価日を設け、利用者の各々の機能低下に合わせたプログラムを個別に実施 ・毎月第 1 金曜日：書画(講師プログラム)
		歩行訓練	9 人 9 回延	3 人 2 回延	2 人 1 回延	28 人 8 回延	42 人 20 回延	
		その他	4 人 4 回延	0 人 0 回延	4 人 1 回延	0 人 0 回延	8 人 5 回延	
		認知訓練	52 人 26 回延	57 人 25 回延	76 人 24 回延	84 人 22 回延	269 人 97 回延	
		ＯＴ（作業療法）	52 人 26 回延	53 人 23 回延	67 人 21 回延	68 人 18 回延	240 人 88 回延	

	社会適応訓練	ＳＴ（言語訓練）	12 人 6 回延	22 人 9 回延	17 人 6 回延	10 人 4 回延	61 人 25 回延	＜第１四半期＞ ・外出訓練：各利用者に合わせた移動手段を利用。藤子・F・不二雄ミュージアム見学等（5/21、23） ＜第２四半期＞ ・調理訓練： アラカルト料理(7/11) ・季節行事：夏祭り(8/22) 季節の園芸(9/26) ・体力測定(7/30) ＜第３四半期＞ ・外出訓練： 多摩センター駅周辺(10/24) ・スポーツ大会、体力測定 (10/31) ・学習会：食を考える学習 (11/21、12/19) ・ボッチャ大会(11/26) ・障害者美術展見学(12/5) ・学生交流会(12/12) ・季節行事： クリスマス会(12/24) ＜第４四半期＞ ・初詣(1/14) ・スポーツ大会(1/30) ・調理訓練：おにぎり(2/20) ・季節の園芸(2/27) ・春の発表会見学・散策(3/6) ・スライド上映会(3/27)
		外出訓練	6 人 3 回延	1 人 1 回延	9 人 3 回延	19 人 5 回延	35 人 12 回延	
		脳トレ	2 人 1 回延	0 人 0 回延	7 人 2 回延	33 人 9 回延	42 人 12 回延	
		調理訓練	0 人 0 回延	2 人 1 回延	2 人 1 回延	4 人 1 回延	8 人 3 回延	
		個別訓練等	26 人 15 回延	8 人 6 回延	4 人 2 回延	3 人 3 回延	41 人 26 回延	
		その他	0 人 0 回延	4 人 2 回延	7 人 2 回延	0 人 0 回延	11 人 4 回延	
創作活動	作業・創作（作品製作）		8 人 6 回延	13 人 7 回延	21 人 7 回延	11 人 回延	53 人 23 回延	
	書画		5 人 3 回延	6 人 3 回延	7 人 3 回延	12 人 3 回延	30 人 12 回延	
	その他		2 人 1 回延	2 人 1 回延	2 人 1 回延	4 人 1 回延	10 人 4 回延	
アクティビティ	カラオケ		4 人 2 回延	7 人 3 回延	10 人 3 回延	12 人 3 回延	33 人 11 回延	
	ゲーム		6 人 3 回延	9 人 5 回延	3 人 1 回延	6 人 2 回延	24 人 11 回延	
	その他		1 人 1 回延	5 人 2 回延	5 人 2 回延	0 人 0 回延	11 人 5 回延	
入浴	入浴サービス		13 人 13 回延	17 人 15 回延	32 人 25 回延	33 人 22 回延	95 人 75 回延	
付属	給食サービス		25 食 25 回延	30 食 21 回延	52 食 24 回延	61 食 22 回延	168 食 92 回延	
	送迎サービス		98 人 26 回延	112 人 26 回延	149 人 26 回延	165 人 22 回延	524 人 100 回延	

③社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、グループ活動など）

事業名	実施日	第 1 四半期延人数	第 2 四半期延人数	第 3 四半期延人数	第 4 四半期延人数	年間
カラオケの日	第 4 土曜日午前	6 人	9 人	12 人	10 人	37 人
言語訓練 ＊失語症のある方を対象としたおしゃべりのグループ	水曜日 第 1・3.・4 グループ　第 2・4 個別	26 人	34 人	40 人	42 人	142 人
グループ活動　マーブル ＊統合失調症を主診断とする方を対象	第 4 木曜日午後 ＊H30 年 7 月開始	4 人	3 人	3 人	6 人	16 人

【機能強化事業】

① 相談支援事業（一般相談）電話、来所、訪問、その他による相談支援
相談内容：精神障がい者の不安時における電話相談の傾聴
障害福祉サービスを利用していない障がい者の継続的な支援
親なきあとの暮らしについての相談
関係機関からの相談や専門の相談窓口についての相談など

	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
相談延人数 （新規継続含む）	222 人	227 人	180 人	173 人	802 人（637 人）
来所	18 人	9 人	16 人	16 人	59 人（45 人）
電話	171 人	192 人	132 人	125 人	620 人（536 人）
メール	14 人	6 人	16 人	24 人	60 人（29 人）
訪問	15 人	13 人	13 人	7 人	48 人（18 人）
同行	4 人	7 人	3 人	1 人	15 人（13 人）

※（　）は前年度

②各種相談事業

相談会名	協力団体・内容	実施日	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
パソコン相談会 ＊ﾊﾟｿｺﾝﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ多摩	パソコン操作やトラブルに関する個別相談	第1～4 火曜日	8 人	10 人	21 人	10 人	49 人
聞こえと補聴器の 相談会	言語聴覚士による聴力検査、補聴器や日常生活用具等に関する相談	年3回	講演会	12 人	8 人		20 人
親なきあと個別相談 ＊渡部行政書士 事務所 代表　渡部　伸氏	親なき後を心配している家族が法制度やサービスの内容を相談することで、子の将来の準備を行う機会とする。	毎月第3水曜日	5 人	7 人	0 人	3 人 （※注1）	15 人
言葉のこと相談	言語聴覚士による言葉と嚥下に関する個別相談	毎週 水曜日	8 人	4 人	2 人	4 人	18 人
唐木田児童館 言葉の相談 ほっとたいむ	来館の子どもと保護者に言語聴覚士がコミュニケーションをとりながら、言葉に関する心配事を聞く	毎月第1水曜日 ＊H30年6月開始	18 人	21 人	31 人	39 人	109 人

（※注１）「親なきあと個別相談」２月については、相談員の都合により開催せず(中止)

（ア）水浴事業

<table>
<tr><th colspan="2">事業名</th><th colspan="2">実施日</th><th>内容</th><th>第1
四半期
延人数</th><th>第2
四半期
延人数</th><th>第3
四半期
延人数</th><th>第4
四半期
延人数</th><th>年間</th></tr>
<tr><td colspan="2">水中機能訓練</td><td colspan="2">火・木曜日
通年 各42回</td><td>水の特性を利用したリハビリや機能維持・向上のための水中運動
＊手帳所持者等
脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン等
・送迎サービス有</td><td>163人</td><td>135人</td><td>171人</td><td>142人</td><td>611人</td></tr>
<tr><td colspan="2">水中機能訓練フォローアップ</td><td colspan="2">＊今年度、休止</td><td>水中機能訓練修了者が、1訓練（個人貸出）移行後の再修正の機会を設ける</td><td></td><td></td><td>15人</td><td></td><td>15人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">水浴訓練室貸出</td><td>個人</td><td>月・金曜日
午前/午後</td><td>主に水中機能訓練修了者を対象とした自主訓練</td><td>166人</td><td>123人</td><td>150人</td><td>148人</td><td>587人</td></tr>
<tr><td>団体</td><td>土曜日
午前/午後</td><td>障がい者団体を対象とした水浴訓練室の利用
＊登録1団体
身体、知的他</td><td>10人</td><td>2人</td><td>10人</td><td>9人</td><td>31人</td></tr>
</table>

（イ） 入浴サービス事業

	第１四半期		第２四半期		第３四半期		第４四半期		年間		その他
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
通所入浴サービス	4 人	42 人	5 人	48 人	5 人	63 人	5 人	65 人	5 人	218 人	施設内での機械浴（送迎有・デイ利用者含む）身体、知的
訪問入浴サービス	9 人	89 人	8 人	91 人	8 人	87 人	8 人	52 人	8 人	319 人	訪問入浴事業者へ再委託 身体、知的

③ 広報・普及啓発

ア）総合福祉センターだより発行状況（月 1 回発行）※老人福祉センター事業含む			
発行部数	総発行部数	設置・送付箇所	主な設置・送付箇所
約 700 部	約 8,400 部/年	約 77 箇所	市内公共施設（公民館、ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ）、関係機関等

イ）講演会・協力事業	
＜第 2 四半期＞ ・高次脳機能障害支援促進事業　第 1 回関係機関連絡会 令和 7 年 7 月 18 日（金）14 時～16 時 内容　あんどの取り組みの紹介、関係機関報告など ＜第 3 四半期＞ ・高次脳機能障害者支援促進事業 ①　「福祉フェスタ 2025」のステージ発表参加 令和 7 年 10 月 19 日（日）11 時～11 時 30 分 当事者グループ活動参加者の「ほのぼのバンド」で出演 ②　講演会「日々の悩みを解決するアプリ活用術～『忘れる』『段取りが難しい』ことありませんか～」 日時：令和 7 年 11 月 29 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分 場所：多摩市総合福祉センター7 階研修室 内容　アプリや情報ツールの生活場面での活用方法について 講師　青木 啓一郎　氏（昭和医科大学 保健医療学部講師） ＜第 4 四半期＞ ・第２回関係機関連絡会 令和 8 年 3 月 13 日（金）14 時～16 時 内容　今年度の事業報告、次年度の取り組み、関係機関報告など	＜第 2 四半期＞ 参加者(機関)　24 人 ＜第 3 四半期＞ ①　参加（発表者）7 人 ②　参加者　32 人 ＜第 4 四半期＞ 参加者(機関)　26 人
ウ）障がい者スポーツ体験	
①　ボッチャセットの貸出 ②　福祉フェスタ 2025 でのボッチャ体験、障害理解促進ゲーム	①＜第 1 四半期＞ 5 団体　延日数 15 日 ＜第 2 四半期＞ 7 団体　延日数 42 日 ＜第 3 四半期＞ 7 団体　延日数 61 日 ＜第 4 四半期＞ 2 団体　延日数 71 日 ②参加者　延人数 55 名

【障害理解促進事業】

<table>
<tr><td colspan="4">ア）多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」</td><td>参加協力団体</td></tr>
<tr><td colspan="4">＜第１四半期＞</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">・開催校との事前打ち合わせ
令和７年６月 17 日(火)　15 時 30 分～16 時 30 分
令和７年６月 23 日(月)　10 時～11 時
内容　開催日やプログラム等の説明・調整等</td><td>・諏訪小学校
・東寺方小学校</td></tr>
<tr><td colspan="4">＜第２四半期＞</td><td rowspan="2">・多摩市身体障害者福祉協会
「アートひまわり」
・多摩市視覚障害者福祉協会
・多摩市聴覚覚障害者協会
・手話サークル
「クローバー」
・諏訪小学校</td></tr>
<tr><td colspan="4">・「ひとときの和」実行委員会（第１回）
令和７年８月７日(木)　13 時 30 分～15 時
内容　開催日時、内容の検討
今後のスケジュール(事前下見、打ち合わせなど)

・「ひとときの和」実行委員会（第２回）
令和７年９月 12 日(金)　15 時 30 分～17 時
内容　事前下見、最終確認など</td></tr>
<tr><td>実 施 日</td><td>開　催　校</td><td>参加人数</td><td>内　　容</td><td rowspan="2">・多摩市身体障害者福祉協会
「アートひまわり」
・多摩市視覚障害者福祉協会
・多摩市聴覚覚障害者協会
・手話サークル
「クローバー」
・特定非営利活動法人　縁
・諏訪小学校
・障害福祉課</td></tr>
<tr><td>令和７年
９月 22 日
（月）</td><td>諏訪小学校</td><td>53 人
(2 クラス・支援級)</td><td>・車いす体験、手話体験、盲導犬体験
・当事者のお話など</td></tr>
<tr><td colspan="4">＜第３四半期＞</td><td rowspan="2">・多摩市身体障害者福祉協会
「アートひまわり」
・多摩市視覚障害者福祉協会
・多摩市聴覚覚障害者協会
・手話サークル
「クローバー」
・東寺方小学校</td></tr>
<tr><td colspan="4">・「ひとときの和」実行委員会（第３回）
令和７年 10 月 10 日(金)　15 時～16 時 30 分
内容　開催日時、内容の検討、事前下見など</td></tr>
<tr><td>実 施 日</td><td>開 催 校</td><td>参加人数</td><td>内　　容</td><td rowspan="2">・多摩市身体障害者福祉協会
「アートひまわり」
・多摩市視覚障害者福祉協会
・多摩市聴覚覚障害者協会
・手話サークル
「クローバー」
・東寺方小学校
・障害福祉課</td></tr>
<tr><td>令和７年
11 月 27 日
（木）</td><td>東寺方小学校</td><td>102 人
(3 クラス・支援級)</td><td>・車いす体験、手話体験、点字体験
・当事者のお話など</td></tr>
<tr><td colspan="4">＜第４四半期＞</td><td rowspan="2">・多摩市身体障害者福祉協会
「アートひまわり」
・多摩市視覚障害者福祉協会
・多摩市聴覚覚障害者協会
・手話サークル
「クローバー」
・諏訪小学校
・東寺方小学校</td></tr>
<tr><td colspan="4">・「ひとときの和」実行委員会（第４回）
令和８年１月 19 日(月)　15 時 30 分～17 時
内容　振り返り</td></tr>
</table>

イ）福祉体験学習（※）市内小・中学校の授業等での障害理解プログラム				
＜第１四半期＞				
実 施 日	開 催 校	参加人数	内　　容	参加協力団体
4 月 25 日 （金）	貝取小学校 5 年生	38 名 (2 クラス)	身体の講和・車いす体験	ベアスポーツクラブ、特別養護老人ホーム和光園、車いすボランティア
6 月 12 日 （木）	永山小学校 4 年生	62 名 (2 クラス)	身体の講和、車いす体験	ベアスポーツクラブ、特別養護老人ホーム和光園、ボランティア
＜第２四半期＞				
実 施 日	開催校/学年	生徒数	内　　容	参加協力団体
7 月 10 日 （木）	若葉総合高校 2 年生	12 名 (1 クラス)	聴覚障がいの講和	多摩市手話サークル「クローバー」
9 月 26 日 （金）	聖ヶ丘小学校 4 年生	50 名 (4 クラス)	高齢者疑似体験	多摩ボランティア・市民活動支援センター ボランティア
9 月 29 日 （月）	愛和小学校 5 年生	56 名 (2 クラス)	身体障がいの講和、車いす体験	ベアスポーツクラブ、特別養護老人ホーム和光園、ボランティア
＜第３四半期＞				
10 月 16 日 （木）	東落合小学校 4 年生	53 名 (2 クラス)	身体障がいの講和、車いす体験	ベアスポーツクラブ 特別養護老人ホーム和光園 ボランティア
10 月 31 日 （金）	永山小学校 4 年生	62 名 (2 クラス)	視覚障がいの講和 ガイドヘルパー体験	瀬尾敏也氏、猿渡ひとみ氏
11 月 6 日 （木）	東落合小学校 4 年生	53 名 (2 クラス)	聴覚障がいの講和	松崎艶子氏
11 月 17 日 （月）	永山小学校 6 年生	62 名 (2 クラス)	高齢者疑似体験	ボランティア
11 月 25 日 （火）			視覚障がいの講和	瀬尾敏也氏
12 月 1 日 （月）			聴覚障がいの講和	多摩市聴覚障害者協会、 多摩市手話サークル「クローバー」
12 月 10 日 （水）	多摩中学校 2 年生	134 名 (4 クラス)	高齢者疑似体験	多摩ボランティア・市民活動支援センター
12 月 11 日 （木）	多摩第三小学校 4 年生	65 名 (2 クラス)	身体障がいの講和 車いす体験	ベアスポーツクラブ 特別養護老人ホーム和光園 ボランティア
12 月 23 日 （火）	北諏訪小学校 4 年生	72 名 (2 クラス)	身体障がいの講和 視覚障がいの講和	ベアスポーツクラブ 小林康雄氏

＜第 4 四半期＞				
実 施 日	開催校/学年	生徒数	内　　容	参加協力団体
2 月 17 日 （火）	大松台小学校 4 年生	59 名 （2 クラス）	視覚障がいの講和 点字体験	松崎艶子氏 パソコン点訳サークルこがめ
3 月 3 日 （火）	南鶴牧小学校 4 年生	62 名 （4 クラス）	聴覚障がいの講和 手話体験	多摩市聴覚障害者協会、 多摩市手話サークル「クローバー」
3 月 6 日 （金）	和田中学校 1 年生	134 名 （4 クラス）	視覚障がいの講和 点字体験	瀬尾敏也氏、小林康雄氏 パソコン点訳サークルこがめ 多摩市点字サークル「トータス」

【その他】

①　ヘルプカードの配布

配布場所：多摩市役所障害福祉課、多摩市地域活動支援センターのーま
社協（総合福祉センター3 階・多摩ボランティア・市民活動支援センター）

	第 1 四半期 延人数	第 2 四半期 延人数	第 3 四半期 延人数	第 4 四半期 延人数	年間
身体障害	37 人	36 人	47 人	47 人	167 人
知的障害	8 人	8 人	7 人	6 人	29 人
精神障害	36 人	37 人	33 人	40 人	146 人
難病	8 人	5 人	9 人	9 人	31 人
高齢	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
その他	49 人	28 人	51 人	11 人	139 人
合計	138 人	114 人	147 人	113 人	512 人

②　団体共用室の使用

使用団体：多摩市聴覚障害者協会、多摩市視覚障害者福祉協会、多摩市身体障害者福祉協会、
多摩市手をつなぐ親の会、多摩市精神障害者家族会サンクラブ多摩、失語症友の会

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	年間
使用日数	47 日	30 日	41 日	36 日	154 日
延人数	343 人	220 人	299 人	243 人	1, 105 人

【高次脳機能障害者支援促進事業】

①相談事業	・相談人数・件数 新規相談者数：15 人（単回も含む） 計画相談：8 人、一般相談 16 人 相談延人数：直接相談（面接/訪問/同行）延べ 75 人 99 件 電話等相談　延べ 235 人 95 件 相談者内訳：本人、家族、医療機関、関係機関等から相談 相談内容　・介護保険以外で利用できる障害サービスの利用調整 ・医療ｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰより退院後の生活相談、社会資源の利用案内 ・障害受傷後の職場復帰、復職支援の方法について ・土曜相談日：毎月第 1 土曜日午後実施　全 10 回実施
②関係機関との連携	・関係機関連絡会の開催(R7.7,R8.3 に開催) 今年度の事業報告/来年度の事業計画、情報交換会等 ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会への出席(6 月) ・南多摩圏域内連絡会への参加(9 月) ・市障害福祉課との連携 ・南多摩高次脳機能障害者支援普及事業協力施設会議への参加(毎月 Web 開催) ・南多摩高次脳機能支援センターとの連携「症例検討会」に参加（毎月） ・家族会への参加（らーふの会・多摩市失語症友の会こだま）随時 ・市民向け学習会・勉強会 講演会「日々の悩みを解決するアプリ活用術～『忘れる』『段取りが難しい』ことありませんか～」開催(11 月) 多摩市失語症友の会こだま主催学習会（失語症の理解と支援）への協力（1 月） ・地域活動への参加支援と開拓
③社会資源の把握・開拓	・施設見学・訪問等 「国立障害者リハビリテーションセンター（自立訓練・生活訓練)」 「東京高次脳機能障害者支援ホーム（HiBDy.Tokyo)」 ・研修会等への参加：南多摩圏域内連絡会主催　公開症例検討会「プロフェッショナルの見立て」への症例提供と検討会への登壇（3 月） ・在宅障がい者デイサービスで 4 名受け入れ ・言語訓練（グループ・個別）6 名参加 ・上記活動への失語症会話パートナー派遣要請 ・グループ活動「ほのぼの」月 1 回土曜日開催 9 名参加 音楽療法・交流会 ・グループ活動「桜プラス」月 1 回木曜日開催 8 名参加 女性のためのグループ活動・交流会
④広報・普及啓発	・社協広報誌等やホームページ等を通じた事業の周知 ふくしだより 9 月 15 日号に講演会の案内、同 3 月 15 日号にて高次脳関連事業、相談支援機関の紹介 総合福祉センターだより(毎月)：事業紹介・参加者募集など 福祉フェスタでのグループ活動「ほのぼの」のステージ発表（10 月） ・社協ホームページへの掲載 ・福祉センター3 階　図書情報コーナー/関連書籍の貸出 ・グループ活動でのサポーターの実践　1 名

【指定特定相談支援事業】　福祉サービス等利用計画の作成

障がいのある方が様々なサービスの利用を通じて希望する生活の実現や目標の達成に向けて、生活の中で解決すべき課題や支援の内容を本人と相談しながら具体的にプランを立てていく。

総契約数：142人（144）
相談形態：来所　97 件（117）、電話 4,576 件（4,199）、訪問 1,084 件（994）、
同行 93 件（105）、メール　942 件（620）　のべ件数 6,792（6,035）

計画作成数：新規・モニタリング　504件（521）　（　　）は前年度

１８　同行援護事業

（1）概要

目　的	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。
対象者	多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 契約者47人（令和8年3月末現在）＊新規契約者9人
同行援護従事者	同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ※登録者数27人（令和8年3月末現在）＊新規登録者4人

（2）収支の状況

① 収入の状況　　単位：円

	令和７年度				令和６年度			
区　分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
介護給付費	12,244,000	9,762,504	2,481,496	79.7	12,059,000	9,716,987	2,342,013	80.6
利用者負担金	215,000	1300,906	△85,906	140.0	222,000	157,052	64,948	70.7
受取利息配当金	1,000	4,878	△3,878	487.8	1,000	1,759	△759	175.9
前期末支払資金残高	－	－	－	－	－			－
合計	12,460,000	10,068,288	2,391,712	80.8	12,282,000	9,875,798	2,406,202	80.4

② 支出の状況　　単位：円

	令和７年度				令和６年度			
区　分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	4,367,000	4,082,601	284,399	93.5	4,367,000	4,082,601	284,399	93.5
事業費	7,277,000	6,119,792	1,157,208	84.1	7,277,000	6,119,792	1,157,208	84.1
事務費	638,000	320,396	317,604	50.2	638,000	320,396	317,604	50.2
固定資産取得	142,000	141,680	320	99.8	0	0	0	0
合計	12,424,000	10,664,469	1,759,531	85.8	12,282,000	10,522,789	1,759,211	85.7

（3）同行援護活動実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
契約者数 （うち身体介護有）	41人 －	43人 －	40人 －	40人 －	47人 －
利用人数	274人 （月平均 22.8人）	285人 （月平均 23.8人）	285人 （月平均 23.8人）	266人 （月平均 22.1人）	280人 （月平均 23.3人）
派遣回数	1,194回 （月平均 99.5回）	1,308回 （月平均 109回）	1,181回 （月平均 98.4回）	1,115回 （月平均 92.9回）	1,148回 （月平均 95.6回）

派遣時間	4,108.5時間 (月平均 342.3時間)	4,518時間 (月平均 376.5時間)	4,475時間 (月平均 372.9時間)	4,538時間 (月平均 378.1時間)	4,610時間 (月平均 384.2時間)
活動者数	300人 (月平均 25人)	293人 (月平均 24.4人)	268人 (月平均 22人)	231人 (月平均 19.3人)	250人 (月平均 20.8人)
同行援護 登録従事者	39人	35人	26人	28人	27人

（4）同行援護従事者研修会

例年実施している従事者研修会に外部講師を招いての研修と懇親会を兼ねた内部研修を全従事者対象に実施した。

開催日・場所	（外部研修） R7.11.18（火）総合福祉センター　7階　701～703研修室 R7.11.21（金）総合福祉センター　7階　701～703研修室 （内部研修） R8.3.30（月）総合福祉センター　5階　視聴覚室
対　象	令和7年度に従事者登録をしている方　27人
内　容	（外部研修） 内容：最新の同行援護情報・虐待について 　　基本の誘導方法と虐待にならないための誘導方法 （内部研修） 内容：感染予防について
参加者	（外部研修）14人 （内部研修）8人

（5）虐待防止委員会

虐待防止に関する委員会を開催し、実施内容について検討した。

開催日・場所	①R8.1.15（木）総合福祉センター 7階　ボランティア活動室 ②R8.3.12（木）総合福祉センター 4階　機能訓練室
構　成	事業管理者又は施設長、事業担当係長、事業担当者、 事業サービス担当責任者、その他関係職員
内　容	①・マニュアルについて 　・研修について ②・令和5年度研修結果報告について 　・各事業における虐待案件について 　・令和8年度虐待防止委員会事業計画（案）について
参加者	①5人　②4人

１９　意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

（1）概要

目　　的	聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対　象　者	①　多摩市地域生活支援事業要綱第３条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ②　市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③　①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④　その他市長が特に認めた者。
利用時間の制限	手話通訳者等の派遣・・・・・・原則月20時間
手話通訳者	①　多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国統一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数35人（令和8年3月末現在） ②　東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

（2）契約状況等

単位：円

	令和7年度		令和6年度	
区　分	内　容	備　考	内　容	備　考
契約年月日	令和7年4月1日		令和6年4月1日	
概算契約金額	12,405,000		11,484,000	

（3）収支の状況

①　収入の状況　　単位：円

	令和７年度				令和６年度			
区　分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	12,405,000	12,399,300	5,700	100.0	11,483,000	11,848,988	△365,998	103.2
受取利息配当金収入	1,000	7,092	△6,092	709.2	1,000	1,758	△758	175.8
合計	12,406,000	12,406,392	△392	100.0	11,484,000	11,850,746	△366,746	103.2

② 支出の状況　　単位：円

	令和７年度				令和６年度			
区　分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	5,959,000	5,788,263	170,737	97.1	5,647,000	5,407,283	239,717	95.8
事業費	5,775,000	5,699,786	75,214	98.7	5,305,000	5,167,426	137,574	97.4
事務費	692,000	389,871	302,129	56.3	531,000	448,556	82,444	84.5
固定資産取得	－	－	－	－	－	－	－	－
拠点区分間繰入金	2,000	2,000	0	100	1,000	1,000	0	100
合計	12,428,000	11,877,920	548,080	95.6	11,484,000	11,024,265	459,735	96.0

（４）多摩市登録手話通訳者の活動実績

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用登録者	120 人	114 人	133 人	113 人	118 人
登録手話通訳者	37 人	37 人	34 人	34 人	35 人
派遣件数（市・都）	968 件	941 件	1,009 件	1,096 件	1,159 件
派遣時間（市）	1,479 時間 42 分	1,840 時間 39 分	1,716 時間 48 分	2,072 時間 56 分	2,249 時間 37 分
派遣者活動人数（市）	239 人（月平均 19.9 人）	276 人（月平均 23.0 人）	272 人（月平均 22.7 人）	295 人（月平均 24.6 人）	278 人（月平均 23.2 人）

（５）手話通訳者研修会

① 外部講師による研修会（全4回）　参加延人数56人

講師：東京手話通訳等派遣センター、東京都手話通訳問題研究会

内容：手話の読み取り、模擬通訳（講演会、動画、行政窓口）

② その他研修会（全7回）　参加延人数106人

内容：模擬通訳（医療、行政窓口）、手話の読み取り

講義（福祉知識、事例検討、災害時の心構え）

２０　意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

（1）概要

目　　的	聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対　象　者	①　多摩市地域生活支援事業要綱第３条の規定を満たし、且つ市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。
利用時間の制限	要約筆記者の派遣・・・・・・原則月20時間
要約筆記者	①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が要約筆記者として認定した者。 ※登録者数11人（令和8年3月末現在） ②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

（2）契約状況等

単位：円

	令和7年度		令和6年度	
区　分	内　　容	備　考	内　　容	備　考
契約年月日	令和7年4月1日		令和6年4月1日	
概算契約金額	1,120,000		916,000	

（3）収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	令和７年度				令和６年度			
区　分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	1,120,000	994,216	125,784	88.8	916,000	867,296	48,704	94.7

②支出の状況

単位：円

	令和７年度				令和６年度			
区　分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
事業費	1,076,000	893,884	182,116	83.1	870,000	759,580	110,420	87.3
事務費	44,000	42,810	1,190	98.9	46,000	45,480	520	98.9
合計	1,120,000	936,694	183,306	83.6	916,000	805,060	110,940	87.9

（4）要約筆記者の活動実績

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用登録者	120 人	114 人	133 人	113 人	118 人
登録要約筆記者	18 人	15 人	11 人	11 人	11 人
派遣件数(市・都)	16 件	37 件	42 件	49 件	44 件
のべ派遣時間(市)	113 時間 16 分	324 時間 21 分	380 時間 25 分	472 時間 46 分	441 時間 28 分
のべ派遣活動人数(市)	28 人 (月平均 2.3 人)	107 人 (月平均 8.9 人)	132 人 (月平均 11.0 人)	145 人 (月平均 12.1 人)	127 人 (月平均 10.6 人)

（5）要約筆記者研修会

①外部講師による研修会（全7回）　参加延人数38人

講師：東京手話通訳等派遣センター講師

内容：全体投影技術研修（パソコン、手書き。会議・講演会が題材)、

ノートテイク技術研修（手書き)、倫理綱領講義（パソコン、手書き合同）

２１　共同募金関係

（１）赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協力会として実施　　単位：円

種別	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
街頭募金	未実施※	172,236 (11 団体)	295,015 (20 団体)	358,850 (19 団体)	351,054 (21 団体)
自治会・ 住宅管理組合	507,982 (43 団体)	438,313 (39 団体)	406,323 (34 団体)	404,082 (29 団体)	355,893 (29 団体)
職域及び団体募金	209,146 (54 団体)	237,626 (60 団体)	218,128 (56 団体)	187,040 (57 団体)	188,577 (55 団体)
募金箱（公共施設）	30,406 (15 団体)	27,943 (17 団体)	27,069 (18 団体)	27,792 (22 団体)	22,828 (19 団体)
プリペードカードによる募金	79,676 (14 団体)	78,300 (12 団体)	66,330 (15 団体)	57,600 (26 団体)	取扱終了
PayPay 募金	未実施				5,280
個人	37,748	17,599	46	22,192	73,000
チャリティお菓子	67,700	71,500	73,100	44,600	57,720
自動販売機	140,083	221,446	112,044	104,465	45,452
合　計	1,072,741	1,264,963	1,198,055	1,206,621	1,099,804

(　　)内は、協力等団体数

※新型コロナウィルスの影響で未実施

（２）歳末たすけあい運動募金　（令和 7 年 12 月 1 日～12 月 31 日まで）　　単位：円

種別	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
街頭募金	152,992 (8 団体)	193,272 (8 団体)	171,489 (6 団体)	277,902 (16 団体)	338,598 (9 団体)
自治会・住宅管理組合	906,163 (69 団体)	840,494 (51 団体)	814,420 (47 団体)	651,346 (37 団体)	745,155 (45 団体)
法人(団体)募金	366,781 (61 団体)	149,104 (61 団体)	119,162 (57 団体)	149,132 (44 団体)	148,942 (62 団体)
個人募金	28,368	66,738	69,507	56, 619	13,979
その他の募金 (ﾁｬﾘﾃｨお菓子含む)	57,700	67,100	99,500	121,800	89,280
預金利息	2	2	2	2	10
チャリティーゴルフ	320,000	301,000	300,000	345,000	※0
自動販売機	69,299	109,726	54,895	50,836	19,360
募金額合計	1,692,409	1,727,436	1,628,973	1,652,635	1,355,324
都共募納付額 ※翌年配分金額	1,636,977	1,658,283	1,553,753	1,570,917	1,261,711

(　　）内の団体数は、協力団体数

※R7 年度よりチャリティゴルフの寄付は一般寄付に計上

２２　その他の事業

（1）車椅子貸出事業

①概要

目　的	日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。
対　象	市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 （1）歩行困難な高齢者 （2）身体障がい者 （3）疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 （4）その他会長が特に必要と認めたもの
貸出期間	1回　1ヶ月以内
貸出料金	無料

②車椅子貸出実施状況

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
貸出件数	120	130	115	119	135

平成30年度より、多摩社協窓口以外に市内社会福祉法人施設にて社協車椅子の管理･貸出を行っている。